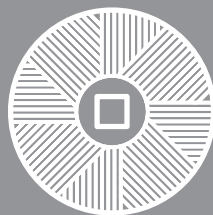
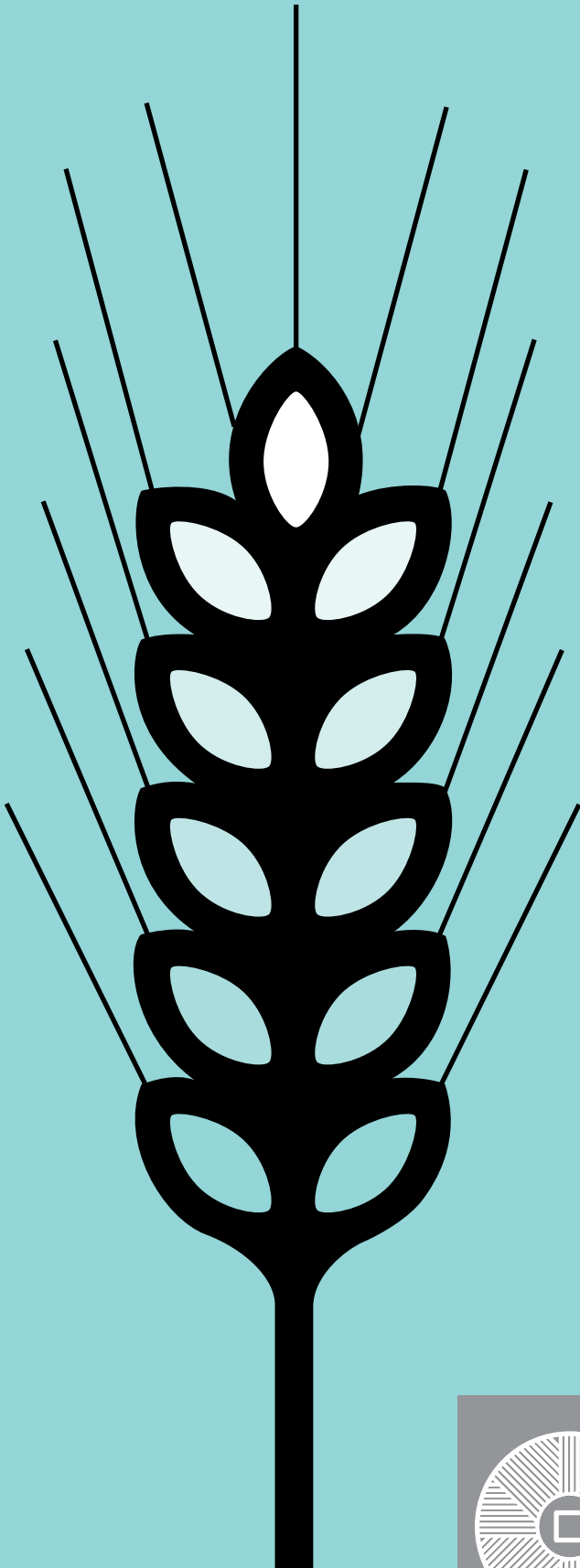


ISSN0913-8838

製粉 振興

2014
No.572
9



一般財団法人

製粉振興会

★目次

平成26年10月期
輸入小麦の政府売渡価格の改定にあたり…………… 3

平成27年産国内産小麦の取引の仕組み…………… 5
製粉協会 常務理事
宮本佳明

平成25年産国内産小麦の品質試験について
(市場流通品の調査結果)…………… 13
製粉協会 理事 製粉研究所長
加藤武弘

インドの小麦を巡る新たな課題
—公的分配システムに起因する過剰在庫問題—…………… 23
農林水産省農林水産政策研究所 研究員(国際領域)
草野拓司

和食と小麦粉——カステラは和食か?…………… 31
昭和学院短期大学学長 お茶の水女子大学名誉教授 畑江敬子

小麦粉のある風景
愛しのバウムクーヘン…………… 33
食文家 ひらのあさか

世界の粉界展望…………… 39

業務日誌…………… 35
業界ニュース…………… 37
国内資料…………… 56
編集後記…………… 71

平成26年10月期 輸入小麦の政府売渡価格の改定にあたり

TPP(環太平洋経済連携協定)交渉は、7月はカナダ・オタワ、9月はベトナム・ハノイにおいて各々首席交渉官会合が開催され、また日米2国間の交渉も随時行われており、関係者間で合意に向けた精力的な作業が行われている模様である。TPP交渉の動向は、報道等で窺い知ることしかできないが、APEC(アジア太平洋経済協力会議)が開催される11月、あるいは年内までに大筋合意を目指し、今後協議を加速させる等と報道されている。その一方で、11月に中間選挙を控えた米国では、高水準な市場開放への意欲が示されないことを理由に、日本を交渉国から外すべきという趣旨の140名の下院議員が署名した書簡がオバマ大統領へ提出される等、交渉の帰趨は依然として不透明な状況である。物品市場アクセス分野における所謂「農産品重要5品目」、とりわけ小麦の取扱いについては、国家貿易の維持により、主要食糧として安定供給が確保され、製粉業のみならず小麦関連産業全体の国際競争力が維持されつつ健全な発展が図れることが重要であり、引き続き強い関心をもって注視する必要がある。

さて、8月26日に平成26年10月期(平成26年10月～平成27年3月)の輸入小麦の政府売渡価格が公表され、5銘柄平均(消費税込ベース、以下も同様)で対前期比0.4%の引下げ、金額にしてトン当たり260円引き下げられることになった。ハード・セミハード系小麦(DNS、1CW、HRW、主にパン・中華めん用)が0.7%、金額にしてトン当たり400円の引下げ、ソフト系小麦(ASW、WW、主に日本めん・菓子用)は変動なしと、両分類においても極めて小幅な変動であり、当局のプレスリリースにも、「5銘柄平均(税込価格)で、前期とほぼ同水準」とされている。今回の価格算定は本年3月から8月までの政府による買付結果によるものであるが、(1)小麦の国際相場が、本年2月以降、米国での乾燥・凍害懸念やウクライナ情勢を受け上昇したものの、5月以降、世界在庫量見込みが潤沢なこと等から低下したこと、(2)為替や海上運賃についても大きな変動がなかったこと等から、この

ような改定内容となったものである。

相場連動制が導入されて以降、製粉業界から幾度となく指摘してきたことであるが、特に改定内容が小幅変動であった場合、その変動を市場の末端まで浸透させることは極めて難しいのが現状である。例えば、今回の改定においても最終製品への影響度合いはパン等最終商品にして1円にはるかに満たない水準である。改めて繰り返すまでもなく、相場連動制の趣旨は、「小麦の売渡価格の変動が流通のそれぞれの段階に適切に反映されていくこと」である。政府から製粉企業へは改定通りに確実に価格変動が反映されるわけであるが、流通の各段階へ製品価格として確実に反映させることは容易なことではない。よって、小幅改定の場合には敢えて売渡価格の改定を見送り、次回の改定時にその分を併せて改定するような措置も十分検討に値するものとする。

また、今回の公表においても農林水産省からは、消費者等に対して、輸入小麦の政府売渡価格の背景等の情報提供を行うとともに、専門の相談窓口を設け、各種の相談を受け付ける旨説明している。相場連動制が導入されて既に7年以上が経過したが、残念ながら関係者以外には、制度の趣旨、小麦価格変動の背景等が正確に認識されているとは言えないだろう。今後とも、改定内容のみならず、改定の背景、現行の仕組み等に関する十分な情報提供を徹底してもらいたい。

本来、相場連動制は、小麦の国際相場変動を製粉企業が政府売渡価格を通して小麦粉価格へ反映させる仕組みであるはずである。それが、2010年に即時販売方式が導入されて以降、従来は政府が行ってきた備蓄を製粉企業が肩代わりするようになったため、小麦の国際相場変動を小麦粉価格改定に反映させるまでの期間がさらに乖離するようになり、所謂「時期ずれ」の拡大を招いている。「時期ずれ」についても引き続き課題となっており、当局からの上記情報提供においては、この点も市場の末端まで浸透するようにお願いしたい。

食品市場の中長期展望においては、少子高齢化、消費者嗜好の多様化、海外からの製品流入等々多くの課題を抱えており、製粉企業にとっては今後ますます厳しい事業運営を迫られるところである。現行制度のもと健全な企業活動が継続できるように、相場連動制における課題について、政府、関係者が十分に検討し、改善に向かうように相互に努力することが望まれる。

平成27年産国内産小麦の取引の仕組み

宮 本 佳 明

1 はじめに

平成27年産の民間流通の仕組みについては、平成26年産の民間流通において当初の需給ギャップ(販売予定数量-購入希望数量)が15万トンを超える近年になく大きい数量となったことから、ミスマッチの解消のために少しでも早く地方協議会を開催しようとの考えから、検討スケジュールを早め、平成26年産(7月24日)より約1ヶ月半早い6月4日に開催された民間流通連絡協議会において決定された。

2 検討経過

(1) 第1回作業チーム(1月17日)

ア 平成27年産の民間流通の仕組みの検討については、平成26年1月17日(金)に開催された作業チームから始まった。

なお、第1回作業チームにおいては、前述のとおり平成26年産の需給のミスマッチが大きな数量となったことから、国内産麦のマッチング手法に主眼を置くこととし、27年産における値幅制限、事後調整等の取扱いについての議論は第2回の作業チーム以降に行われた。

イ 第1回作業チームにおいては、冒頭、農林水産省から、①「最近の国内産小麦の需給について」、②「平成26年産国内産麦の状況について」の2題について説明があった。なお、「平成26年産国内産麦の状況について」では、平成26年産の入札結果等について以下のとおり分析・整理している。

・ミスマッチは4万トンから15万トンに拡大し、入

札結果に反映した。

・小麦の落札率は77%と悪かった。これまで悪くても90%台であり、基準価格対比も落ち込んだ。

・銘柄別にみると違う動きもあるが、概ねミスマッチのあるところは価格が下がっており、ミスマッチと入札結果の間には相関関係がある。

・外国産小麦との価格差は縮小した。

・作物統計との差を検証すれば、平年収量が1%増加しているにも関わらず、収穫後の収量の割合は播種前契約数量の84%であり、いまだ▲17%の差がある。単収の見込みがずれており、整合性が求められる。

・需要拡大推進枠については、当初の目標1万トンに対して実績は5万トンに止まっており、もっと使ってもらいたい。

ウ アで述べたとおり、ミスマッチの解消に向けて、平成27年産国内産麦のマッチングの手法について検討が行われた。

ミスマッチの大小が入札結果に表れているが、今の地方協議会が開かれるタイミング(作付前の夏)では、すでに種子の手当ても終わっており、作付計画を変えることができずマッチングは形式的なものに留まり、ミスマッチの解消には対応できない。

このような状況を踏まえ、道県のミスマッチの解消に資するため、27年産における試行として、実需者の協力を得て、種子の手当てが終わる前に、27年産の需要量についてアンケート調査を行うこととした。アンケート調

査は、一定の前提条件(※)の下で、銘柄別に増やしたい数量又は他の銘柄に変更したい数量についてアンケートするもので、1月中に実施され、調査結果については、国内産小麦のマッチングに役立てるため、アンケート調査実施機関から生産者団体に対して地方において集落座談会等が始まる2月までに情報提供された。(アンケート調査実施機関：(一社)全国米麦改良協会)

※一定の前提条件……25年産の播種前契約の実績を基準として、26年産の指標価格を踏まえた同一県内における銘柄別の増やしたい数量又は他の銘柄に変更したい数量について調査。なお、「同一県内の銘柄への変更」等の数量算出の前提について意見が出され、協力を得やすくするために購入希望数量の提出のように県別に関係なくにフリーに出すことについても了解された。

(2) 第2回作業チーム(2月10日)

ア 平成27年産小麦の取引の仕組みの検討は、実質的に第2回作業チームから始まった。第2回作業チームでは、①各団体から平成27年産民間流通の仕組みに係る検討課題の提出・説明及びこれに対する簡単な質疑応答、②アンケート調査結果の報告が行われた。

イ 製粉協会としては、平成27年産民間流通の仕組みに係る検討課題として、

- ① 安定供給：アローワンスの縮小(当面、販売予定数量の算定に当たっては、国が公表する単収と整合性のある単収を使用することを徹底する。)
- ② 地方協議会：早期の開催
- ③ 播種前契約の全量の契約を見直しを提出し、その理由について、以下のとおり説明した。

①について

- ・「25年産小麦の播種前契約数量と収穫後契約数量との比較及び作物統計値との差」では実績が▲17%となっており、アローワンス(±15%)に収まっていない(25年産より以前はもっと差があるのではないか)。これはペナルティの問題である。
- ・実際収穫しなければわからず、予定数量と比較して大きな差があり、しかも必ず下回るといった状況では、全量播種前契約を目指すことは無意味である。
- ・個々の企業が期待して播種前契約を結び製品の販売計画を立てても、実際には収穫できないことで企業の販売計画に穴をあけ、変更を強いることになる。企業は積極的に販売攻勢をかけづらい。(なお、予定した国内産小麦が供給できないことで実需者は外国産小麦に置き換えざるを得ないが、外国産小麦に置き換わったものは、翌年国内産小麦が必要な量を供給できる状況になったとしても、元に戻らない。)

②について

- ・販売予定数量と購入希望数量のミスマッチを少しでも修正できる時期に開催することが望ましい。25年度においては8月から9月にかけて地方協議会が開催されたが、26年度はもっと早く、6月、7月には開催すること(これでも早いとは言えないが)が望ましい。

③について

- ・全量播種前契約を否定するものではないが、現状を見ると播種前契約の趣旨に反していると思われる実態がある。
- ・前述のとおり、実際に収穫されないと数量の見通しが立たない状況であり、しかも例年アローワンス(下限)を下回っている。
- ・実需を無視した生産が行われている例が多々

見られ、生産者側でミスマッチを縮める努力も見られない。

- ・一方で、実需者は購入計画の提出、平均的な購入を求められており、バランスを欠く。
- ・このような状況下、播種前に全量契約を目指すことは無意味であり、無駄な努力を行うことになる。播種前契約は生産者側が守ろうと思わなければ守れない。

ウ アンケート調査については、全国米麦改良協会より、アンケートを取りまとめ、2月10日付けで生産者の全国団体及び実需者の全国団体へ通知したこと、生産者団体においてはアンケート調査結果を数字だけでなくその理由について個別に需要者サイドの意向をヒアリングするなど補足して活用すること等の報告があった。

作業チームの場では数字の報告はなかったが、アンケート調査結果は、全国ベースで増やしたい数量45,207ト、変更したい数量73,372ト、差引計▲28,195トであった。一定の前提条件の下でのアンケート調査であったので単純に比較してはよくないかもしれないが、25年産の播種前契約数量870,575トであったことから、27年産については842,380トの購入希望があるという結果になった。これは、26年産の販売予定数量867,073トに対して24,693ト少ない。

(3) 第3回作業チーム(3月7日)

ア 第3回作業チームにおいては、各団体から提出された課題について議論を行い、取扱いについて整理していった。

①「流通の基本」

製粉協会として、前述のとおり、全量播種前契約の見直しを課題として提出しており、27年産の販売予定数量が、今回実施したアン

ケート調査結果を踏まえた方向にあるのか、販売予定数量の積算に当たって使用された単収が適正であるかを見て、改善されない場合は全量播種前契約の見直しを検討せざるを得ない旨説明を行った。(製粉協会としては、需給のミスマッチの解消という課題に集中してもらいたく、多くの課題を提案していない。)

②「再入札」

生産者側から、再入札の現行の仕組みは、第1回、第2回入札の落札者でなければ参加できない仕組みになっているが、「第1回、第2回入札の落札者でなくても再入札に参加可能とする。実施・値幅の設定等は売り手判断」との提案があった。

これに対して、製粉協会から、「再入札の参加をフリーにすれば、第1回、第2回入札が活発にならない可能性がある。もともとこのようなことにならざるを得ないミスマッチの大きさが問題である。また、26年産の再入札のような大きな値幅の場合、前年産の同一銘柄の販売や企業会計に大きな影響を与えかねない」旨問題提起が行われた。

これを受けて、生産者側において考え方を整理し、次回再度提案することになった。

③「値幅制限」

特に意見もなく、現行の±10%で決定された。

④入札の「基準価格」

協同組合全国製粉協議会(以下、「全粉協」という。)から、外国産5銘柄平均を基準価格とするべきとの意見が出されたが、現行どおりで決定された。

⑤「事後調整」

全粉協から、外麦の価格変動率100%適用の見直し又は廃止の意見が出されたが、総じてこれまで問題もなく、議論をしながら今の仕組みが維持されてきていることから、現行

どおりで決定された。

⑥「一定の幅」

製粉協会から「単収の設定ばかりでなく、作付面積についても計画と実績に差があり検証する必要があるのではないか」との意見が出されたが、「一定の幅」、「単収」、「販売予定数量」、「作付方針」等については包括的に議論する必要があり、「一定の幅」だけを議論することはできないし、また、議論する場合は地方協議会が適当ということで整理された。

⑦「地方協議会」

生産者側から、必要に応じて、生産者側が販売予定数量を取りまとめる前(イメージとして、生産年の前々年11月～前年2月)に地方協議会を開催し、需要動向、単収設定の考え方、中長期的生産計画等を協議し、協議内容をミスマッチ解消対応等に反映させるよう努めることとしてはどうかとの提案が行われ、引き続き議論することになった。

⑧「価格」

全粉協より、「用途に応じて基準価格に対する価格差の設定」、「購入の重要度に対するプレミアム価格帯の設定」といった意見が出されたが、需要拡大推進枠での対応という考え方もあるのではないかとということで議論は行われなかった。

イ 以上、各団体から提出された課題で、次回作業チームへ継続して協議していく事項は、「再入札」と「ミスマッチの解消」に絞られた。

「再入札」については、生産者側は、今回の作業チームに提案した内容をブラッシュアップして再度提案すること、「ミスマッチの解消」については、一定の幅、単収、販売予定数量を総合して考えていく必要があるが、これらを議論する「地方協議会」の在り方について生産者側は意見を整理し提案することになった。

なお、「ミスマッチの解消」の議論が、28年産、28年産以降に向けての取組みを中心にしたものであったので、27年産についても忘れずに併せて議論することが確認された。

ウ その他、実需者側から、今回のアンケート調査結果を27年産の販売予定数量にどう結び付けて行こうとしているのか質問があり、生産者側から各産地の取組み状況について報告することになった。

(4)第4回作業チーム(3月27日)

ア 第4回作業チームでは、予定どおり、「再入札」(再入札の参加要件)及び「地方協議会」(地方協議会の持ち方)について議論が行われた。

①「再入札の参加要件」

- ・再入札への参加者をフリーにしたことによる第1回・第2回入札取引への悪影響を避けなくてはならないことから、前回の提案が取り下げられ、現行の仕組みを継続することを基本とすることになったが、改めて生産者側から、第1回、第2回の入札で全量不落札となった産地銘柄は、現行の仕組みの下では価格形成の機会を得ることができないことから、27年産における試行的な取組として、「第1回、第2回入札が全量不落札の産地銘柄は、再入札において全ての買い手を参加可能とすることができる。」とする案が再提出された。
- ・これに対して、製粉協会から、「なぜ入札に応札者がいないような事態が起きるのか。育種、栽培、育成において実需者との連携は行われていないのか。勝手に作って、作ったから値段をつけて買ってくれということであれば間違っている。実需と連携がとられており、その上で現行のルールでは値決めができないというのであれば、試行的な取組ということで了解する」旨の意見が出され、最終的

に生産者側からの提案の方向で決定された。

②「地方協議会の持ち方」

- ・生産者側から、27年産及び28年産以降の円滑な流通とミスマッチ解消に向けた取組を行うため、地方協議会の実施の考え方として、以下のとおり提案があった。

民間流通地方連絡協議会の 持ち方について(案)(抜粋)

JAグループ
平成26年3月27日

(実施の考え方)

(1) 27年産

ミスマッチの解消に向け、通常期の地方協議会(以下「夏期地方協議会」)を開催し、要領において、「情報交換」の「提供する情報」とされている「単収」(単収と併せた一定の幅の考え方も含める)「中長期の生産計画」「中長期の需要見込み」等を協議・確認することとする。

(2) 28年産

必要に応じ、実需者側・生産者側双方合意のもと、地方協議会を冬期開催(以降「冬期地方協議会」)し、円滑な流通とミスマッチの発生抑制に向けた取組について協議する。

ア 冬期地方協議会実施の決定

夏期地方協議会において、28年産に向けて冬期地方協議会の開催が必要か否かを確認し、開催が必要とされた場合は、実施方法、実施時期(26年11月から27年2月までを基本とする。)、構成メンバー等を併せ協議・決定する。

イ 協議内容の扱い

生産者側は協議内容を踏まえ、28年産以降における需要に応じた生産方針、中長期生産計画等の策定に取り組む。

- ・この生産者側案に対し、「円滑な流通とミス

マッチの発生抑止に向けた取組のために冬期に協議することはよいが、いろいろな事情を考慮して協議の持ち方を考えてもよいのではないか。相対契約の時期でもあり、一律に、関係者を一堂に会した地方協議会の開催を求めてもできないのではないかと、関係者が一堂に集まった地方協議会方式だけにこだわらず、人数を限った協議会・意見交換会や相対契約の時期でもあり生産者が顧客を回るときに意見交換を行うこと(持ち回り会議形式)も考えられる。」といった意見が出され、生産者側提案を整理し直して、再度作業チームに提出することになった。

イ 前回の作業チームで実需者側から提案のあった各産地のアンケート調査結果の反映・取組状況の報告については、4月中旬頃に実需者団体に対して行うこととなった。

ウ なお、次回の作業チームにおいては、27年産民間流通の仕組みのまとめも行うこととし、まとめれば次回の作業チームを最終回とし、民間流通連絡協議会(本協議会)に上げて27年産の民間流通の仕組みを決定することとした。

(5) 第5回作業チーム(4月21日)

第5回作業チームにおいては、①再入札の参加要件、②地方協議会等の持ち方、③消費税率変更に係る事後調整変動率の算出方法について、整理を行うとともに、27年産民間流通の仕組みに係る検討のまとめを行った。

①「再入札の参加要件」

前回の作業チームで実需者側から、どうして応札者がいないようなことが起きるのかという質問があり、生産者側の方で前回の提案を整理し直し、以下のとおり再度提案が行われ

た。また、生産者側からこれをもって現地を指導する旨の説明があり、了承された。

②「地方協議会等の持ち方」

開催の方法について現場の事情も考慮する必要のあることから、「地方協議会」から「意見交換会等」に変え、また、何を議論するのかを明確にして、以下のとおり再度提案が行われたり了承された。

③消費税率変更に係る事後調整変動率の算出方法

価格の事後調整に使用する変動率の算出に当たっては、農林水産省が公表する輸入小麦政府売渡価格(5銘柄平均)を使用しているが、平成26年4月に消費税率が5%から8%へ変更されたことから、消費税抜きの裸価格で比較・算出することとした。

(「国内産麦(小麦)の民間流通の仕組み」の改定)
基本フレーム項目：価格形成の在り方(3)取引価格の確定方法

○取引価格の確定の際の各種格差等

① 価格の事後調整 備考欄

(改定前)

・B及びCは、農林水産省が公表する価格(消費税率及び地方消費税相当額を含む)とする。

(改定後)

・B及びCは、農林水産省が公表する価格(消費税率抜価格。公表価格が消費税率込みのみの場合は、消費税率で除して得た価格(小数点以下は四捨五入))とする。

④ 27年産の民間流通麦の仕組みの見直しについては、以下の「国内産麦の民間流通制度の仕組みの見直し(案)」のとおりに整理され、作業チームにおいて了承された。なお、案中の別紙①、②はそれぞれ上記の「再入札の参加

要件について(案)」、「需要と生産のミスマッチの解消に向けた協議について(案)」であり、別紙③(省略)は上記③の「国内産麦(小麦)の民間流通の仕組み」の改定内容と同じである。

3 27年産取引の仕組みの決定

27年産の取引の仕組みは、以上のような経過を経て、6月4日(水)に開催された民間流通連絡協議会において、第5回作業チームでまとめられたとおり決定された。

なお、「再入札の参加要件」は、27年産限りの対応(試行)であり、また、再入札については28年産に向けて総括的に見直すことを考えていること、「地方協議会等の持ち方」については運用上の問題であるので、「国内産麦(小麦)の民間流通の仕組み」の規定の変更は行われぬ。27年産に向けて「国内産(小麦)の民間流通の仕組み」の規定が変更される部分は、年産の更新と、消費税率変更に伴う事後調整変動率の算出方法の規定の変更に係る部分のみである。

4 27年産の取引の取り進め方

27年産民間流通麦の取引に係るスケジュールについては、5月30日、民間流通連絡協議会作業チーム事務局よりイメージとして、以下のとおり示されている。

- ① 6月4日 第34回民間流通連絡協議会
- ② 6月13日 販売予定数量提示(生産→実需)
- ③ 6月27日 購入希望数量提示(実需→生産)
- ④ 7月中 地方連絡協議会
- ⑤ 8月下旬 第35回民間流通連絡協議会
(情報交換、入札取引内容)
- ⑥ 9月中 入札取引
- ⑦ 10月以降 相対取引

(製粉協会)
常務理事

再入札の参加要件について(案)

国内産麦においては、需要に即した生産を行うことが重要であり、買い手と売り手が事前に需要や生産の動向等を十分情報収集の上、入札に臨むことが基本であるため、第1回及び第2回入札が全量不落札となるような事案は生じないことが望ましい。

しかしながら、やむを得ず第1回及び第2回入札が全量不落札となった場合、再入札の参加対象者は、第1回又は第2回入札の落札者に限られているため、全量不落札となった産地銘柄の売り手が再入札による指標価格の形成を希望する場合であっても、再入札が出来ないこととなる。

平成27年産において、このような事態が生じた場合、必要に応じて内容を検証し、再入札が必要と認められる事案については、試行的に当該産地銘柄の再入札に全ての買い手が参加可能となるよう対応する。

以上

需要と生産のミスマッチの解消に向けた協議について(案)

27年産および28年産麦の民間流通に係る需要者側・生産者側の意見交換方法等について、以下の整理を基本に取り進める。

1. 目的

需要者側・生産者側双方の合意の下、27年産及び28年産以降の円滑な流通とミスマッチの解消に向けた取組を行うため。

2. 実施の考え方

(1)27年産

ミスマッチの解消に向け、民間流通地方連絡協議会(以下「地方協議会」)において、適切な「単収」の設定(単収と併せた一定の幅の考え方も含める。)のためにこれまでの単収の設定状況を検証・確認するとともに、需要に即した生産が行われるために、27年産販売予定数量と購入希望数量のミスマッチの状況を検証し、「中長期の生産計画」「中長期の需要見込み」等について協議・確認することとする。

(2)28年産

必要に応じ需要者側・生産者側双方の合意の下、意見交換会等を実施し、円滑な流通とミスマッチの発生抑制のために、26年産の単収の設定状況の検証・確認や、27年産の販売予定数量と購入希望数量のミスマッチの状況を踏まえて、28年産あるいは28年産以降に向けた取組について協議を行う。

ア. 意見交換会等の実施の決定

27年産地方協議会において、28年産に向けて意見交換会等の実施が必要か否かを確認し、必要とされた場合は、方法、時期(26年11月から27年2月までを基本とする。)、構成メンバー等を併せて協議・決定する。

イ. 意見交換会等における協議内容の扱い

生産者側は協議内容を踏まえ、28年産以降における需要に応じた生産方針、中長期生産計画等の策定に取り組む。

以上

国内産麦の民間流通制度の仕組みの見直しについて(案)

平成26年6月
民間流通連絡協議会作業チーム

1. 経緯

民間流通連絡協議会作業チームは、平成26年産の入札結果の概要、需給のミスマッチの解消の必要性及び安定供給の取組等の現状を共通の認識とし、平成27年産国内産麦の民間流通の仕組みについて、包括的に見直しの協議を行った。

協議に当たっては、課題と考え方を整理し、特に地方協議会の在り方、需給のミスマッチの解消方法及び安定供給の確保等について精力的に議論を行った。

当該議論の結果、27年産の仕組みについては、次のとおり整理する。

2. 作業チームの議論及び整理結果

(1) 基準価格、値幅制限、再入札について

需要者側、生産者側ともに、国内産麦の需要の確保・拡大を図るためには、国内需要の約9割を占める外国産麦との価格競争力を維持していくことが引き続き必要との認識から、基準価格の考え方及び値幅制限(±10%)は現行どおりとし、再入札制度を有効に活用して、弾力的な運用を行う。

なお、全量不落札となった場合の再入札への参加要件については、別紙①のとおり整理する。

(2) 事後調整について

事後調整については、需要者の一部から、契約後の国内産小麦の価格を外国産小麦に連動させて変更する必要があるのかとの意見があったが、導入の経緯及び導入後の経過を踏まえ、現行どおりとする。

(3) 一定の幅、需給のミスマッチの解消について

需要者側、生産者側ともに、需給のミスマッチの解消のためには、単収や中長期の生産計画等の実質的かつ効果的な協議が必要との認識から、別紙②のとおり整理する。

(4) その他

消費税率変更に伴い、事後調整変動率の算出方法については、別紙③のとおり整理する。

平成25年産国内産小麦の品質試験について (市場流通品の調査結果)

加藤 武 弘

1. はじめに

製粉協会製粉研究所では主要な業務の一つとして、国内産小麦の品質評価を行なっている。これは毎年実施しており、全国から市場に出回っている小麦のサンプルを入手し、会員各社の技術陣に協力して頂き、それら銘柄の品質を調査するものである。

平成25年産小麦についても、昨年秋から調査する銘柄を検討、決定し、製粉試験、一般分析と物性試験、各種二次加工試験を行なってきた。今回その試験結果を

- (1)「国内産小麦の品質評価(主要産地の主要品種)－平成25年産－」
 - (2)「第11回国産小麦新品種(銘柄)の品質評価－平成25年産－」
- として2冊の小冊子にまとめたところである。

本稿ではこれら2冊の試験調査結果を基に、各地の生産状況、主要産地の主要銘柄についてその品質評価結果の概要を報告したい。

2. 生産状況

農林水産統計による25年産の作付面積は全国で210.2千haであり、昨年より1千haほど増加した。地区別では北海道が122千haで全国の58%を占めており、続いて九州が32.7千ha、関東・東山が21.1千haと、この3地区が日本の小麦の主要産地になっている。以下東海、近畿、東北の順はここ数年間で変動がない(表1)。

生産量は作付面積が微増したものの、検査数量ベースで896.6千トンと前年より5.3千トン減少した(表2)。地区別では北海道が621.4千トン(前年比▲16.4千トン)、九州101.9千トン(前年

表1 地域別小麦作付面積の推移

(単位：ヘクタール)

地域名	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産
北海道	116,300	116,300	119,200	119,200	122,000
東北	8,390	8,340	8,110	7,520	7,260
関東・東山	22,800	21,900	21,700	21,500	21,100
北陸	131	176	138	163	174
東海	14,600	14,500	15,000	14,800	14,700
近畿	9,150	9,110	9,350	9,060	8,830
中国	1,420	1,410	1,470	1,550	1,630
四国	1,770	1,770	1,890	1,800	1,730
九州	33,700	33,400	34,600	33,700	32,700
全国計	208,300	206,900	211,500	209,200	210,200

農林水産統計(農林水産省大臣官房統計部 平成26年3月24日公表)より抜粋

表2 平成25年産小麦検査成績

	検査数量 (トン)	等級比率(%)		
		1等	2等	規格外
北海道	621,373	69.4	15.4	15.3
東北地域	15,742	52.0	25.6	22.4
青森	3,333	61.0	32.2	6.9
岩手	7,174	60.0	12.5	27.4
宮城	3,925	46.1	32.5	21.4
秋田	737	2.9	38.8	58.3
山形	173	2.0	96.0	2.0
福島	400	3.5	81.5	15.0
関東・東山地域	76,537	80.2	17.9	1.8
茨城	15,523	57.0	41.0	2.1
栃木	8,439	84.4	12.2	3.5
群馬	25,384	77.7	20.3	2.0
埼玉	19,506	96.7	2.1	1.2
千葉	1,760	75.0	23.0	2.0
東京	2		100.0	
神奈川	56	14.9	84.2	0.9
山梨	130	10.0	88.5	1.5
長野	5,707	96.7	3.2	0.1
北陸地域	260	29.9	53.8	16.2
新潟	29			100.0
富山	65	94.9		5.1
石川	150		93.2	6.8
福井	16	100.0		
東海地域	48,331	68.2	26.7	5.1
静岡	1,556	93.6	6.2	0.1
岐阜	9,381	5.0	90.0	5.0
愛知	21,454	84.5	11.6	4.0
三重	15,940	81.1	11.9	7.1

	検査数量 (トン)	等級比率(%)		
		1等	2等	規格外
近畿地域	22,119	74.2	21.9	3.9
滋賀	17,990	80.5	15.4	4.1
京都	157	26.3	73.7	
大阪				
兵庫	3,789	45.0	52.0	3.0
奈良	184	100.0		
和歌山				
中国・四国地域	10,334	82.0	15.9	2.0
鳥取	39	3.3	96.7	
島根	83	0.9	97.1	2.0
岡山	1,729	87.2	10.7	2.1
広島	317	30.2	63.1	6.7
山口	2,008	75.0	24.1	1.0
徳島	198	68.4	31.6	
香川	5,485	89.2	8.7	2.1
愛媛	471	71.9	24.8	3.3
高知	6	36.2	63.8	
九州地域	101,858	93.8	2.4	3.8
福岡	49,169	95.2	1.8	3.0
佐賀	30,981	91.0	2.3	6.7
長崎	1,129	78.8	19.7	1.5
熊本	13,983	97.1	1.4	1.5
大分	6,506	93.8	5.9	0.3
宮崎	72	28.6	63.3	8.1
鹿児島	17		100.0	
沖縄				
計	896,554	73.0	15.1	12.0

農林水産省生産局農産部穀物課農産物検査班の資料による
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/mugi/pdf/25mg2512.pdf>

比▲1.9千トン)、関東・東山地域が76.5千トン(前年比+6.2千トン)となっている。また品質的にも1等比率が73.0%で前年の88.2%から大幅にダウン、2等比率15.1%(前年4.2%)、規格外比率12.0%(前年7.6%)が増加している。これは北

海道地区の1等比率の減少が影響している。

3. 主要生産地と主要銘柄について

<北海道>

北海道は全国の生産量の約7割を占め、日本

の代表的な小麦生産地となっている。検査数量は、平成11年産では天候不順等の影響により37万トンに減少したものの、その後増加し、平成14年産以降は平成18年産、平成21年産および平成22年産を除き60万トンに達している。平成25年産は約62万トンと前年(約64万トン)より減少した。

過去における品質問題として、平成7年産の低アミロ被害、平成8年産の整粒割合低下、平成10年産の色の低下などがあった。直近では、天候不順の影響で平成21年産および平成22年産の「ホクシン」については、産地により粉の色が悪い傾向にあった。平成25年産では、主要品種が「ホクシン」から後継品種である「きたほなみ」へ切り替わり、3年目となる。引き続き産地間の品質差を注視する必要がある。

平成21年産より一般に出回った「きたほなみ」は、平成25年産の検査数量は北海道地区の83.4%であった。他の秋播き小麦は「ゆめちから」6.7%、「キタノカオリ」1.3%、「きたもえ」0.2%の順となっている。

平成25年産の春播き小麦の検査数量は、「春よ恋」が北海道地区の6.0%、「はるきりり」1.5%、「ハルユタカ」0.4%の順となっている。

作付面積はほぼ前年並みであった。秋播き小麦の播種はほぼ前年並みであった。7月上中旬からの高温少雨のため出穂期はやや遅れたものの、成熟期は早くなった。十勝では収穫期の降雨により品質が低下した。春播き小麦の播種は降雨により大幅に遅れたが、5月下旬からの高温で成熟期は上川で前年より1日遅れ、オホーツクで3日早くなった。10a当たりの収量は穂数、一穂粒数は少ないが子実の充実は良く、前年比101%、前年比89%であった。

平成25年産の検査数量は621,373トンと前年より約1.6万トン減少し、1等比率は69.4%（前

年88.3%）と前年より低下した。

なお、主要品種が「ホクシン」から「きたほなみ」に置き換わり3年目であり、来年以降の収量がどの様になっていくか、注目される場所である。

<関東・東山地域>

関東・東山地域は北海道、九州に次ぐ小麦生産地である。検査数量の全国に占める割合は、以前は15~20%あったが年々減少している。平成25年産の検査数量は76,537トンと前年に比べ6,000トン増加し、全国に占める割合は8.5%と前年(7.8%)より増加した。

県別の検査数量は群馬県が最も多く関東地域全体の33.2%を占め、次いで埼玉県、茨城県の順で、この3県で関東全体の78.9%を占めている。群馬県、茨城県、栃木県では、主要品種であった「農林61号」から新品种「さとのそら」へ切り替えられ、埼玉県においても切り替えられつつある。

作付面積は、平成25年産は21,100haと前年並みとなっている。全国に占める割合は10.0%であった(前年10.3%)。

平成25年産の検査数量は、「さとのそら」が関東地域の51.1%を占めている。次いで、「農林61号」19.5%、「つるぴかり」5.4%となっている。

播種後の気温は2月頃まで定温で推移したが、3月以降は高温傾向であった。降水量は全般に少なく出穂は前年より遅く、成熟期は前年並みかやや早くなった。10a当たりの収量は前年を上回った。

平成25年産の関東地域全体の1等比率は前年より減少し、80.2%（前年84.6%）となった。県別では、埼玉県で96.7%（同89.5%）、栃木県で84.4%（同93.9%）、群馬県で77.7%（同90.3%）、茨城県で57.0%（同53.3%）となった。

<九州>

九州は北海道に次ぐ小麦生産地である。平成25年産の検査数量は101,858トンと前年比98.1%となった。平成25年産の全国に占める検査数量の割合は11.4%と前年産(11.5%)並みだった。

九州産の小麦はたん白含量が低い傾向にあり、国内産小麦の中では軟質的な性格を持っている。

県別の検査数量は福岡県が48.3%を占め、次いで佐賀県が30.4%、次に熊本県、大分県の順になっている。

作付面積は、平成25年産では32,700haであった。全国の作付面積に占める割合は15.6%と前年(16.1%)よりやや低下した。

平成25産の検査数量は、「シロガネコムギ」が九州地域の40.6%、「チクゴイズミ」が38.7%を占めている。次いで「ミナミノカオリ」9.4%、「ニシホナミ」3.0%、「ちくしW2号」2.7%、「ニシノカオリ」1.5%となっている。

播種期の降雨により播種の遅れや出芽不良があった。2月中旬までの多雨と低温により生育が遅れ草丈が低く茎数が少なくなった。その後気温が高めで推移し、出穂期は平年並みかやや早くなり、成熟期も平年並みとなったが、収穫前の梅雨入りにより一部地域で穂発芽が発生した。平成25年産の1等比率は93.8%と前年(96.7%)と同程度となった。

<東北地域>

岩手県、宮城県、青森県が生産の中心である。平成25年産の作付面積は7,260ha(前年比96.5%)と減少しており、全国に占める割合は3.5%となっている。作柄は、低温により福島県を除いて平年より出穂が遅れたが、登熟期間中の高温多照により生育は回復し、成熟期は平年並みから7日遅れとなった。10a当たり収量は平年比

107%となり検査数量は15,742トン(前年比114.1%)となった。岩手県の作付面積は3,880ha(前年比101.0%)、青森県が1,410ha(同87.6%)、宮城県が1,230ha(同95.3%)で、この3県で東北地域の89.8%を占めている。

検査数量が最も多いのは「ゆきちから」で東北地域の33.3%を占めており、次いで「ナンブコムギ」22.1%、「ネバリゴシ」16.6%、「シラネコムギ」15.5%の順になっている。

「ナンブコムギ」については、群馬県産「さとのそら」に比べたん白はかなり高い傾向が続いていたが、平成25年産のたん白は9.7%と前年11.9%よりかなり低く、年産によるバラツキがある。また、食感は平成25年産は群馬県産「さとのそら」に比べ、硬さと粘弾性がやや劣る傾向であった。

<東海地域>

東海地域の平成25年産の作付面積は14,700haとほぼ前年並みで、全国に占める割合は7.0%となっている。作柄は、播種は遅れ、冬季の低温と降水量が多かったことから出穂は平年より2~3日遅くなった。10a当たりの収量は平年比119%となったが、1等比率は68.2%(前年82.8%)と前年を下回った。検査数量は前年より増加し、48,332トン(前年比109.5%)となった。三重県の作付面積は5,670ha(前年比98.4%)、愛知県が5,270ha(同100.6%)で、この2県で東海地域の74.4%を占めている。

作付品種は「農林61号」が主体であったが減少傾向にあり、「イワイノダイチ」が増加している。平成25年産の検査数量は、「農林61号」が東海地域の31.4%を占め、次いで「イワイノダイチ」30.6%、「あやひかり」18.4%となっている。

平成25年産については、岐阜県の「農林61号」は群馬県産「さとのそら」と比較すると、たん白

は同等で、灰分はかなり高く、めんの評価は、色調が劣る傾向であった。愛知県の「イワイノダイチ」は群馬県産「さとのそら」と比較すると、たん白はやや低く、めんの評価は、色調が劣るが粘弾性となめらかさの評点が高い傾向であった。

<近畿地域>

滋賀県と兵庫県が生産の中心で、平成25年産の作付面積は8,830ha(前年比97.5%)とやや減少し、全国に占める割合は4.2%となっている。作柄は、12月から2月までの気温が平年よりも低く推移したため生育は遅れた。3月以降生育は回復した。出穂期、成熟期はほぼ平年並みとなった。10a当たりの収量は平年並みであった。1等比率は74.2%(前年80.8%)で、検査数量は22,119トン(前年比93.4%)となった。滋賀県の作付面積は6,600ha(前年比97.1%)、兵庫県は1,970ha(同99.0%)で、この2県で近畿地域の97.1%を占めている。

検査数量が最も多いのは「農林61号」で、近畿地域の59.4%を占めており、次いで「ふくさやか」15.7%、「シロガネコムギ」14.9%の順となっている。

平成25年産の滋賀県産「農林61号」は、群馬県産「さとのそら」に比べ、たん白はやや高く、灰分は高く、めんの評価は、色調が劣り、食感もやや劣る傾向であった。また、出回り品では依然として年産によるバラツキがある。

<中国・四国地域>

香川県、山口県、及び岡山県が生産の中心である。平成25年産の作付面積は中国・四国両地域合わせて3,360ha(前年比100.3%)で、全国に占める割合は1.6%となっている。作柄は、11月下旬にまとまった降雨があり、播種作業が遅

れた地域があった。2月まで気温は平年より低く推移し、降水量も少なかったことから、出芽・生育が遅れた。3月の高温により出穂は平年並みからやや遅くなり、収穫期は平年並みからやや遅い程度となった。10a当たりの収量は中国地域で平年並み、四国地域で平年を上回り、1等比率は82.0%(前年82.8%)と前年並みとなった。前年と比較すると検査数量は増加し10,334トン(前年比125.6%)となった。香川県の作付面積は1,490ha(前年比97.4%)、山口県が855ha(同113.1%)、岡山県が480ha(同99.6%)で、この3県で中国・四国両地域の84.1%を占めている。

検査数量は「さぬきの夢2009」が中国・四国地域の52.0%を占めている。次いで「ニシノカオリ」12.0%、「シラサギコムギ」11.7%の順になっている。

4. 品質評価まとめ(主要銘柄について)

今回の出回り品の品質評価試験について、小麦の分析値、テストミル60%粉の分析値を表3-1、3-2に記載した。また今回の出回り品の品質評価だけでなく、当所が実施した他の品質評価試験の結果も加味して、その特徴をコメントする。

【きたほなみ】(北海道)

一昨年まで北海道の主要品種であった「ホクシン」の後継品種であり、平成25年産の検査数量は約51.8万トンで、国内産小麦の57.1%を占める。

現在の国内産小麦の中で、容積重は高い傾向である。過去4年間の群馬県産「さとのそら」の平均と比較しても容積重はかなり高く、また、灰分は低く、たん白はかなり高い傾向がみられた。たん白は、うどん用小麦として望ましいレ

表3-1 国内産小麦主要産地主要品種の試験結果一覧表(平成25年産抜粋)

	さとのそら ** 群馬	北海道			関東			ASW (平成25年度 参考データ)	
		きたほなみ 網走地区	きたほなみ 十勝地区	きたほなみ 其他地区	さとのそら 茨城	農林61号 埼玉	つるびかり 群馬		
原料試験	水分(%)	12.1	12.3	12.3	12.2	11.4	12.6	12.4	10.1
	灰分(%)*	1.50	1.45	1.36	1.34	1.52	1.49	1.55	1.26
	たん白(%)*	9.6	10.9	10.9	11.1	11.8	9.9	9.4	10.5
	容積重(g/l)	790	844	821	842	820	792	818	807
テストミル 60% 粉	灰分(%)*	0.39	0.38	0.36	0.34	0.39	0.38	0.42	0.38
	たん白(%)*	8.0	9.4	9.3	9.7	9.7	8.2	7.7	9.0
	色(L値)	87.2	86.9	86.9	87.4	86.5	87.1	87.4	87.9
	アミロ粘度(B.U.)	1,100	670	550	1,010	1,095	1,060	1,325	795

* 13.5% 水分ベース

表3-2 国内産小麦主要産地主要品種の試験結果一覧表(平成25年産抜粋)

	九州				東海				近畿		
	シロガネ コムギ 福岡	シロガネ コムギ 佐賀	チクゴ イズミ 福岡	チクゴ イズミ 佐賀	農林 61号 愛知	農林 61号 岐阜	イワイノ ダイチ 愛知	あや ひかり 三重	農林 61号 滋賀	ふく さやか 滋賀	
原料試験	水分(%)	12.3	12.7	11.7	12.4	11.5	10.9	12.2	11.1	12.6	12.0
	灰分(%)*	1.50	1.51	1.49	1.51	1.64	1.70	1.48	1.50	1.65	1.56
	たん白(%)*	9.9	9.9	8.9	8.5	9.4	9.9	9.0	9.4	10.3	11.1
	容積重(g/l)	781	820	829	803	817	831	817	826	821	840
テストミル 60% 粉	灰分(%)*	0.32	0.31	0.33	0.32	0.43	0.37	0.36	0.37	0.39	0.33
	たん白(%)*	7.8	7.9	7.1	6.6	7.7	8.3	7.4	7.9	8.9	9.4
	色(L値)	87.7	88.5	87.6	87.4	87.3	87.2	86.9	87.0	86.7	87.6
	アミロ粘度(B.U.)	945	965	1,170	1,000	1,105	1,100	1,240	1,340	1,010	840

* 13.5% 水分ベース

ベルであった。

平成25年産のたん白は、前年と比較して網走地区と十勝地区ではやや高く、其他地区では高かった。また、平成25年産の十勝地区のアミロ粘度は前年と比較してかなり低く、前年に続いて低かった網走地区とともに、其他地区と

比較して低かった。年度、産地によるバラツキが見られる。

現在の国内産小麦の中で、ミリングスコアはかなり高く製粉適性は良い傾向にある。平成25年産は、ミリングスコアが群馬県産「さとのそら」よりかなり高かった。

めんの食感は群馬県産「さとのそら」に比べて、粘弾性、なめらかさの点で優れている傾向にある。平成25年産について、3地区とも粘弾性、なめらかさの評点は高かったものの、色と外観の評価が悪く、特に網走地区の色の評点が悪かった。

[さとのそら](群馬)

「さとのそら」は、「農林61号」の後継品種として、関東を中心に切り替えが進められている。群馬県では、平成24年産より全面的に切り替えられた。

平成25年産は、前年産と比較して、たん白は同等で、灰分はやや低かった。

過去4年間の群馬県産「さとのそら」のミリングスコアの平均は、80.9だった。

めんの食感は「きたほなみ」などと比較し、粘弾性、なめらかさの点で劣る傾向にある。

色調は、「農林61号」と比べると、明るく、黄色みがある。

「農林61号」は、一般に国内産小麦の中では、比較的安定した品質であることが評価されていた。今後、更なる普及が見込まれる「さとのそら」は、引き続き、産地間の品質差を注視する必要がある。

[つるぴかり](群馬)

アミロース含量が従来の国内産小麦より低い品種の「つるぴかり」が少量作付けされている。平成25年産の群馬県産「さとのそら」と比べると、「つるぴかり」はたん白は同等で、灰分はやや高かった。めんの食感は粘りが強く特徴的である。この特徴は平成25年産についても同様に見られた。加工適性において既存品種との差が大きい。

[シロガネコムギ](九州)

平成25年産は、群馬県産「さとのそら」と比べて、灰分およびたん白は同等であった。平成25年産のたん白は、福岡県産、佐賀県産とも9.9%と前年産と同等だったが、出回り品として年産によるバラツキがある。

ミリングスコアは、過去4年間の群馬県産「さとのそら」の平均と同等だった。平成25年産については、群馬県産「さとのそら」に比べ、福岡県産は高く、佐賀県産はやや高かった。

めんの評価は、平成25年産は、群馬県産「さとのそら」と比べ、色調と粘弾性がやや低い評点であった。

[チクゴイズミ](九州)

アミロース含量が従来の国内産小麦より低い「低アミロース小麦」で、平成7年産より本格的に生産が開始された。たん白含量は低めで、出回り品では年産によるバラツキが大きい。平成25年産のたん白は前年産と比べて、福岡県産が8.9%とやや高く、佐賀県産は、8.5%と同等だった。

ミリングスコアは過去4年間の群馬県産「さとのそら」の平均と比べてやや低く、小麦としては粉状質であるため篩抜けが悪く、国内産小麦の中でも製粉適性は劣る。平成25年産については、ミリングスコアは群馬県産「さとのそら」と比べ、福岡県産はやや高く、佐賀県産は同等だった。

めんは粘りが強い特徴のある食感である。群馬県産「さとのそら」と比べ、粘弾性となめらかさの評点は高いが、硬さの点で劣る傾向にある。平成25年産についても同様の傾向が見られた。

適正ゆで時間は短く、ゆで過ぎるとやわらかくなり過ぎる欠点がある。低アミロース系小麦全般に言えることであるが、その食感は極めて

表4 国内産小麦主要産地主要品種の試験結果一覧表(直近5年間のデータ)

		北海道											
		きたほなみ 網走地区 ** (平成22～25年産のデータ)				きたほなみ 十勝地区 ** (平成22～25年産のデータ)				きたほなみ その他地区 ** (平成22～25年産のデータ)			
		平均	最大	最小	標準偏差	平均	最大	最小	標準偏差	平均	最大	最小	標準偏差
原料試験	水分(%)	12.5	12.9	12.1	0.37	12.4	12.6	12.2	0.17	12.2	12.6	11.4	0.53
	灰分(%)*	1.48	1.54	1.39	0.071	1.42	1.46	1.36	0.048	1.41	1.52	1.34	0.081
	たん白(%)*	10.8	11.0	10.3	0.34	10.7	11.2	10.2	0.47	10.8	11.6	10.2	0.70
	容積重(g/l)	834	844	822	9.9	824	843	814	13.3	836	854	821	14.7
テストミル60%粉	灰分(%)*	0.37	0.39	0.34	0.023	0.36	0.38	0.34	0.017	0.36	0.36	0.34	0.008
	たん白(%)*	9.1	9.4	8.6	0.37	9.0	9.3	8.7	0.33	9.1	9.7	8.6	0.57
	色(L値)***	86.9	87.1	86.8	0.13	86.9	87.2	86.7	0.19	87.2	87.5	86.5	0.46
	アミロ粘度(B.U.)	846	1,000	670	155	883	1,020	550	222	1,010	1,045	980	27

* 13.5% 水分ベース

** 直近5年間のデータがない品種は、()内記載の期間で評価した。

*** 平成24年産以前は換算表から算出した。

特徴的である。また、加工適性においても既存品種との差が大きい。

5. おわりに

最後に国内産小麦における最近のトピックスを品質上の観点から確認しておきたい。まずは主要銘柄の世代交代についてである。既に北海道では平成21年産から出回った「きたほなみ」の生産が本格化し、「ホクシン」からの切替が4年を掛けて行なわれた。表3-1、表4に「きたほなみ」の品質データを掲載しているが、過去においては北海道の各地域ごとに品質(特にたん白レベル)のバラツキが見られた。平成25年産についても若干の地域差が見られた。今後もこのフレができるだけ小さくなるよう、関係各位のご努力をお願いしたい。

国内産小麦のもう一つの代表銘柄である「さとのそら」は一昨年からは群馬県での生産が本格

化し、平成25年産では関東の栃木、茨城、埼玉各県では主要銘柄として、また三重県でも生産が始まった。表5に平成25年産「さとのそら」の群馬県、埼玉県、茨城県、栃木県、三重県の品質評価データを掲載した。これらは新品種の品質評価試験のために集められたサンプルの結果であり、いよいよ群馬県以外の各県においても広範囲に生産が始まった状況である。各県のサンプルについては、群馬県産と比較して、たん白値にはやや違いが見られたが製めん試験としてはほぼ同等との品質評価が得られた。今後も品質の安定化と均一化を期待したい。

二つ目のトピックスは「春よ恋」を始めとした硬質小麦の全国的な生産振興についてである。表6に新品種として品質評価した硬質小麦のデータを掲載した。国内産小麦で代表的な銘柄である「春よ恋」はカナダの1CWと比べても、総合的に見てかなり良い評価が得られている。そ

表5 めん用小麦新品種(銘柄)の試験結果一覧表(平成25年産)

特性・評価項目		品種(銘柄)		「参考」 ASW	さとのそら (埼玉)	さとのそら (茨城)	さとのそら (栃木)	さとのそら (三重)
		「コントロール」 さとのそら (群馬)						
原麦試験	水分(%)	12.1	10.1	12.4	11.4	11.8	11.5	
	灰分(%)*	1.50	1.26	1.49	1.52	1.42	1.52	
	たん白(%)*	9.6	10.5	9.9	11.8	11.0	8.9	
	容積重(g/l)**	790	807	804	820	801	792	
	千粒重(g)	37.0	39.2	39.1	38.5	38.8	39.4	
	フォーリングナンバー	390	403	372	387	356	365	
製粉試験	歩留(%)	66.0	69.9	62.2	64.1	61.8	63.9	
	ストレート粉灰分(%)	0.40	0.40	0.34	0.40	0.33	0.34	
	ミリングスコア	81.0	84.9	80.2	79.1	80.3	81.9	
テストミル 60%粉試験	水分(%)	12.0	13.3	13.2	12.9	13.7	13.8	
	灰分(%)*	0.39	0.38	0.34	0.39	0.33	0.33	
	たん白(%)*	8.0	9.0	8.2	9.7	9.1	7.5	
	色(L値)	87.2	87.9	86.9	86.5	86.4	87.3	
	ファリノ グラム	吸水(%)*	53.6	56.1	53.3	56.2	56.0	55.0
		P.T.(分)	2.2	2.2	1.6	2.1	1.7	1.3
		Stab.(分)	3.0	9.4	3.3	2.6	2.3	2.2
		V.V.	42	56	40	40	39	38
		Weak.(B.U.)	110	45	110	120	120	120
アミログラム	M.V.(B.U.)	1,100	795	1,070	1,095	865	1,040	

* 水分13.5%換算、** ヘクトリットル・キログラム計による測定値を換算

れに続く新品種として「ゆめちから(北海道)」、「ゆめかおり(長野)」等が生産されているが、今後も更に新しい品種が開発されることが予想される。ICWに対しても同等以上の品質の新品種の登場を期待すると同時に、質、量両面で安定供給頂けるよう、しっかりした銘柄への育成をお願いしたい。

小麦の品質には「食の安全・安心」に関わる要素(例えば健全度、被害粒やカビ等の汚染)を始め、製粉適性(一次加工性)や製パン、製めん等の各アイテムに求められるそれぞれの二次加工適性が重要である。同時に品質面でフレのない、

均一性が強く求められる。製粉企業としてはお客様である二次加工メーカーへ高品質で安定した品質の小麦粉を継続して供給していくことが最大の責務である。その安定性の元となるのが原料として使用する、良質で均一性の高い小麦である。今後も継続して良質な小麦を安定して提供頂けることをお願いする次第である。製粉協会としてはこれからも国内産小麦の品質動向を注視していく考えである。今回得られた試験結果が関連各位のご参考になれば幸いである。

(製粉協会
理事 製粉研究所長)

表6 パン用小麦新品種(銘柄)の試験結果一覧表(平成25年産)

特性・評価項目		品種(銘柄)	「コントロール」 1CW	「参考」 春よ恋	「参考」 HRW(SH)	ゆめちから (北海道)	ゆめかおり (長野)	
原麦試験	水分(%)		12.3	12.2	10.8	12.4	12.3	
	灰分(%)*		1.51	1.60	1.39	1.64	1.36	
	たん白(%)*		12.8	13.3	11.3	14.4	13.4	
	容積重(g/l)**		824	830	808	819	832	
	千粒重(g)		37.3	39.7	32.2	41.5	40.7	
	フォーリングナンバー		397	350	395	375	389	
製粉試験	歩留(%)		73.3	71.5	73.1	69.5	69.9	
	ストレート粉灰分(%)		0.44	0.46	0.41	0.45	0.45	
	ミリングスコア		86.3	83.5	87.6	82.0	82.4	
テストミル 60%粉試験	水分(%)		13.2	13.6	13.2	12.7	12.9	
	灰分(%)*		0.41	0.43	0.38	0.42	0.41	
	たん白(%)*		12.1	11.9	10.2	12.9	12.5	
	色(L値)		87.7	87.0	87.5	86.9	85.7	
	ファリノ グラム	吸水(%)*		65.0	64.1	59.7	64.1	64.4
		P.T.(分)		4.9	2.8	2.5	2.9	2.9
		Stab.(分)		7.4	5.5	12.8	6.2	8.1
		V.V.		60	52	58	51	53
		Weak.(B.U.)		60	70	35	75	65
	アミログラム	M.V.(B.U.)		775	730	475	725	750
	エキステン ソグラム	A(cm ²)		126	178	169	181	149
		R(B.U.)		460	725	680	705	545
		E(mm)		205	187	192	189	205
R/E			2.2	3.9	3.5	3.7	2.7	

* 水分13.5%換算、** ヘクトリットル・キログラム計による測定値を換算

インドの小麦を巡る新たな課題 —公的分配システムに起因する過剰在庫問題—

草野 拓司

はじめに

インドは過去に度重なる飢饉を経験し、多数の犠牲者を出してきた。その経験から、1960年代後半以降、インド政府は食料(特に穀物)の自給を目指す政策を採ってきた。穀物の中でも特に重要だと考えられたのが小麦とコメで、インド政府にとって、小麦とコメを自給することは、長年の念願であった。そして、1960年代後半からの「緑の革命」により、小麦とコメを中心とした穀物の増産を達成し、1970年代後半には穀物の自給を達成したのである。

しかし、1990年代に入ってから、穀物における新たな問題が起こっている。それは、小麦やコメの過剰在庫問題である。本稿では、この新たな問題を取り上げ、なぜ過剰在庫が発生するのか、また、この過剰在庫がどのような問題を引き起こしているのかについて、小麦を中心に

紹介していく。

以下、1節では、穀物全体の生産や消費の特徴を簡単に紹介しながら、インドにおける穀物の中での小麦の位置づけを確認する。2節では、話題を小麦に限定し、インドにおける小麦生産の特徴や近年の需給動向を整理する。3節では、小麦を巡る新たな課題となっている過剰在庫問題を取り上げ、その要因やそこから派生している問題を紹介する。最後にまとめを行う。

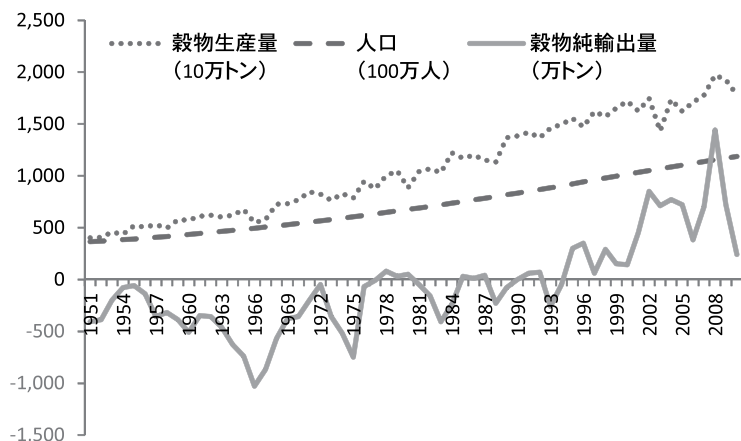
1. インドにおける穀物の生産と消費

—小麦とコメが中心となった動き—

(1) 穀物の純輸入国から輸出大国へ

第1図をみると、インドでは、1960年代半ばに飢饉が発生したため、1966年に1,000万トンを超える大量輸入を行っていることが確認できる。

第1図 インドにおける穀物生産の推移



資料：GOI(2011)より。

このような状況下、インド政府は穀物の自給を目指して、増産政策を採った。それが、「緑の革命」である。高収量品種の導入、灌漑・電気・化学肥料といった投入財への補助金政策を行ったのである。その結果、1970年代後半には自給を達成した。その後も、人口増加を大きく上回るペースで増産を続け、1990年代以降は恒常的な穀物輸出国となったのである。近年では、コメの輸出量が世界最大になるなど、世界でも有数の農業大国(穀物大国)の地位を築いている。

(2)穀物生産の変化

では、穀物ごとの生産量はどのような変化を遂げてきたのだろうか。主要穀物の生産量の推移を示している第2図をみると、インドにおいてはこれまで、コメが最大の穀物であることがわかる。1960年には3,568万トンを生産し、2011年には195%増の1億532万トンに達している。

次に生産量が多いのが小麦である。小麦の生産量は、1960年代後半まではミレット(キビ)やソルガム(モロコシ)などの雑穀類と大きな差は

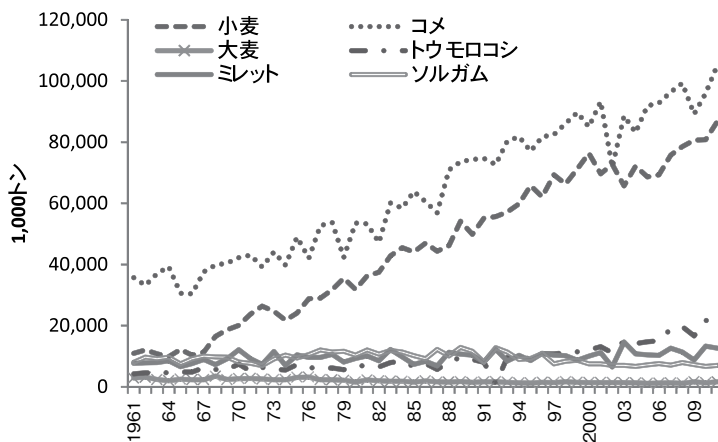
なかったが、1970年代以降急増し、その差が年々拡大している。1961年からの増加率で見れば、小麦は690%で、最も大きな増産が達成された作物であることがわかる。

一方で、ミレットやソルガムに大きな増産がみられないことから、小麦とコメの増産により、1970年代以降の穀物の自給が達成されてきたといえるのであるⁱ。

(3)穀物消費の変化

次に、第3図で、穀物ごとの消費量の変化をみていこう。同図は、年間1人当たりの穀物消費量(供給量ベース)の推移を示している。これをみると、インドにおいて、長年にわたって、コメが第一の穀物であり続けてきたことがわかる。小麦は1960年当初から第二の穀物ではあったが、1961年の消費量は28kgで、67kgのコメとの差は39kgあった。しかし、コメがその後も70~80kgで止まったのに対して、小麦は増加を続け、2000年以降は60kg程度となり、コメとの差は10~20kgほどに縮小しており、食料としての重要性が一層増しているといえる。これは、ミレットやソルガム等の雑穀類が下級

第2図 インドにおける主要穀物の生産量の推移



資料：FAOSTATより。

財となり、それを代替する形で上級財である小麦の消費量が増大したためである。

麦に限定し、生産の特徴(増産要因や地域性)を紹介した後、近年の需給動向をみていこう。

2. インドにおける小麦生産の特徴と需給動向

—北部地域的小麦増産による自給率の安定—

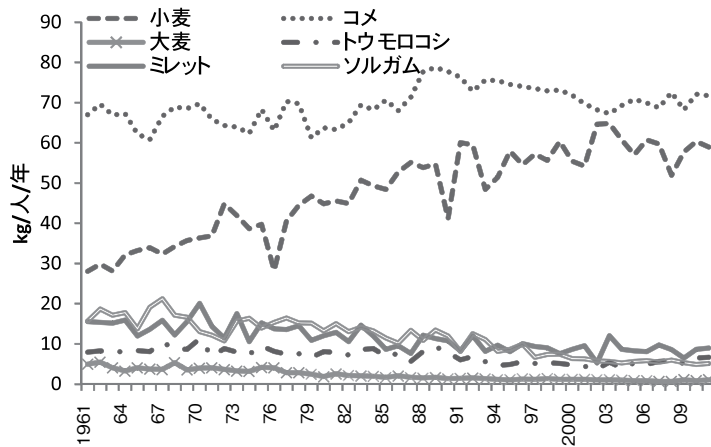
ここまでは、インドにおける穀物全体の生産量や消費量を概観し、小麦の位置づけが非常に重要であることを確認した。以下では、その小

(1)小麦の増産要因と地域性

—インド北部における単収増による増産—

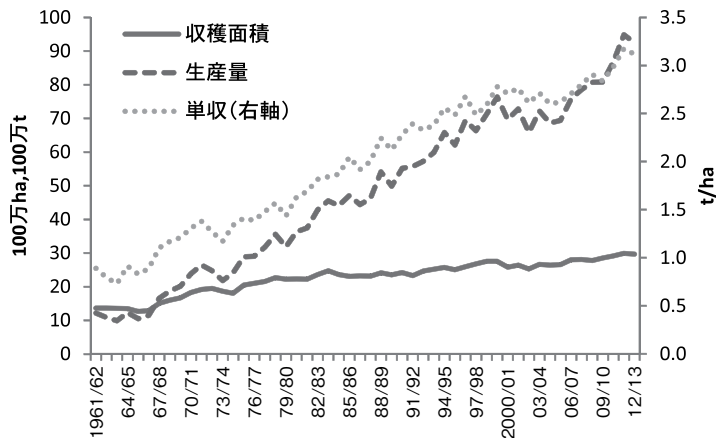
第4図は1961/62年度以降の小麦の生産に関する変化を示している。小麦の生産量は、1961/62年度当時は1,200万トン程度であった。その後、1960年代は停滞したものの、1970年代以降の緑

第3図 インドにおける主要穀物の年間1人当たり消費量の推移



資料：第2図と同じ。
注 データはすべて供給量ベース。

第4図 インドにおける小麦の生産量等推移



資料：GOI(2013)より。

の革命により急増を達成し、2011/12年度には生産量が9,000万トンを超えた。

このような生産量の急増は、主に単収を増加させることによって達成されたことが同図からわかる。そして、この背景には、既述の通り、投入財の増加がある。

このように、単収を増加させることによって増産が達成されているのが、インド北部である。第1表をみると、ウッタル・プラデシュ州が最大の産地で、全インドに占める同州の生産量の割合が33%に達している。それにパンジャブ州、マディヤ・プラデシュ州、ハリヤナ州、ラジャスタン州という北部5州の生産量を合計すれば約8,000万トンとなり、インドにおける小麦生産量の86%に及ぶ。北部の単収は全体的に高く、特に緑の革命の舞台となったパンジャブ州やハリヤナ州では1ヘクタール当たり4.4～5.0トンと非常に高く、このような小麦生産の先進地での急速な増産が、インドにおける小麦増産を支えてきたのであるⁱⁱ。

(2)近年の小麦の需給動向

第5図をみると、近年も小麦の増産は着実に続き、2002/03年度以降の増産率は年平均2.9%で、2012/13年度は約9,500万トンに達し、中国に次いで世界第二位となっている。

消費量も増加を続けているものの、2002/03年度以降は年率1.2%程度である。これは、1人当たり消費量が頭打ちを迎えているためで、消費量の増加分は人口増加率とほぼ同等となっている。

2002/03年度以降の自給率は、90%台後半～100%超となっている。生産量の拡大に伴って、輸入への依存を大きく減少させ、おおむね自給を達成している状況にあるといえる。

3. 小麦を巡る新たな課題

—公的分配システムに起因した過剰在庫問題と財政の圧迫—

このように、小麦の増産は順調で、自給をおおむね達成している状況下、新たな問題が発生している。それは、過剰在庫の問題である。本

第1表 州別小麦生産の概要

(単位：100万ha、100万t、t/ha)

	2012/13					2011/12				
	面積	生産量		単収	面積	生産量		単収		
		対全インド(%)	対全インド(%)			対全インド(%)	対全インド(%)			
ウッタル・プラデシュ	9.7	32.8	30.3	32.8	3.1	9.7	32.6	30.3	31.9	3.1
パンジャブ	3.5	11.9	16.1	17.4	4.6	3.5	11.8	17.3	18.2	4.9
マディヤ・プラデシュ	5.3	17.9	13.1	14.2	2.5	4.9	16.4	11.5	12.2	2.4
ハリヤナ	2.5	8.4	11.1	12.0	4.4	2.5	8.4	12.7	13.4	5.0
ラジャスタン	2.8	9.5	9.0	9.7	3.2	2.9	9.9	9.3	9.8	3.2
ビハール	2.2	7.5	5.4	5.8	2.4	2.1	7.2	4.7	5.0	2.2
グジャラート	1.1	3.5	3.1	3.4	3.0	1.4	4.5	4.1	4.3	3.0
西ベンガル	0.3	1.1	0.9	1.0	2.8	0.3	1.1	0.9	0.9	2.7
マハラシュトラ	0.6	2.0	0.9	1.0	1.5	0.8	2.8	1.3	1.4	1.6
ウッタラカンド	0.4	1.2	0.8	0.9	2.3	0.4	1.2	0.9	0.9	2.4
ヒマーチャル・プラデシュ	0.4	1.2	0.5	0.6	1.5	0.4	1.2	0.6	0.6	1.7
ジャム・カシミール	0.3	1.0	0.4	0.5	1.4	0.3	1.0	0.5	0.5	1.7
ジャルカンド	0.2	0.5	0.3	0.3	1.7	0.2	0.5	0.3	0.3	1.9
カルナータカ	0.2	0.8	0.2	0.2	0.7	0.2	0.8	0.2	0.2	0.8
アッサム	0.1	0.2	0.1	0.1	1.2	0.1	0.2	0.1	0.1	1.2
その他	0.1	0.5	0.2	0.3	—	0.1	0.4	0.3	0.3	—
全インド	29.7	100.0	92.5	100.0	3.1	29.9	100.0	94.9	100.0	3.2

資料：GOI(2013)

注 2012/13年度は予測値。

節では、その問題を紹介していくが、その前に、過剰在庫を引き起こす要因になっている公的分配システム(PDS: Public Distribution System)の仕組みを概説する。その後、過剰在庫の問題を紹介する。

(1)PDSの仕組みⁱⁱⁱ

1940年代半ばのベンガル飢饉や1960年代半ばの大飢饉を経験したインドは、食料の中でも特に穀物の自給と分配を目指してきた。その中心にあるのがPDSである。これは、①低所得層や社会的弱者への食料安全保障を提供すること、②緩衝在庫によって不測の事態に備え、かつ価格の安定化を図ること、③政府による買い上げ価格の設定により生産者にインセンティブを与えること、以上の3点を目的としたシステムである。

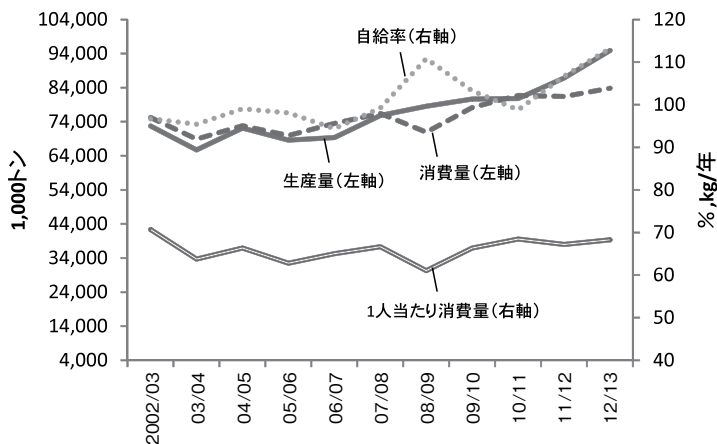
小麦やコメの場合の公的分配システムは次のような仕組みになっている。はじめに、農業費用価格委員会(CACP: Commission for Agricultural Costs and Prices)が、生産費、買い上げ必要量、需給状況などを考慮して設定した買い取り価格

がインド政府(このシステムにおいて、買い上げ、配分、緩衝在庫運営などで大きな役割を担っているのが中央政府機関であるインド食料公社(FCI: Food Cooperation of India)である)に勧告される。FCIはそれを参考とし、最低支持価格(MSP: Minimum Support Price)を決定する。この買い上げ量には上限を設けていないので、FCIは、販売を希望する生産者の申し出を断ることはできない。次に、PDS用の穀物を州政府に売り渡す価格(CIP: Central Issue Price)が決定され、各州政府はそれに従い、FCIが保管する「中央保管」から公的分配システム用の商品を買取る。そして、公正価格店(Fair Price Shop)で消費者に売り渡すことになる^{iv}。

(2)過剰在庫問題の発生

このPDSは、1970年代および1980年代は大きな問題はなく機能してきた。ところが、1990年代に入ってMSPの水準を大幅に引き上げたことから^v、FCIは大量の買い上げを行うことになった。第2表をみると、2008/09年度の実質MSPは前年度比21.3%と大きく上昇した。その

第5図 近年の小麦の需給状況



資料: 第2図と同じ。

結果、政府買い上げ量は、前年度比104%増の2,270万トンとなった。同年度の売り渡し量も前年度比22%増の1,490万トンとなったものの、買い上げ量との差は780万トンとなった。この後も、実質MSPは2008/09年度と同程度で高止まりしたため、政府買い上げ量は増加を続け、2012/13年度には3,820万トンに達した。これは、同年度の生産量の41.3%にもものぼる数量である。2008/09年度以降、売り渡し量も増加を続けた

ものの、中央政府は逆ぎやの幅を少しでも抑えたいため、州政府への売り渡し価格が高くなる。そのため、買い上げ量が常にそれを上回る規模になったのであった。

その結果、第3表にあるように、政府在庫量は、2008/09年度以降急増し、2012/13年度には2,420万トンまで膨張した。インド政府が定めている「適正在庫量」が700万トンなので、その346%分の在庫を抱えるまでに至ったのである。

第2表 近年の小麦に関するPDSの概要

(単位：ルピー/100kg、100万トン、%)

	MSP(名目)		MSP(実質)		政府買い上げ			政府売り渡し			差 k(=e-h)
	価格 a	上昇率 b	価格 c	上昇率 d	買上量 e	増加率 f	割合 g	売渡数量 h	増加率 i	割合 j	
2002/03	620	1.6	650	1.4	19.0	△ 8.4	28.9	25.0	56.3	38.0	△ 6.0
03/04	620	0.0	629	△ 3.1	15.8	△ 17.0	21.9	24.3	△ 2.8	33.7	△ 8.5
04/05	630	1.6	630	0.1	16.8	6.3	24.5	18.3	△ 24.8	26.6	△ 1.5
05/06	640	1.6	609	△ 3.3	14.8	△ 12.0	21.3	17.2	△ 6.0	24.8	△ 2.4
06/07	650	1.6	520	△ 14.8	9.2	△ 37.6	12.2	11.7	△ 31.8	15.4	△ 2.5
07/08	750	15.4	559	7.5	11.1	20.6	14.2	12.2	4.2	15.5	△ 1.1
08/09	1,000	33.3	678	21.3	22.7	103.9	28.1	14.9	22.0	18.4	7.8
09/10	1,080	8.0	649	△ 4.3	25.4	11.9	31.4	22.0	47.6	27.2	3.4
10/11	1,100	1.9	642	△ 1.1	25.9	2.1	29.8	23.1	5.0	26.6	2.9
11/12	1,170	6.4	695	8.4	28.3	9.3	29.9	24.2	4.7	25.5	4.2
12/13	1,285	9.8	661	△ 4.9	38.2	34.7	41.3	30.1	24.8	32.6	8.0

資料：GOI(2012)、GOI、Ministry of Agriculture、Commission for Agricultural Costs and Pricesウェブサイト、RBIウェブサイト、GOI、Ministry of Commerce and Industry、Office of the Economic Advisor ウェブサイトなどより筆者作成。

注 1) 最低支持価格の実質値は、小麦の卸売物価指数によってデフレートして求めた。

2) 「割合」とは、生産量に占める割合のこと。

第3表 近年の小麦の政府在庫量

(単位：100万トン、%)

	政府在庫		適正 在庫量 n	充足率 o(=l÷n×100)
	在庫量 l	増加率 m		
2002/03	15.7	△ 39.9	4.0	391.3
03/04	6.9	△ 55.7	4.0	173.3
04/05	4.1	△ 41.3	4.0	101.8
05/06	2.0	△ 50.6	4.0	50.3
06/07	4.7	133.8	4.0	117.5
07/08	5.8	23.4	4.0	145.0
08/09	13.4	131.6	4.0	335.8
09/10	16.1	20.1	7.0	230.4
10/11	15.4	△ 4.8	7.0	219.4
11/12	20.0	29.9	7.0	285.0
12/13	24.2	21.4	7.0	345.9

資料：GOI(2012)、RBIウェブサイトより筆者作成。

注 在庫量、適正在庫量とも4月1日現在の値。

(3) 過剰在庫問題に起因する財政の圧迫

以上のような在庫の膨張は、小麦だけでなく、コメでも発生している。小麦と同様に、1994/95～95/96年度、2001/02～03/04年度、そして2009/10～12/13年度に、三度の在庫膨張が起こっているのである。コメの場合、2012/13年度には政府在庫が3,550万トンに達し、適正在庫量(1,420万トン)の250%に達している。

このような小麦とコメの政府在庫の膨張が主因となり、中央政府の財政は圧迫されている。FCIが作物の購入や保管等を行う際に必要となる「購入税・州税・買い上げ諸費用」、「一時保管・分配諸費用」、「緩衝在庫運営費用」を合計したものを「食料補助金」と呼んでおり、これがインド政府の財政を圧迫するようになってきているのである。第6図で2002/03年度以降の食料補助金の推移をみると、近年は急増しており、2012/13年度には8,500億ルピーに達した。近年では、対GDP比で0.9～1.0%という高水準となっているのである^{vi}。

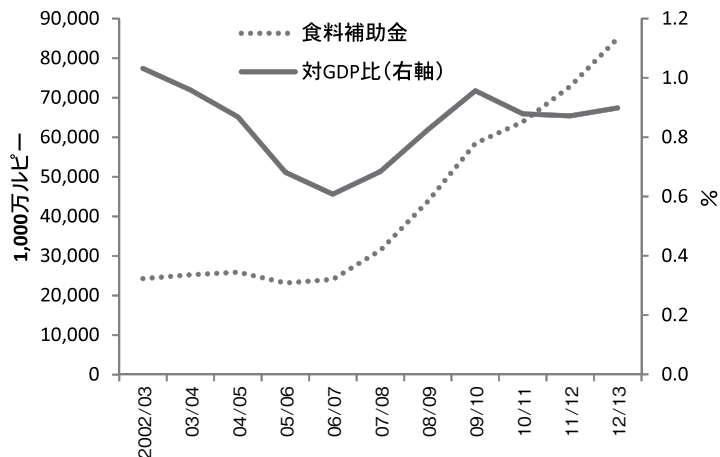
(4) 今後の展望

— 食料安全保障法がPDSに与える影響 —

2013年には、これまでのPDSの枠をさらに拡大する「食料安全保障法」が下院・上院で可決され、大統領の署名を経て成立した。これにより、PDSによって小麦やコメなどを安価で購入できる人々の枠が拡大し、全人口の70%に当たる約8億人となった。世帯数でいえば、これまでの6,520万世帯から約1億4,000万世帯へと大幅増加となる。消費者への売り渡し価格はこれまでよりもさらに低く設定され、1kg当たりで、小麦2ルピー(約3.4円)、コメ3ルピー(約5.1円)、雑穀1ルピー(約1.7円)となる。

これにより、PDSで扱われる小麦等の数量も大幅に増加する。旧システムでは、小麦、コメ、雑穀の総量で5,637万トンが必要であったが、新システムでは、6,143万トンが必要になると予想されている。そうなれば、インド政府は、配給用の小麦やコメ等の必要量を確保するために、さらにMSPを上昇させる可能性があり、それにより、さらなる在庫膨張が起こりうると

第6図 近年の食料補助金の推移



資料：GOI、Ministry of FinanceウェブサイトおよびRBIウェブサイトより。

いえるだろう。そのようなことから、財政負担（「食料補助金」を含むPDS全体にかかる費用）はこれまでの約1兆ルピー（約1兆7,000億円）から、約1兆2,500億ルピー（約2兆1,250億円）に膨れ上がると見込まれており、財政問題が深刻化することが予想されるのである。

まとめ

2014年5月、政権は国民会議派からインド人民等(BJP)に移った。BJPにとって、PDSの運用はきわめて重要な政策課題であり、その運用次第では、国際市場に大きな影響を与えることも考えられる。今後のインド政府によるPDS運用の動きに注目する必要がある。

[参考文献]

- ・ 草野拓司(2013)「カントリーレポート：インド」『行政対応特別研究[主要国横断] 研究資料第2号 平成24年度カントリーレポート ロシア、インド』
 - ・ 草野拓司(2014)「カントリーレポート：インド」『プロジェクト研究[主要国農業戦略] 研究資料第1号 平成25年度カントリーレポート 中国、タイ、インド、ロシア』
 - ・ 首藤久人(2006)「公的分配システムをめぐる穀物市場の課題」、内川秀二編『躍動するインド経済 光と陰』。
 - ・ FAOSTAT
<http://faostat.fao.org/> (2014年8月8日参照)
 - ・ GOI(Government of India), Ministry of Agriculture (2011), *Agricultural Statistics At a Glance 2011*.
 - ・ GOI, Ministry of Agriculture (2012), *Agricultural Statistics At a Glance 2012*.
 - ・ GOI, Ministry of Agriculture (2013), *Agricultural Statistics At a Glance 2013*.
 - ・ GOI, Ministry of Commerce and Industry, Office of the Economic Advisor ウェブサイト、<http://www.eaindustry.nic.in/> (2014年1月30日参照)
 - ・ GOI, Ministry of Agriculture, Commission for Agricultural Costs and Pricesウェブサイトを、<http://cacp.dacnet.nic.in/> (2014年1月30日参照)
 - ・ GOI, Ministry of Finance, *Economic Survey*. <http://indiabudget.nic.in/survey.asp> (2013年1月13日参照)
 - ・ RBI (Reserve Bank of India) ウェブサイト、<http://www.rbi.org.in/home.aspx> (2012年8月24日参照)
<http://www.rbi.org.in/scripts/PublicationsView.aspx?id=15123> (2014年1月30日参照)
 - ・ USDA, PSD Online
<http://apps.fas.usda.gov/psdonline/psdQuery.aspx> (2014年8月8日参照)
-
- i 近年、トウモロコシの生産量が増加している。この背景には、国内における畜産業の成長と、それに伴う飼料穀物の需要増加がある。
 - ii インドでは、ナンやチャパティの原料として、小麦は主に北部で消費されている。
 - iii 大部分が草野(2014)からの引用。
 - iv 詳細は首藤(2006)を参照のこと。
 - v 政治的圧力なども要因であると言われている。
 - vi 2012/13年度の農業部門GDP比8.8%、2014/15年度の中央政府予算比7.1%に相当する。

(農林水産省農林水産政策研究所)
研究員(国際領域)

和食と小麦粉——カステラは和食か？

畑 江 敬 子

熊倉氏の定義を採用すれば、明治維新以前にすでに日本で作られていたし、高度成長期までには、“ごちそう”ではあったものの、日常食べられていた菓子であるから、和食といって良い。

さらに、農林水産省発行の「和食 WASHOKU 日本人の伝統的な食文化」の中でも、餅、饅頭、羊羹、落雁、最中などと並んで、焼きものの中に味噌松風・煎餅・桃山・カステラ・どらやきなど、と和菓子に分類されている。

カステラが日本に伝えられたのはいつごろか。

16世紀の大航海時代に香辛料を求めてポルトガル船が東アジアに進出してきた。アフリカ南端の喜望峰をまわり、モザンビーク、インドのゴア、タイのアユタヤ、マラッカ海峡を通過して中国のマカオへ、そして日本の長崎へと航海した。

カステラの名前の由来は、スペインのカステリーヤ地方(Castilla)をポルトガル語発音ではカステーラ(castela)ということから、あるいはカステラをつくる際に城(castelo)の様に高くなれ、といったことから、など諸説ある。

カステラはポルトガルの焼き菓子である

パン・デ・ロー(pao de lo)と製法が同じであることから、これが原型であろうとされている。もっとも、スペインのビスコチヨという説もある。食べ物は変化しながら受け継がれ、同じ頃に別の地域で似たようなものが食べられることもあるので、これらはいずれも1つの説として見る必要がある。

文献によれば、室町時代末期にキリスト教の宣教師によって伝えられ、キリスト教を布教するのに、上戸にはちんた、ぶどう酒を、下戸にはポーロ、こんぺいとう、カステラを振る舞ったとある。織田信長や境の商人たちも口にしたのであろう。

江戸時代の製菓書や料理書にカステラは掲載されており、茶会でも多く用いられた。江戸、大坂を中心に、江戸時代の中期には現在の長崎カステラに近いものが作られている。

材料は小麦粉、卵、砂糖、など栄養価の高い菓子で一種の栄養剤的な使用もされたらしい。日本ではさらに焼き方も工夫され、また、日本人の好みに合わせ、水飴を加えるようになった、ということである。

現在のポルトガルで食べられているパン・デ・ローは日本では直方体であるのと

~~~~~

違って円筒形である。その作り方を現地（リスボンの菓子店であるパウロの店）で見学してきた宇都宮由佳氏によると、材料(直径18cm型1個分)として

全卵……………1個

卵黄……………3個

砂糖……………50g

薄力粉……………25g

レモンの皮……………少量

#### 作り方

型に敷き紙を敷き、薄力粉を振っておく  
オーブンを190℃に予熱する

ボールに全卵、卵黄を入れ泡立てる

砂糖を3回にわけ加える

薄力粉とレモンの皮を入れ混ぜ合わせる

型にいれ190℃のオーブンで20分間焼く

材料配合として卵の割合が粉の約4倍となり、非常に多いが、作り方としてはスポンジケーキのそれと同じである。

ここで問題なのは、日常的にパンの焼かれていたポルトガルと違い、当時日本にはオーブンがなかったことである。そこで、下火と上火とで加熱するために釜の上に鉄の板をおいてそこに炭火をおく引き釜など日本独自の工夫がされたことが記録にある。

カステラを同じ材料である小麦粉、卵、砂糖で作るスポンジケーキと比べると、砂糖と卵の占める割合が高い。スポンジケー

キでは、一般的には、小麦粉100gに対して、卵100g、砂糖100gであるのに対し、カステラでは小麦粉100gに対して卵200g、砂糖200gである。

実験的に焼いたカステラの断面とスポンジケーキの断面を比べると膨らみは同程度であるが、カステラの方が気孔のきめが細かく、小さい気孔が数多くある。

スポンジケーキを焼く時は、生地をオーブンに入れると温度の上昇に伴って体積は徐々に増加する。温度が60℃を超えると多数の気泡がさらに膨張して、90℃まで膨張を続ける。その後は体積の増加はほとんどなく、気孔の周囲を取り巻いていた小麦でんぷんが糊化して気孔壁を固定する。

リスボンのパン・デ・ローの中央部分が凹んでいるのは、卵の割合が非常に多いので、小麦でんぷんが気孔壁を固定できないためかもしれない。

ただし、パン・デ・ローにもいくつか種類があり、中央部が穴になっているものや、中央が非常に軟らかいものもあるということである。

スポンジケーキはクリーム等デコレーションされるが、カステラはお茶請けなどとしてそれだけで食べるところもちがっているところである。

( 昭和学院短期大学学長  
お茶の水女子大学名誉教授 )



# 愛しのバウムクーヘン

ひらの あさか

### 特別な日の贈り物に

日本で愛され続けているバウムクーヘン。ドイツ語で木や樹木をさすバウム(Baum)とケーキや焼き菓子を意味するクーヘン(Kuchen)、つまりバウムクーヘンとは「木のケーキ」という名前のお菓子なのです。

バウムクーヘンは、焼き上がった層が木の年輪を思わせることから、日本ではおめでたい日の贈答品として好まれ、結婚式や祝い事の引き出物として使われることが多くあります。

### バウムクーヘン日本へ

バウムクーヘンを日本で最初に売り出したのは「ユーハイム」の創始者カール・ユーハイム(Karl Juchheim)です。彼はドイツの菓子職人でしたが、22歳の時に一旗揚げようと当時ドイツの租借地だった中国の青島(チンタオ)で菓子店と喫茶店を兼ねた店を開きました。

しかし、6年後の1914年に第1次大戦が開戦。その頃の青島は、ドイツと対抗する三国(イギリス、フランス、ロシア)についての日本の進軍によって占領され、多くのドイツ人が捕虜となり、青島にいたカールも強

制連行されて日本の地を踏むことになりました。

広島県似島に落ち着いたカールに転機が訪れたのは1919年のこと、広島物産陳列館で開かれた似島収容所浮虜製作品展覧会で、カールがバウムクーヘンを出品。櫛の木を芯棒にし、手動でゆっくりまわしながら生地をかけていくというとても手間と時間のかかる製法でバウムクーヘンを焼き上げました。会場を訪れた人々は、そのしっとりとしたおいしさに魅了され、あっという間に売り切れたといいます。これが日本で最初に焼かれたバウムクーヘンです。

その後の1921年、カールは横浜の山下町でドイツ菓子の店「ユーハイム」を創業しました。当時バウムクーヘンは「ピラミッドケーキ」と呼ばれ、カールはお客様の注文にあわせて、ピラミッドケーキを切り分けて売っていました。しかし、2年後の1923年9月1日に関東大震災が横浜を襲い、この影響により横浜の店を失い、やっとの思いで神戸へ移住。再びカールは神戸の地で「ユーハイム」を開業しました。ドイツの菓子職人カールの店はたちまち評判になり、バウムクーヘンが知れ渡ったといいます。

## ほっとバウムクーヘン

ホットケーキミックスを使ったちょっと手間はかかりますが手づくり「バウムクーヘン」を紹介します。無塩バターは電子レンジで加熱して溶かす。ボウルに卵、牛乳、砂糖または、はちみつを合わせて泡立て器でよく混ぜて、ホットケーキミックス、溶かした無塩バターを加えて生地をつくる。卵焼き器にサラダ油を軽くひいて生地を薄く流し入れて全体に広げて、生地におつぷつと穴が開いたら、裏返して焼き色がついたら取り出す。残りの生地を同様に入れて伸ばし、生地の上が固まらないうちに取り出した生地をのせて焼き、取り出す。再び生地を伸ばして、重ねた生地をもどしてのせるという作業を繰り返して厚みをつくり、最後に表面に焼き色をつけたら取り出して冷ます。粗熱を取って、少し休ませてから食べやすい大きさに切り分ける。

## 今どきのバウムクーヘン

はやりの「バウムクーヘンのブリュレ」はメープルシロップが効いているバウムクーヘンにカリカリとしたキャラメリゼ(焦がし砂糖)がかかっている、見た目はプリンバウムクーヘンのようです。さすがに一気には食べ切れないので、何回かに分けていただきましたが、最初はキャラメリゼ部分がパリッと硬く香ばしい味に、段々とバウムクーヘンにキャラメリゼ部分がしっとりとなじみ、最初の味とは違ったおいしさに変身しました。

本家ユーハイムでは、究極のバウムクーヘンをふたつ。限りなく和菓子に近い限定「黒豆入りのバウムリンデ」。リンデとは、

ドイツ語で「木の皮」を表わすものです。卵とバターをリッチに使って重ね焼きしたバウムクーヘン生地の中に、蜜煮にした黒豆が挟まっただけで、てっぺんにもたっぷりの黒豆煮を寒天で固めてのせ、通常のバウムクーヘンと違い、四角に切り分けられた、おだやかな味の和風バウムです。このほか、生地に抹茶を加えて一層一層焼いていき、ホワイトチョコレートなどをコーティングしている「抹茶のバウムクーヘン」技術はそのままに、味は和風なテイストのたいへん手間のかかるおいしいひと品です。

ホレンディッシュ・カカオシュトゥーベは1895年創業のドイツの老舗。こちらの「バウムリンデ」は、マジパンのクリーミーペーストが挟まった薄い層が細やかに重なったバウムクーヘンの上にチョコレートがのったラム酒の効いたオトナのバウムクーヘンです。

## 思い出のバウムクーヘン

1960年代頃にまだ高嶺の花だったユーハイムのバウムクーヘンは、四角い缶に入って売られていました。誕生日とクリスマスが近かった師走生まれの私の記憶に残るバースデーケーキはユーハイムのバウムクーヘンでした。波形にナイフで削いだ2~3切れの上に、生クリームにグラニュー糖を加えて泡立てたホイップクリームをのせたものでした。当時はことのほかおいしいものでした。

(食文家)

参考文献

ユーハイムグループホームページ

ユーハイム社史

## 総務

### 一般財団法人製粉振興会理事会・評議員会を開催

#### 1、第158回理事会

8月6日(株)鉄鋼会館において、農林水産省生産局農産部 折原貿易業務課長のご臨席のもと理事会を開催し、次の議案を審議し決定しました。

##### (決議事項)

- 第1号議案 第48事業年度事業報告に関する件
- 第2号議案 第48事業年度決算報告に関する件
- 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書に関する件
- 第4号議案 定時評議員会の議題の追加に関する件

##### (報告事項)

- 職務状況報告に関する件

#### 2、第80回評議員会

8月26日(株)鉄鋼会館において、評議員会を開催し、次の議案を審議し決定しました。

##### (決議事項)

- 第1号議案 第48事業年度決算承認に関する件
- 第2号議案 基本財産の一部除外に関する件
- 第3号議案 常勤役員の退職慰労金規程に関する件
- 第4号議案 評議員の選任に関する件
- 第5号議案 理事の選任に関する件

##### (報告事項)

- ・ 第48事業年度事業報告に関する件
- ・ 公益目的支出計画実施報告書に関する件

評議員 (退任) 鈴木 規弘氏

(新任) 本井 秀樹氏

理事 (退任) 落合 通人氏

(新任) 日永田 和隆氏

#### 3、第159回理事会(書面決議)

評議員会終了後、書面による理事会において専務理事の選定について諮ったところ、平成26年8月26日付けで、日永田和隆氏が専務理事として選定されました。

( 役員及び評議員名簿については、次ページをご参照ください  
なお、資料については、本会のホームページをご参照ください )

# 業務日誌

## 一般財団法人製粉振興会 役員及び評議員名簿 (敬称略)

平成26年8月26日現在

### 《役員》

| 役職   | 氏名    | 役職 | 氏名   |
|------|-------|----|------|
| 理事長  | 鈴木五六  | 理事 | 高橋信男 |
| 専務理事 | 日永田和隆 | 〃  | 滝原賢二 |
| 理事   | 安孫子建雄 | 〃  | 沼山勝己 |
| 〃    | 小田善一  | 〃  | 堀内俊文 |
| 〃    | 門田正昭  | 監事 | 青木中  |
| 〃    | 志賀弘嗣  | 〃  | 新妻一彦 |

### 《評議員》

| 氏名    | 役職                     | 氏名    | 役職                     |
|-------|------------------------|-------|------------------------|
| 伊藤元久  | 一般財団法人<br>日本穀物検定協会 理事長 | 本井秀樹  | 農林中央金庫 常務理事            |
| 井上好文  | 一般社団法人<br>日本パン技術研究所 所長 | 田村真八郎 | 農林漁業金融公庫<br>元技術参与      |
| 加藤茂夫  | 学校法人 専修大学 教授           | 中村靖彦  | 学校法人<br>東京農業大学 客員教授    |
| 斎藤修   | 国立大学法人<br>千葉大学 教授      | 東直樹   | 公立大学法人<br>首都大学東京 名誉教授  |
| 西藤久三  | 一般財団法人<br>食品産業センター 理事長 | 藤村勝   | 独立行政法人<br>国民生活センター 元理事 |
| 坂本元子  | 学校法人<br>和洋女子大学 名誉教授    | 盛田清秀  | 国立大学法人<br>東北大学 教授      |
| 生源寺真一 | 国立大学法人<br>名古屋大学 教授     | 横田章憲  | 横田会計事務所 所長             |

## 業務

平成26年8月1日、構造改善助成事業審査委員会を開催した。

(審査内容) 転廃業に対する助成事業計画書  
助成対象とする内示……………1件

# 業界ニュース

プレスリリース

平成26年8月26日  
農 林 水 産 省

## 輸入小麦の政府売渡価格の改定について

農林水産省は、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第113号)第42条第2項」に基づき売り渡す輸入小麦の平成26年10月期の政府売渡価格を決定しました。

## 政府売渡価格の考え方

輸入小麦の直近6か月間(平成26年3月～8月)の平均買付価格は、

(1)小麦の国際相場が、本年2月以降、米国での乾燥・凍害懸念やウクライナ情勢を受け上昇

したものの、5月以降、世界在庫量見込みが潤沢なこと等から低下したこと、  
(2)為替や海上運賃についても大きな変動がなかったこと等から、

前期とほぼ変わらない水準となりました。

この結果、平成26年10月期(平成26年10月～平成27年3月)の輸入小麦の政府売渡価格は、政府売渡価格の改定ルールに基づき、直近6か月間の平均買付価格を基に算定し、5銘柄平均(税込価格)で、前期とほぼ同水準の58,330円/トンとなります。

(単位：円/トン)

| 政府売渡価格       | 26年4月期 | 26年10月期 | 対前期比  |
|--------------|--------|---------|-------|
| 5銘柄加重平均(税込み) | 58,590 | 58,330  | ▲0.4% |

注1：5銘柄の内訳

### ・ハード・セミハード系小麦

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| アメリカ産ダーク・ノーザン・スプリング(DNS) | 主にパン・中華麺用 |
| カナダ産ウェスタン・レッド・スプリング(1CW) | 主にパン用     |
| アメリカ産ハード・レッド・ウィンター(HRW)  | 主にパン・中華麺用 |

### ・ソフト系小麦

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| オーストラリア産スタンダード・ホワイト(ASW) | 主に日本麺用 |
| アメリカ産ウェスタン・ホワイト(WW)      | 主に菓子用  |

注2：ハード・セミハード系小麦の26年10月期における政府売渡価格は、税込みで59,390円/トン(対前期比▲0.7%)です。  
ソフト系小麦の26年10月期における政府売渡価格は、税込みで56,380円/トン(対前期比0.0%)です。

# 業界ニュース

## ★製粉協会第68回定時会員総会を開催

製粉協会の第68回定時会員総会は8月20日(水)午前11時00分から製粉会館会議室において開催された。小寺春樹会長が議長に選出されて議事が進められた。

第1号議案・第66期会務報告、第2号議案・第66期収支決算、第3号議案・第67期収支予算並びに賦課金について、門田正昭専務理事より説明し、いずれも異議なく原案通り承認された。

小寺会長に代わって新会長には大枝宏之理事(日清製粉(株)社長)が選任された。

この後、新旧会長の退任・就任の挨拶があり、理事・監事を代表して沼山勝己常任理事から新旧会長にご慰労とご激励の挨拶が述べられた。

最後に、生産局農産部 柄沢彰部長から来賓のご挨拶を頂いた。

総会后、懇親会が午後12時00分から東京証券会館で開催された。大枝新会長の挨拶に始まり、来賓を代表して生産局松島浩道局長のご挨拶、(一財)製粉振興会の鈴木五六理事長の乾杯のご発声により和やかに行なわれた。

【東京・鯉淵】





世界 (1) 2014/15年度の小麦は生産が7.13億トン、消費が7.06億トンで、期末在庫は増加。貿易

量は1.46億トン。

国際穀物理事会(IGC) 予想の2014/15年度小麦の需給、生産量、貿易量を[表1]、[表2]、[表3]に示した。世界の生産は前年度比90万トン増の7.13億トン、消費は1,100万トン増の7.06億トン(食用は510万トン増の4.81億トン)、期末在庫は700万トン増の1.95億トン、貿易は1,000万トン減の1.46億トンである。期末在庫は、主要8輸出国計が550万トン増の5,890万トン、中国も500万トン増の6,300万トンだが、インドは60万トン減の1,970万トンである。収穫面積は約1%増の2.226億ヘクタールで、EU、カザフスタン、ロシア、南米、インド、オーストラリアで増える。生産量はEU、ロシア、南米、中国で増え、北米、近東アジア、オーストラリアで減る。アジアとアフリカで食用消費が増える。中国は比較的良好品質の小麦を生産でき、輸入が380万トン減の300万トンである。ロシアの輸出が増え、アメリカの輸出は減る。

(IGC-GMR・447/14)

(2) 2014/15年度の小麦粉貿易量は前年度比70万トン増の1,327万トン。

IGCによる小麦粉貿易量を[表4]に示した。インドネシアが輸入関税から輸入割当制度に変

え、前年度比50万トン増の80万トンと予想される。ブラジルは小麦が豊作だが、前年度を45万トン上回る70万トン輸入する。シリアは小麦生産量減と内戦での製粉能力損傷により、20万トン増の70万トン輸入する。輸出国では、小麦生産量減のトルコが65万トン減の270万トンだが、カザフスタンはトルコ輸出減で40万トン増の320万トン輸出する。アルゼンチンが65万トン増の90万トンに回復する。

(IGC-GMR・447/14)

(3) 小麦全粒粉やふすまは健康に良い食物繊維の宝庫。

AACC Internationalは小麦の繊維が健康に良いことをまとめつつある。[表5]は合衆国農務省栄養データベースの小麦全粒粉、小麦粉、ふすまの栄養成分で、全粒粉とふすまには繊維が多く、便秘、体重増加、心臓血管病、タイプ2糖尿病などの予防作用があり、多く摂取すべきだという。

(CFW・58-6/14)

(4) ヒトツブコムギは機能性のルテインを多く含むが、加工で分解されやすい。

ヒトツブ、エンマー、コラサン、スベルトなど古代小麦が注目されている。[表6]はヒトツブコムギと他の小麦種のルテイン含量、[表7]は小麦のルテインを含むカロテノイド平均含量である。ヒトツブコムギには高ルテイン品種があり、品種改良で高含量品種作出の可能性がある。ルテインは眼と皮膚の健康を促進し、加齢に伴う黄斑変性、白内障、ある種のがん、心臓血管病のリスク低減に重要な役割を果たす。トコール、共役ポリフェノール、アルキルレゾルシノール、植物ステリンも多い。ルテインは加工、焼成、貯蔵中に酸化や異性化を起こしやすい

く、クッキー、マフィン、平焼きパンなどの焼成中に分解されやすいので、高ルテイン品種を使う必要がある。

(CFW・59-1/14)

**(5) 一部の国を除き、家庭での製パンが増加傾向。**

オランダのInnova Market Insights社によると、アメリカとイギリスでは家庭の製パンが減っているが、世界では3月末までの1年間に5,000以上の製パン材料とミックス新製品が発売され、家庭で作るパンがパン全体の14.5%（前年同期は13.5%、過去5年平均は10%以下）に増えた。新製品はヨーロッパが全体の37%、アジアが20%、北米が16%で、中南米は少ない。

(MBN・93-10/14)

**(6) パン小麦ゲノム配列草案を公表。**

国際小麦ゲノム配列協会は7月18日発行のScience誌にパン小麦ゲノム配列草案を発表した。完全な配列は3年以内に判明の見込みだという。同協会は2005年設立で、57か国の1,000人以上の小麦生産者、植物学者、育種研究者で構成される。

(World-Grain.com・7/18/14)



**アメリカ (1) 2014/15年度の小麦は前年度より生産、国内消費、輸出が減。期末在庫は増。**

[表8] は合衆国農務省8月21日発表の小麦需給予測。収穫面積は前年度比2.4%増だが、単収が7%減の2.95トン/ヘクタールなので、生産量は4.7%減の5,525万トン。食用消費は1.1%増の2,613万トンだが飼料用消費が減り、国内消費計は4.7%減の3,241万トン。輸出も21.4%減の2,517万トン、期末在庫は198万トン増の

1,804万トンである。ハード・レッド・ウィンター小麦は生産が2.0%減、国内消費が4.5%増、輸出が大幅減の966万トン、ハード・レッド・スプリング小麦は生産が7.9%増、国内消費が7.9%減で、輸出が708万トンに増える。ホワイト小麦は生産が8.5%減、国内消費も10.3%減、輸出が408万トンに減り、期末在庫も128万トンに減る。デュラム小麦は生産が166万トンに減り、輸入が増え輸出は54万トンに減少。

(USDA)

**(2) 2014年7月の小麦生産者手取り価格は前月比、前年同月比共に大幅安。**

[表9] は合衆国農務省発表の全小麦平均生産者手取り価格である。7月は6.10ドル/ブッシェルで、前月比39セント安、前年同月比85セント安である。

(USDA)

**(3) ADM製粉インディアナ州Beech Grove工場の増設が完了し、全米第3位の工場に。**

Archer Daniels Midland社傘下のADM製粉のインディアナ州Beech Grove工場の増設が7月9日に完了した。最新鋭工場で、小麦粉日産能力は1,270トン(全米で3位)になった。粉サイロを増設し、粉出荷能力もほぼ倍増した。顧客の要望に応じて春と冬小麦、硬質と軟質小麦を使い分けて製品を作る。同社は世界最大級の製粉会社で、アメリカ、カナダ、カリブ海諸島、中米、イギリスに工場を持つ。

(World-Grain.com・7/9/14)

**(4) フラワーズ・フーズ社が旧ホステス社のパン工場を1つ売却へ。**

Flowers Foods社は2013年7月に買った旧Hostess Brands社の20工場の1つ、メイン州



Biddeford工場を売却する。

(MBN・93-9/14)

(5) アーデント製粉の本社はデンバー中心部に。料理とパンの技術センターも併設。

Ardent製粉はデンバーのダウントウン近くのビジネス地区の15階建てビルの4フロアを本社にする。1フロアの床面積は1,264平方メートルで、1フロアを研究・品質及び技術問題解決の料理センターと製パン実験室にし、約200人のスタッフを置く。

(World-Grain.com・7/8/14)

(6) 有機粉などを扱う新製粉会社が発足。

Function-O Foods社(カンザスシティ)はFirebird Artisan製粉を設立し、消費者向け特殊食品材料に特化する。ノースダコタ州のDakota Prairie Organic Flour社も買収した。有機材料やキノア、アマランス、アマ、ソバなどの粉を製造、販売する。

(MBN・93-12/14)

(7) コンチネンタル製粉がイリノイ州のミックス工場を改修し、能力アップ。

ベーカリー用ミックスなどを製造、販売するContinental製粉は、Harlan製パンからイリノイ州Effinghamのミックス工場を2013年12月に買収した。約半年かけた大幅改修と能力アップが7月15日に完成した。同社はワシントン、ケンタッキー、カンザスの各州にも工場を持つ。

(MBN・93-11/14)

(8) ADM社の新グローバル本社が業務開始。

8月25日、Archer Daniels Midland社はグローバル本社をシカゴ・ダウントウンのビル(2フロア)にオープンした。顧客センターを併設し、

約70人が業務にあたる。北米本社はイリノイ州Decaturのまま。

(World-Grain.com・8/26/14)

(9) スター・オブ・ザ・ウエスト製粉がオハイオ州に軟質小麦製粉工場を建設。

Star of the West製粉(本社はミシガン州Frankenmuth、小麦粉日産能力1,157トン)はオハイオ州Willardに日産能力454トンの軟質小麦製粉工場を建設する。完成は2016年秋の予定。インディアナ州Ligonier、ミシガン州FrankenmuthとQuincy、ニューヨーク州Churchville、オハイオ州Kentにも製粉工場を持ち、それら設備の見直しも行い、全社で272トンの能力増になる見込み。

(World-Grain.com・8/26/14)



インド (1) 備蓄小麦を1,000万トン市場に放出。

政府はインド食料公社が小麦1,000万トンを国内市場に放出することを認めた。供給量と価格適正化が主目的だが、4,000万トンある在庫調整も狙う。

(World-Grain.com・7/24/14)

(2) 国家食料安全法の実施を3か月延期。

小麦と米の補助金対策を含む国家食料安全法は2013年7月5日に施行され、各州政府は2014年7月4日までの実行を義務付けられたが、期限を3か月延期した。

(IGC-GMR・446/14)

(3) スリーヴェヌゴバル製粉が最新鋭設備で能力拡張。

Sree Venugopal製粉は1928年に南部バンガロールで発足。セモリナを専門にし、1953年の

生産能力は70トン/日だった。2002年にビューラー社に委託してバンガロール郊外ホワイトフィールドに150トン/日のパン用粉工場を建設して総能力が220トン/日になり、2013年に再びビューラー社の最新鋭機械とコンピューターシステムを導入した300トン/日のパン用粉ラインを完成して520トン/日になった。健康志向で人気再燃中のアタ(小麦全粒粉)市場への参入、特注粉の製造なども計画。

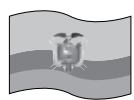
(diagram・167/14)



**ウクライナ 製粉協会が製粉用品質小麦輸出の一時中止を大統領に要請。**

8月14日、製粉協会は大統領に製粉用品質小麦輸出の一時中止を要請する書簡を送った。製粉用品質小麦の消費量は約500万トンだが、在庫は330~450万トンしかない。東部の戦乱で全国平均収量の約15%低下も予測される。

(World-Grain.com・8/19、8/20/14)



**エクアドル ビンボグループが最大の製パン会社を買収。**

Grupo Bimbo社(メキシコ)7月15日発表によると、Supan社買収が合意に達した。年間売上高5,700万米ドルで、パン、バンズ、菓子パンなど74種類の製品を35,000の販売店を通して24県に販売。中南米での販売網強化戦略の一環。

(World-Grain.com・7/16/14)



**エジプト (1) 輸入小麦水分上限を一時的に13.5%に引上げ。**

政府6月4日発表によると、輸入小麦水分の上限値を9か月間これまでの13.0%から13.5%に引上げる。

(IGC-GMR・445/14)

**(2) パン補助金制度改革で小麦輸入量減か。**

7月17日の供給大臣によると、パン補助金制度改革と備蓄システム改善で小麦輸入30%減(時期を示さず)を期す。電子スマートカード使用とポイント制度が改革の柱で、補助金付きパンを必要量だけ買うようになるという。4月に5州で導入し、10月までに全国に広める予定。

(IGC-GMR・446/14)

**(3) オーストラリアのGrainCorp社がファイブスター製粉の株の10%を取得。**

GrainCorp社7月10日発表では、Five Star製粉の株の10%を1,000万オーストラリアドルで取得し、取締役1名の任命権を得た。ファイブスター製粉は1995年創業の日産能力1,250トン(3ライン)の最大の製粉会社で、スエズのAdabiyaの専用港にはPanamax[パナマ運河航行時最大積載重量(6.9万トン)]サイズの船から600トン/時の荷揚げ可能設備と12.5万トンの貯蔵設備を持つ。

(MBN・93-12/14)



**オーストラリア (1) 小麦粉生産量は増加傾向。製粉は大手3社が中心。**

オーストラリア製粉技術者協会によると、工場の大形化、小麦粉輸出減で、工場数は28に減り、省人化が進んだ。人口増と家庭での粉製品需要の伸びで食用小麦粉は年に約150万トン生産され、輸出を含む全生産量はこの10年で26%増の約210万トン。Allied製粉、Weston製粉、Manildra社が大手で、Weston製粉はAssociated British Foods社傘下のGeorge Weston Foods社の1部門。Manildra社の1工場は世界10大製粉

工場の1つだという。

(WG・32-1/14)

### (2) アライド製粉は業容を拡大し続けた。

2002年創業のAllied製粉は製粉工場7(年間製造能力は100万トン)、ミックス工場4、食品製造工場4を国内とニュージーランドに持ち、粉、特殊粉、特殊穀物、ケーキ、パン、ピザ、パン用材料、食品材料を60種類以上製造、販売。バラ輸送のほか、2.5~25キログラムに包装する。2009年にPicton工場を近代化改修した。2013年には、2年前に洪水に遭ったクインズランド州Tennyson工場の増設と改修が終わり、冷凍パン製造設備4つとGrain Products Australia社的小麦グルテン・でん粉製造工場を買収した。

(WG・32-1/14)

### (3) ブンゲ社がジロングに穀物輸出ターミナルを建設。

Bunge社の現地法人Bunge Australia社はビクトリア州Geelong港に穀物輸出ターミナルを建設する。年間約45万トンの穀物を輸出できる最新鋭の設備にするという。

(World-Grain.com・8/20/14)



### カナダ (1) 2014年の小麦生産量は前年比26%減。

8月21日カナダ統計局予測による2014年小麦生産量は前年比26%減の2,770万トン。6月の多雨での収穫可能面積減と単収減(前年比17.6%減の2.96トン/ヘクタール)による。サスカチュワン州は27%、アルバータ州は22%、マニトバ州は35%減で、春小麦は27%減の2,724万トン、冬小麦は27%減の278万トン、デュラム小麦は24%減の495万トンである。

(World-Grain.com・8/21/14)

### (2) 製粉製品の輸出が活発。製粉業界の関心事は小麦自由化と食品衛生の規制強化。

約55の小麦とエンバクの製粉工場が8州にあり、小麦製粉工場は人口が多い東部に多く、エンバク製粉工場は平原3州に多い。年に小麦、エンバク、大麦を350万トン強挽砕する。小麦粉、セモリナ、他の製粉製品を30か国以上に輸出するが、北米自由貿易協定によりアメリカとメキシコへの輸出が多い。製粉工場への投資が盛んで、工場の20%は15年以内に建設された。製粉協会の課題と当面の関心事は小麦産業の自由化と食品安全の取締と規制強化である。

(WG・32-7/14)



### キルギス 関税同盟国以外からの小麦粉輸入関税を15%に引上げか。

8月20日、農業省高官が中国など関税同盟国以外からの小麦粉輸入関税の15%引上げを示唆した。国内製粉業者保護が目的。

(World-Grain.com・8/21/14)



### シガポール オラム・インターナショナル社がサンヨー食品との提携を拡大。

8月18日、Olam International社とサンヨー食品は提携を拡大し、サンヨー食品が1.875億米ドルでオラム社包装食品ビジネスの株の25%を持つと発表。2015年前半に完了見込み。現在のオラム社即席めんビジネスへのサンヨー食品の投資額(株の25.5%、2,000万米ドル)は新提携ビジネスへ移行。包装食品ビジネスはトマトペースト、調味料、ビスケット、キャンディ、ジュース、乳飲料、粉乳、コーヒーミックス、即席めん9分野で、ナイジェリア、ガーナ、マリ、ブルキナファソ、ベニン、トーゴ、南アフリカ

で販売、2013年の売上高は3.5億米ドルで、今後の飛躍を見込む。

(World-Grain.com・8/18/14)



### ジンバブエ 政府の穀物最低価格設定を製粉協会が告訴。

政府が8月8日に穀物と大豆の最低購入価格を設定したことに対し、製粉協会と油糧種子業協会は共同で裁判所に提訴。4月にさかのぼって実施される本制度は既存契約を無効にし、憲法違反だという。穀物を買う会社と個人は1,000米ドルの支払と登録を義務付けられ、小規模畜産農家は廃業を余儀なくされる。最低価格が高いため契約栽培が成立しないと生産量が需要量を下回り、飢饉を引き起こすという。

(World-Grain.com・8/20/14)



### ドイツ (1) エンマー小麦は低収量。

Hohenheim大学(シュトゥットガルト)によると、普通小麦のヘクタール当たり平均収量は従来農法で5.3トン、有機栽培で4.6トン、スペルト小麦のそれらは6.1トンと4.6トンだが、エンマー小麦(42品種)は4.7トンと3.8トンで低く、収量増への品種改良が行われている。

(MM・151-13/14)

### (2) 穀物挽砕量は増えたが製粉工場は減少。

2012/13年度製粉工場(年間挽砕量500トン以上)数は前年度比34減の218で、旧西ドイツに189(23減)ある([表10])。パン用穀物挽砕量は803万トン(2.9%増)で、普通小麦は3.8%増の723万トン、ライ麦は4.6%減の81万トン、輸出用穀物挽砕量は17.7%増の73万トン、デュラム小麦挽砕量は2.4%増の42万トンである。

(MM・151-14/14)

### (3) 多種類のベーカリー製品を食べ、健康志向が強い。

消費者は多種類のベーカリー及びシリアル製品を食べる。ベーカリー市場の49.8%はパンとロールで、白パン、ロール、ミニパンの種類が多い。健康志向が強く、女性は体重管理と脳の発達や消化などを重視したライフスタイルに合う製品を買う傾向があり、健常者の一部もグルテン、乳糖、卵、牛乳などを除いた製品を買う。これら特殊製品は2013年のベーカリーとシリアル全売上高170億米ドル中30億米ドルにも達した。

(EB・134/14)



### フィリピン (1) CBH社がInterflour社の新製粉工場を建設し、オーストラリアから年に12

万トンの小麦輸出か。

CBH社(パース)はInterflour社の株の50%を持つが、インドネシアの富豪と組んでSubic湾自由貿易地区に小麦粉週産3,500トンの工場を3,000万ドルで建設し、2016年前半に製造を開始する。ASEAN貿易協定により非関税で年に約12万トンの西オーストラリア小麦の輸出を予定している。9,800万人が年に1人平均24キログラムの小麦粉を食べ、生活レベル向上に伴い消費量が増えている。Interflour社は1.5億米ドルでSubic湾、マレーシアのジョホールバル近郊、タイのバンコク近郊の3か所に製粉工場を建設する。東南アジアに6工場、ベトナムのホーチミン市の港にターミナルと貯蔵設備を持つので、世界10大製粉会社の仲間入りになる。

(World-Grain.com・7/3/14)

### (2) San Miguel製粉が製粉能力を倍増。

7月22日San Miguel Pure Foods社発表では、

傘下のSan Miguel製粉の1日当たり製粉能力を1,800トン増やし、全能力を倍増する。Batangas工場を拡張し、新たに2工場を建設する。投資額は7,000~9,250万米ドルで、ヨーロッパの数社から提携の申入れがある。最新鋭製造設備で市場ニーズに応じた小麦粉製造が可能になり、小麦粉や加工品の価格安定に貢献できるという。

(World-Grain.com・7/23/14)



**ブラジル** 非メルコスール国からの小麦輸入を100万トンまで非関税に。

8月15日まで非メルコスール国からの小麦輸入を100万トンまで非関税にする。

(IGC-GMR・445/14)



**ベルギー** スーパーマーケット中心のパン市場だが、パン消費は伸び悩み。

手づくりベーカリーとプライベートラベルが市場の85%以上を支配する。インスタアベーカリーが無包装のパンとケーキの売上げを牽引し、ベーカリー上位3社はスーパーマーケットチェーンである。不景気で、市場は飽和状態にある。2013年の売上高は1.5%増の30億ユーロだったが、伸びは原料高による値上げによるもので、今後数年も販売量、売上高共に変化がないと見られる。Colruytが最も信頼されるスーパーマーケットで、Delhaize、Carrefour Belgium(フランスに本社)と共に、ブランド品シェアを徐々に浸食している。家庭の朝食のパンや下校後のスナックはお粗末になり、有名なシリアルブランドが砂糖と油脂を多く含むということで販売量、売上高共に減少した。伝統的オープンサンドイッチのtartineは昼食によく食べられ、パンとケーキは最も人気があるティータ

イムのスナックである。週末には加熱調理したランチを食べる人が多く、夕食はパン中心の軽い食事をする。ケーキ業界はMondelez BakeryとLotus Bakeryが強いブランドを持ち、後者はケーキとワッフルのリーダーである。子供の肥満が問題になり、ケーキとビスケットには逆風だったのでLotus Bakeryにとっては厳しかったが、影響は国内だけで、国外(売上高の2/3以上)では販売を伸ばした。国内に5工場、他のEUとカナダに計3工場を持ち、10か国に販売拠点がある。同社はベルギーワッフルの最大手Interwaffles社を傘下に持つ。ワッフルはスナックの中心で、ブリュッセルでは、軽く軟らかい、細かい砂糖をトッピングしたものが、東部のフランス語圏リエージュではケーキに近いものを食べる。

(EB・22-134/14)



**モロッコ** 小麦の輸入関税を下げ。

政府は9月1日から小麦の輸入関税を現在の45%から17.5%にする。

(IGC-GMR・446/14)



**ヨーロッパ連合** (1)EU政策に左右される製粉業の将来。

約3,800の製粉会社が年に約3,500万トンの小麦粉を製造する。平均稼働率は約65%で、アメリカより低い。小麦生産、小麦や小麦粉の輸出入にEUが関与し、小麦粉輸出に補助金を出すなどの政策を行ったこともあり、能力過剰状態が続く。経済も活気がなく、デフレの心配もあり、EU政策に製粉業界の将来がかかる。

(World-Grain.com・7/2/14)

(2) 異常気象が長期的に小麦収量に影響。

Rothamsted Researchを含む国際的研究者グループはEUで小麦栽培中に1回以上異常気象に見舞われる確率が増しているという。晩生は熱と早魃ストレスの両方を受ける確率が高く、早

生への切替えが必要である。対策は地域ごとに行うべきで、熱ストレス耐性品種開発や灌漑が有効な手段だが、正確なモデル予測確立が必要である。

(World-Grain.com・6/10/14)

[表1] 世界及び主要小麦輸出国の小麦需給

(百万トン)

|                 | 期初<br>在庫 | 生産    | 輸入<br>b) | 供給計   | 消費    |      |      |       | 輸出<br>b) | 期末<br>在庫 |
|-----------------|----------|-------|----------|-------|-------|------|------|-------|----------|----------|
|                 |          |       |          |       | 食用    | 工業用  | 飼料用  | 計 a)  |          |          |
| アルゼンチン(12月/11月) |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 0.7      | 8.0   | 0.0      | 8.7   | 4.1   | 0.1  | 0.3  | 4.9   | 3.7      | 0.2      |
| 2013/14 予測      | 0.2      | 9.2   | 0.0      | 9.4   | 4.5   | 0.1  | 0.4  | 5.5   | 1.8      | 2.1      |
| 2014/15 予想      | 2.1      | 12.0  | 0.0      | 14.1  | 4.5   | 0.1  | 0.4  | 5.5   | 7.5      | 1.1      |
| オーストラリア(10月/9月) |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 7.3      | 22.5  | 0.0      | 29.7  | 2.0   | 0.5  | 3.6  | 6.8   | 18.7     | 4.3      |
| 2013/14 予測      | 4.3      | 27.0  | 0.0      | 31.3  | 1.9   | 0.5  | 4.0  | 7.1   | 19.3     | 5.0      |
| 2014/15 予想      | 5.0      | 26.5  | 0.0      | 31.5  | 1.9   | 0.5  | 4.0  | 7.1   | 19.2     | 5.3      |
| カナダ(8月/7月)      |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 5.9      | 27.2  | 0.1      | 33.2  | 2.8   | 0.8  | 4.2  | 8.7   | 19.4     | 5.1      |
| 2013/14 予測      | 5.1      | 37.5  | 0.1      | 42.7  | 2.9   | 0.8  | 4.6  | 9.3   | 22.5     | 10.9     |
| 2014/15 予想      | 10.9     | 28.0  | 0.1      | 39.0  | 2.8   | 0.8  | 4.5  | 9.0   | 22.5     | 7.5      |
| EU(7月/6月)       |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 10.9     | 131.6 | 5.3      | 147.8 | 54.4  | 9.4  | 45.8 | 115.7 | 23.5     | 8.6      |
| 2013/14 予測      | 8.9      | 143.1 | 4.2      | 156.2 | 54.2  | 9.7  | 44.0 | 114.4 | 32.8     | 9.0      |
| 2014/15 予想      | 9.0      | 150.8 | 5.0      | 164.8 | 54.5  | 10.3 | 52.8 | 125.1 | 26.7     | 13.0     |
| カザフスタン7(7月/6月)  |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 6.0      | 9.8   | 0.0      | 15.8  | 2.3   | 0.0  | 1.8  | 6.5   | 7.2      | 2.1      |
| 2013/14 予測      | 2.1      | 13.9  | 0.0      | 16.1  | 2.2   | 0.0  | 1.7  | 6.0   | 8.4      | 1.6      |
| 2014/15 予想      | 1.6      | 14.0  | 0.0      | 15.6  | 2.3   | 0.0  | 2.0  | 6.9   | 6.7      | 2.1      |
| ロシア(7月/6月)      |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 11.0     | 37.7  | 1.4      | 50.1  | 16.0  | 0.2  | 11.7 | 33.4  | 11.2     | 5.5      |
| 2013/14 予測      | 5.5      | 52.1  | 1.0      | 58.5  | 16.5  | 0.2  | 12.0 | 34.2  | 19.5     | 4.9      |
| 2014/15 予想      | 4.9      | 60.0  | 0.5      | 65.4  | 16.5  | 0.2  | 13.5 | 35.8  | 22.0     | 7.5      |
| ウクライナ(7月/6月)    |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 5.7      | 15.8  | 0.0      | 21.4  | 5.8   | 0.2  | 3.5  | 11.4  | 7.1      | 3.0      |
| 2013/14 予測      | 3.0      | 22.3  | 0.0      | 25.3  | 5.8   | 0.2  | 3.5  | 11.9  | 9.6      | 3.9      |
| 2014/15 予想      | 3.9      | 21.5  | 0.0      | 25.4  | 5.8   | 0.2  | 3.8  | 12.1  | 9.1      | 4.2      |
| アメリカ(6月/5月)     |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 20.2     | 61.8  | 3.3      | 85.3  | 25.0  | 0.7  | 10.6 | 38.3  | 27.4     | 19.5     |
| 2013/14 予測      | 19.5     | 58.0  | 4.6      | 82.1  | 25.5  | 0.6  | 5.9  | 33.9  | 32.2     | 16.1     |
| 2014/15 予想      | 16.1     | 55.0  | 4.4      | 75.5  | 25.5  | 0.6  | 4.2  | 32.3  | 24.8     | 18.4     |
| 主要輸出国計          |          |       |          |       |       |      |      |       |          |          |
| 2012/13 推定      | 67.7     | 314.3 | 10.2     | 392.2 | 112.3 | 11.7 | 81.4 | 225.6 | 118.2    | 48.3     |
| 2013/14 予測      | 48.6     | 363.1 | 9.9      | 421.6 | 113.4 | 11.9 | 76.1 | 222.1 | 146.1    | 53.4     |
| 2014/15 予想      | 53.4     | 367.8 | 10.0     | 431.2 | 113.9 | 12.5 | 85.2 | 233.8 | 138.5    | 58.9     |



|            | 期初<br>在庫 | 生産    | 輸入<br>b) | 供給計   | 消費    |      |       |       | 輸出<br>b) | 期末<br>在庫 |
|------------|----------|-------|----------|-------|-------|------|-------|-------|----------|----------|
|            |          |       |          |       | 食用    | 工業用  | 飼料用   | 計 a)  |          |          |
| 中国(7月/6月)  |          |       |          |       |       |      |       |       |          |          |
| 2012/13 推定 | 52.1     | 120.6 | 3.3      | 175.9 | 87.5  | 3.2  | 23.0  | 122.0 | 0.4      | 53.5     |
| 2013/14 予測 | 53.5     | 121.9 | 6.8      | 182.2 | 88.5  | 3.2  | 23.0  | 123.9 | 0.3      | 58.0     |
| 2014/15 予想 | 58.0     | 125.0 | 3.0      | 186.0 | 87.5  | 3.2  | 22.5  | 122.4 | 0.5      | 63.0     |
| インド(4月/3月) |          |       |          |       |       |      |       |       |          |          |
| 2012/13 推定 | 20.9     | 94.9  | 0.1      | 115.8 | 74.0  | 0.2  | 3.4   | 84.0  | 6.7      | 25.2     |
| 2013/14 予測 | 25.2     | 93.5  | 0.0      | 118.8 | 77.3  | 0.2  | 6.0   | 92.5  | 6.0      | 20.3     |
| 2014/15 予想 | 20.3     | 95.9  | 0.0      | 116.1 | 80.5  | 0.2  | 6.0   | 94.4  | 2.0      | 19.7     |
| 世界計        |          |       |          |       |       |      |       |       |          |          |
| 2012/13 推定 | 192.1    | 654.7 | 140.5    | 846.8 | 467.1 | 18.4 | 132.9 | 676.5 | 140.5    | 170.4    |
| 2013/14 予測 | 170.4    | 712.5 | 155.8    | 882.9 | 475.7 | 18.6 | 131.2 | 695.4 | 155.8    | 187.5    |
| 2014/15 予想 | 187.5    | 713.4 | 145.8    | 901.0 | 480.8 | 19.2 | 138.7 | 706.4 | 145.8    | 194.5    |

a) 種子用および廃棄分を含む、 b) 製粉製品の推定輸出入量を含む、 c) IGC7月/6月データ：製粉製品の貿易を含まない。

(EUと主要輸出国計の2012/13年度の期末在庫と2013/14年度の期初在庫の数値が合わないがそのままにした)

(2014年8月29日現在)

(IGC)

[表2] 世界の小麦生産量

(百万トン)

| 地区・国名 |        | 11/12 | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |
|-------|--------|-------|-----------|-----------|-----------|
| ヨーロッパ | ブルガリア  | 4.3   | 4.3       | 5.2       | 4.8       |
|       | チェコ    | 5.0   | 3.6       | 4.6       | 4.7       |
|       | デンマーク  | 4.8   | 4.6       | 4.1       | 5.1       |
|       | フランス   | 36.1  | 37.9      | 38.5      | 39.1      |
|       | ドイツ    | 23.0  | 22.4      | 24.9      | 26.3      |
|       | ハンガリー  | 4.1   | 3.9       | 5.1       | 5.0       |
|       | ギリシャ   | 1.3   | 0.9       | 1.4       | 1.2       |
|       | イタリア   | 6.8   | 7.7       | 7.2       | 7.0       |
|       | ポーランド  | 9.3   | 8.7       | 9.6       | 10.3      |
|       | ルーマニア  | 6.7   | 5.2       | 7.2       | 7.8       |
|       | スロバキア  | 1.5   | 1.3       | 1.7       | 1.6       |
|       | スペイン   | 6.8   | 5.1       | 7.7       | 6.4       |
|       | スウェーデン | 2.3   | 2.3       | 1.9       | 2.8       |
|       | イギリス   | 15.3  | 13.3      | 11.9      | 16.3      |
|       | その他    | 10.1  | 10.5      | 12.0      | 12.5      |
|       | 計      | 137.4 | 131.6     | 143.1     | 150.8     |
|       | セルビア   | 2.0   | 1.9       | 2.9       | 2.2       |
|       | その他    | 2.5   | 2.5       | 1.6       | 1.8       |
|       | 計      | 141.8 | 136.0     | 147.6     | 154.7     |
| CIS   | カザフスタン | 22.7  | 9.8       | 13.9      | 14.0      |
|       | ロシア    | 56.2  | 37.7      | 52.1      | 60.0      |
|       | ウクライナ  | 22.3  | 15.8      | 22.3      | 21.5      |
|       | その他    | 13.7  | 13.9      | 15.1      | 14.1      |
|       | 計      | 115.0 | 77.2      | 103.4     | 109.6     |

| 地区・国名                   |                       | 11/12   | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |       |
|-------------------------|-----------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 北・中<br>ア<br>メ<br>リ<br>カ | カナダ                   | 25.3    | 27.2      | 37.5      | 28.0      |       |
|                         | メキシコ                  | 3.7     | 3.2       | 3.4       | 3.7       |       |
|                         | アメリカ                  | 54.4    | 61.8      | 58.0      | 55.0      |       |
|                         | その他                   | T       | T         | —         | T         |       |
|                         | 計                     | 83.4    | 92.2      | 98.9      | 86.7      |       |
| 南<br>ア<br>メ<br>リ<br>カ   | アルゼンチン                | 14.5    | 8.0       | 9.2       | 12.0      |       |
|                         | ブラジル                  | 5.8     | 4.4       | 5.5       | 6.6       |       |
|                         | チリー                   | 1.3     | 1.3       | 1.4       | 1.3       |       |
|                         | ウルグアイ                 | 1.6     | 1.6       | 1.7       | 1.6       |       |
|                         | その他                   | 1.6     | 1.7       | 1.4       | 1.5       |       |
|                         | 計                     | 24.8    | 16.9      | 19.2      | 23.0      |       |
| 近<br>東<br>ア<br>ジ<br>ア   | イラン                   | 13.5    | 14.0      | 14.5      | 13.0      |       |
|                         | イラク                   | 2.6     | 2.1       | 3.3       | 3.0       |       |
|                         | サウジアラビア               | 1.2     | 0.8       | 0.6       | 0.7       |       |
|                         | シリア                   | 3.9     | 3.7       | 4.0       | 2.1       |       |
|                         | トルコ                   | 18.8    | 17.5      | 18.0      | 15.5      |       |
|                         | その他                   | 0.4     | 0.5       | 0.5       | 0.5       |       |
|                         | 計                     | 40.3    | 38.6      | 40.9      | 34.8      |       |
| 極<br>東<br>ア<br>ジ<br>ア   | ア<br>ジ<br>ア<br>洋      | 中国      | 117.4     | 120.6     | 121.9     | 125.0 |
|                         |                       | その他     | 1.6       | 1.6       | 1.5       | 1.4   |
|                         |                       | 計       | 119.0     | 122.2     | 123.4     | 126.4 |
|                         | 南<br>ア<br>ジ<br>ア      | アフガニスタン | 3.0       | 4.2       | 4.5       | 3.9   |
|                         |                       | インド     | 86.9      | 94.9      | 93.5      | 95.9  |
|                         |                       | パキスタン   | 24.2      | 23.3      | 24.0      | 24.5  |
|                         |                       | その他     | 2.5       | 2.9       | 3.1       | 2.6   |
| 計                       | 116.6                 | 125.2   | 125.1     | 126.9     |           |       |
| 計                       | 235.6                 | 247.5   | 248.5     | 253.3     |           |       |
| ア<br>フ<br>リ<br>カ        | 北<br>ア<br>フ<br>リ<br>カ | アルジェリア  | 2.8       | 3.4       | 3.3       | 3.0   |
|                         |                       | エジプト    | 8.4       | 8.5       | 8.7       | 9.2   |
|                         |                       | リビア     | 0.1       | 0.1       | 0.2       | 0.1   |
|                         |                       | モロッコ    | 5.8       | 3.9       | 7.0       | 5.8   |
|                         |                       | チュニジア   | 1.3       | 1.4       | 1.0       | 1.6   |
|                         |                       | 計       | 18.4      | 17.2      | 20.1      | 19.7  |
|                         | サ<br>ハ<br>ラ<br>以<br>南 | エチオピア   | 2.9       | 3.2       | 3.3       | 1.8   |
|                         |                       | 南アフリカ   | 2.0       | 1.9       | 2.0       | 1.9   |
|                         |                       | その他     | 1.0       | 1.1       | 1.2       | 1.2   |
|                         |                       | 計       | 5.9       | 6.2       | 6.5       | 4.8   |
| 計                       | 24.4                  | 23.4    | 26.6      | 24.6      |           |       |
| オ<br>セ<br>ア<br>ニ<br>ア   | オーストラリア               | 29.9    | 22.5      | 27.0      | 26.5      |       |
|                         | 計                     | 30.1    | 22.9      | 27.5      | 26.8      |       |
| 世 界 計                   |                       | 695.4   | 654.7     | 712.5     | 713.4     |       |

(2014年8月29日現在) Tは5万トン以下

(IGC)



[表3] 世界の小麦貿易量

(百万トン)

| 輸 入 国       |          | 11/12 | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |
|-------------|----------|-------|-----------|-----------|-----------|
| ヨーロッパ       | アルバニア    | 0.3   | 0.2       | 0.2       | 0.3       |
|             | EU*      | 7.2   | 5.3       | 4.2       | 5.0       |
|             | ノルウェー    | 0.4   | 0.4       | 0.4       | 0.4       |
|             | スイス      | 0.3   | 0.4       | 0.5       | 0.4       |
|             | その他      | 0.5   | 0.4       | 0.4       | 0.4       |
|             | 計        | 8.7   | 6.6       | 5.8       | 6.4       |
| CIS         | アゼルバイジャン | 1.4   | 1.3       | 1.4       | 1.4       |
|             | グルジア     | 0.8   | 0.7       | 0.8       | 0.8       |
|             | ロシア      | 0.4   | 1.4       | 1.0       | 0.5       |
|             | タジキスタン   | 1.2   | 1.1       | 1.0       | 1.1       |
|             | ウズベキスタン  | 2.7   | 1.9       | 2.2       | 1.9       |
|             | その他      | 1.3   | 1.0       | 1.0       | 1.0       |
| 計           | 7.9      | 7.3   | 7.4       | 6.6       |           |
| 北・中<br>アメリカ | キューバ     | 0.8   | 0.9       | 0.8       | 0.9       |
|             | メキシコ     | 5.0   | 3.8       | 4.6       | 3.7       |
|             | アメリカ     | 2.5   | 3.0       | 4.2       | 3.8       |
|             | その他      | 3.3   | 3.0       | 3.5       | 3.0       |
|             | 計        | 11.7  | 10.6      | 13.2      | 11.4      |
| 南アメリカ       | ボリビア     | 0.3   | 0.2       | 0.2       | 0.3       |
|             | ブラジル     | 6.8   | 7.7       | 6.9       | 6.2       |
|             | チリ       | 1.0   | 0.9       | 0.9       | 1.1       |
|             | コロンビア    | 1.5   | 1.5       | 1.7       | 1.4       |
|             | エクワドル    | 0.5   | 0.6       | 0.6       | 0.6       |
|             | ペルー      | 1.7   | 1.7       | 2.1       | 1.7       |
|             | ベネズエラ    | 1.7   | 1.6       | 1.7       | 1.6       |
|             | その他      | 0.1   | 0.1       | 0.2       | 0.1       |
|             | 計        | 13.6  | 14.3      | 14.3      | 12.8      |
| 近東アジア       | イラン      | 2.5   | 5.4       | 6.5       | 5.0       |
|             | イラク      | 3.9   | 3.9       | 3.1       | 3.4       |
|             | イスラエル    | 1.9   | 1.4       | 1.6       | 1.7       |
|             | ヨルダン     | 0.7   | 0.8       | 0.9       | 1.0       |
|             | クウェート    | 0.4   | 0.4       | 0.5       | 0.4       |
|             | レバノン     | 0.5   | 0.5       | 0.6       | 0.5       |
|             | サウジアラビア  | 2.9   | 2.1       | 3.5       | 3.5       |
|             | シリア      | 0.7   | 0.9       | 1.7       | 2.3       |
|             | トルコ      | 4.3   | 3.3       | 3.9       | 5.1       |
|             | UAE      | 2.2   | 1.6       | 1.6       | 1.5       |
|             | イエメン     | 2.6   | 3.2       | 3.3       | 3.1       |
|             | その他      | 0.6   | 0.7       | 0.9       | 0.5       |
|             | 計        | 23.1  | 24.2      | 28.1      | 27.8      |

| 輸 入 国                 |                            |          | 11/12 | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |
|-----------------------|----------------------------|----------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 極<br>東<br>ア<br>ジ<br>ア | 太<br>平<br>洋<br>ア<br>ジ<br>ア | 中国       | 3.0   | 3.3       | 6.9       | 3.0       |
|                       |                            | インドネシア   | 6.5   | 7.2       | 7.4       | 7.5       |
|                       |                            | 日本       | 5.8   | 6.3       | 6.1       | 5.9       |
|                       |                            | 北朝鮮      | 0.3   | 0.3       | 0.2       | 0.3       |
|                       |                            | 韓国       | 5.1   | 5.2       | 4.3       | 4.3       |
|                       |                            | マレーシア    | 1.4   | 1.3       | 1.5       | 1.5       |
|                       |                            | フィリピン    | 4.0   | 3.6       | 3.5       | 3.5       |
|                       |                            | シンガポール   | 0.4   | 0.3       | 0.3       | 0.3       |
|                       |                            | 台湾       | 1.4   | 1.4       | 1.3       | 1.4       |
|                       |                            | タイ       | 2.6   | 1.7       | 1.6       | 1.9       |
|                       |                            | ベトナム     | 2.7   | 1.6       | 2.1       | 1.9       |
|                       | その他                        | 0.7      | 0.7   | 0.8       | 0.7       |           |
|                       | 計                          | 33.7     | 33.0  | 35.8      | 32.2      |           |
|                       | 南<br>ア<br>ジ<br>ア           | バングラデシュ  | 1.9   | 2.7       | 3.3       | 3.0       |
|                       |                            | インド      | T     | 0.1       | T         | T         |
|                       |                            | パキスタン    | 0.1   | T         | 0.4       | 0.7       |
|                       |                            | スリランカ    | 1.0   | 0.7       | 0.9       | 1.0       |
|                       |                            | その他      | 1.6   | 1.6       | 1.7       | 1.9       |
|                       |                            | 計        | 4.5   | 5.1       | 6.3       | 6.5       |
| 計                     |                            |          | 38.2  | 38.0      | 42.1      | 38.7      |
| ア<br>フ<br>リ<br>カ      | 北<br>ア<br>フ<br>リ<br>カ      | アルジェリア   | 6.3   | 6.4       | 7.5       | 6.3       |
|                       |                            | エジプト     | 11.6  | 8.2       | 10.0      | 9.9       |
|                       |                            | リビア      | 1.6   | 2.1       | 2.1       | 2.1       |
|                       |                            | モロッコ     | 2.9   | 3.9       | 4.0       | 3.0       |
|                       |                            | チュニジア    | 1.4   | 1.6       | 1.7       | 1.4       |
|                       |                            | 計        | 23.8  | 22.2      | 25.3      | 22.6      |
|                       | サ<br>ハ<br>ラ<br>以<br>南      | コートジボワール | 0.5   | 0.6       | 0.5       | 0.5       |
|                       |                            | エチオピア    | 1.4   | 0.7       | 1.0       | 1.6       |
|                       |                            | ケニア      | 1.3   | 1.1       | 1.4       | 1.4       |
|                       |                            | ナイジェリア   | 3.9   | 4.2       | 4.5       | 4.6       |
|                       |                            | 南アフリカ    | 1.6   | 1.4       | 1.8       | 1.8       |
|                       |                            | スーダン     | 2.4   | 1.8       | 2.5       | 2.3       |
|                       |                            | その他      | 7.2   | 8.1       | 8.0       | 7.6       |
|                       |                            | 計        | 18.2  | 17.8      | 19.6      | 19.9      |
| 計                     |                            |          | 42.1  | 40.0      | 44.9      | 42.5      |
| オセアニア                 | ニュージーランド                   | 0.5      | 0.4   | 0.5       | 0.5       |           |
|                       | その他                        | 0.4      | 0.5   | 0.5       | 0.4       |           |
|                       | 計                          | 1.0      | 0.9   | 1.0       | 0.9       |           |
| 世 界 計                 |                            |          | 145.2 | 140.5     | 155.8     | 145.8     |

注：年度は7月～6月、Tは5万トン以下 \*2012/13年度までEU-27、2013/14年度からEU-28  
(2014年8月29日現在)

(百万トン)

| 輸出国     | 11/12 | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |
|---------|-------|-----------|-----------|-----------|
| アルゼンチン  | 11.3  | 7.1       | 1.3       | 6.5       |
| オーストラリア | 23.1  | 21.3      | 18.4      | 19.0      |
| カナダ     | 18.2  | 18.7      | 22.7      | 22.0      |
| EU*     | 15.6  | 21.7      | 30.4      | 25.5      |
| カザフスタン  | 11.1  | 7.2       | 8.4       | 6.7       |
| ロシア     | 21.6  | 11.2      | 19.5      | 22.0      |
| ウクライナ   | 5.4   | 7.1       | 9.6       | 9.1       |
| アメリカ    | 27.9  | 27.5      | 31.4      | 24.4      |
| ブラジル    | 1.7   | 1.7       | 0.1       | 1.1       |
| 中国      | 0.4   | 0.4       | 0.3       | 0.5       |
| インド     | 1.7   | 8.6       | 5.2       | 2.0       |
| パキスタン   | 0.5   | 1.1       | 0.4       | 0.6       |
| メキシコ    | 1.0   | 0.9       | 1.4       | 1.1       |
| トルコ     | 3.1   | 2.8       | 3.4       | 2.7       |
| その他     | 2.7   | 3.1       | 2.8       | 3.0       |
| 世界計     | 145.2 | 140.5     | 155.8     | 145.8     |

注：年度は7月～6月、Tは5万トン以下 \*2012/13年度までEU-27、2013/14年度からEU-28  
(2014年8月29日現在)

(IGC)

[表4] 世界の小麦粉貿易量(デュラム・セモリナを除く)

(小麦換算、千トン)

| 地区・国名       |             | 11/12   | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |       |
|-------------|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 輸<br>入<br>国 | ヨーロッパ       | EU      | 2         | 42        | 53        | 40    |
|             |             | その他     | 68        | 48        | 67        | 50    |
|             |             | 計       | 70        | 90        | 100       | 90    |
|             | CIS         | タジキスタン  | 539       | 373       | 450       | 500   |
|             |             | ウズベキスタン | 1,939     | 1,363     | 1,400     | 1,400 |
|             |             | その他     | 482       | 494       | 450       | 450   |
|             |             | 計       | 2,960     | 2,230     | 2,300     | 2,350 |
|             | 北・中<br>アメリカ | カナダ     | 143       | 144       | 119       | 140   |
|             |             | メキシコ    | 78        | 100       | 115       | 110   |
|             |             | アメリカ    | 222       | 224       | 251       | 230   |
|             |             | その他     | 268       | 222       | 255       | 240   |
|             |             | 計       | 710       | 690       | 740       | 720   |
|             | 南アメリカ       | ボリビア    | 269       | 233       | 140       | 290   |
|             |             | ブラジル    | 903       | 669       | 250       | 700   |
|             |             | その他     | 48        | 48        | 50        | 50    |
|             |             | 計       | 1,220     | 950       | 440       | 1,040 |
|             | 近東<br>アジア   | イラク     | 1,359     | 1,287     | 1,500     | 1,350 |
|             |             | シリア     | 1         | 181       | 500       | 700   |
|             |             | イエメン    | 50        | 62        | 50        | 50    |
| その他         |             | 230     | 249       | 390       | 250       |       |
| 計           |             | 1,640   | 1,780     | 2,440     | 2,350     |       |

| 地区・国名        |           | 11/12                 | 12/13(推定) | 13/14(予測) | 14/15(予想) |       |     |
|--------------|-----------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------|-----|
| 輸            | 極東<br>アジア | アフガニスタン               | 1,264     | 1,169     | 1,335     | 1,300 |     |
|              |           | 香港                    | 356       | 344       | 320       | 350   |     |
|              |           | インドネシア                | 829       | 352       | 300       | 800   |     |
|              |           | 北朝鮮                   | 213       | 253       | 200       | 200   |     |
|              |           | 韓国                    | 54        | 34        | 60        | 60    |     |
|              |           | フィリピン                 | 228       | 282       | 291       | 250   |     |
|              |           | タイ                    | 222       | 166       | 170       | 200   |     |
|              |           | その他                   | 444       | 419       | 564       | 440   |     |
|              | 計         | 3,610                 | 3,020     | 3,240     | 3,600     |       |     |
|              | 入         | 北<br>ア<br>フリ<br>カ     | リビア       | 366       | 313       | 110   | 250 |
| その他          |           |                       | 104       | 107       | 110       | 110   |     |
| 計            |           |                       | 470       | 420       | 220       | 360   |     |
| ア<br>フリ<br>カ |           | サ<br>ハ<br>ラ<br>以<br>南 | アンゴラ      | 735       | 653       | 670   | 670 |
|              |           |                       | チャド       | 95        | 88        | 85    | 90  |
|              |           |                       | ガンビア      | 83        | 84        | 70    | 80  |
|              |           |                       | ギニア       | 163       | 215       | 220   | 200 |
|              |           |                       | ソマリア      | 113       | 146       | 80    | 100 |
|              |           |                       | その他       | 941       | 864       | 955   | 970 |
| 計            |           | 2,130                 | 2,050     | 2,080     | 2,110     |       |     |
| オセアニア        |           | 80                    | 60        | 90        | 60        |       |     |
| 不詳           |           | 1,670                 | 890       | 890       | 590       |       |     |
| 世界計          |           | 14,560                | 12,180    | 12,560    | 13,270    |       |     |
| 輸<br>出<br>国  | アルゼンチン    | 1,239                 | 890       | 254       | 900       |       |     |
|              | オーストラリア   | 74                    | 55        | 50        | 60        |       |     |
|              | カナダ       | 199                   | 170       | 200       | 200       |       |     |
|              | EU        | 1,277                 | 967       | 920       | 1,100     |       |     |
|              | カザフスタン    | 3,652                 | 2,356     | 2,800     | 3,200     |       |     |
|              | ロシア       | 435                   | 133       | 296       | 350       |       |     |
|              | ウクライナ     | 161                   | 278       | 321       | 300       |       |     |
|              | アメリカ      | 332                   | 401       | 308       | 400       |       |     |
|              | 中国        | 391                   | 418       | 316       | 400       |       |     |
|              | インド       | 165                   | 319       | 500       | 420       |       |     |
|              | 日本        | 273                   | 249       | 238       | 250       |       |     |
|              | モロッコ      | 166                   | 237       | 150       | 150       |       |     |
|              | パキスタン     | 300                   | 800       | 400       | 600       |       |     |
|              | スリランカ     | 335                   | 161       | 120       | 200       |       |     |
|              | トルコ       | 3,013                 | 2,567     | 3,353     | 2,700     |       |     |
| アラブ首長国連邦     | 1,200     | 700                   | 550       | 600       |           |       |     |
| その他          | 1,348     | 1,479                 | 1,784     | 1,440     |           |       |     |

(2014年8月29日現在) \*2012/13年度までEU-27、2013/14年度はEU-28

(IGC)

[表5] 小麦全粒粉・小麦粉・ふすまの栄養成分

(100g中)

|                | 小麦全粒粉                   | 小麦粉   | ふすま   |        |
|----------------|-------------------------|-------|-------|--------|
| エネルギー (kcal)   | 340                     | 364   | 216   |        |
| 繊維 (g)         | 10.7                    | 2.7   | 42.8  |        |
| ミネラル           | カルシウム (mg)              | 34    | 15    | 73     |
|                | 鉄 (mg)                  | 3.60  | 1.17  | 10.57  |
|                | マグネシウム (mg)             | 137   | 22    | 611    |
|                | リン (mg)                 | 357   | 108   | 1,013  |
|                | カリウム (mg)               | 363   | 107   | 1,182  |
|                | 亜鉛 (mg)                 | 2.60  | 0.70  | 7.27   |
|                | 銅 (mg)                  | 0.410 | 0.144 | 0.998  |
|                | マンガン (mg)               | 4.067 | 0.682 | 11.500 |
| セレン ( $\mu$ g) | 61.8                    | 33.9  | 77.6  |        |
| ビタミン           | チアミン (mg)               | 0.502 | 0.120 | 0.523  |
|                | リボフラビン (mg)             | 0.165 | 0.040 | 0.577  |
|                | ナイアシン (mg)              | 4.957 | 1.250 | 13.578 |
|                | パントテン酸 (mg)             | 0.603 | 0.438 | 2.181  |
|                | ビタミンB <sub>6</sub> (mg) | 0.407 | 0.044 | 1.303  |
|                | 葉酸塩 ( $\mu$ g)          | 44    | 26    | 79     |
|                | ビタミンE (mg)              | 0.71  | 0.06  | 1.49   |

(USDA National Nutrient Database for Standard Reference)

[表6] ヒトツブコムギと他の小麦種のルテイン含量

(mg/kg、db)

|          | 品種・系統       | 全粒   | 粉    | ふすま  |
|----------|-------------|------|------|------|
| 春ヒトツブコムギ | TM 23       | 1.78 | 1.61 | 2.16 |
|          | PI 418587   | 8.23 | 9.05 | 7.01 |
|          | AC Knowles  | 7.29 | 8.24 | 5.93 |
| 春エンマー    | Vernal      | 3.68 | 2.71 | 4.19 |
| 春コラスン    | PI 211691   | 5.37 | 6.69 | 5.22 |
| Kamut    | 市販品         | 6.09 | 6.67 | 5.51 |
| 春スペルト    | CDC Bavaria | 1.03 | 0.73 | 1.92 |
|          | PGR 8801    | 1.31 | 0.68 | 2.41 |
| 冬スペルト    | Frankencorn | 1.61 | 1.55 | 2.19 |
|          | Rotkorn     | 2.58 | 2.18 | 3.23 |
| デュラム     | Kyle        | 5.93 | 7.42 | 5.67 |
| 軟質小麦     | AC Reed     | 2.39 | 3.49 | 3.06 |
| 硬質小麦     | Katepwa     | 2.09 | 1.54 | 3.22 |

(CFW)

[表7] 小麦種中の平均カロテノイド含量

(mg/kg, db)

| カロテノイド                 | ヒトツブコムギ | コラサン | デュラム | 普通小麦 |
|------------------------|---------|------|------|------|
| 15-cis-ルテイン            | 0.31    | nd   | nd   | nd   |
| 13-cis-ルテイン            | 0.37    | 0.13 | 0.11 | nd   |
| 13'-cis-ルテイン           | 0.35    | 0.13 | 0.10 | nd   |
| all-trans-ルテイン         | 7.41    | 5.53 | 5.41 | 1.89 |
| all-trans-ゼアキササンチン     | 0.94    | 0.71 | 0.49 | tr   |
| 9-cis-ルテイン             | nd      | 0.06 | 0.07 | nd   |
| 9'-cis-ルテイン            | 0.11    | nd   | nd   | nd   |
| 9-cis-ゼアキササンチン         | nd      | nd   | nd   | nd   |
| all-trans-β-クリプトキササンチン | tr      | nd   | nd   | nd   |
| all-trans-β-カロテン       | 0.13    | 0.09 | 0.09 | 0.05 |
| 全カロテノイド                | 9.62    | 6.65 | 6.27 | 1.94 |

nd : 検出されず、tr : 微量(&lt;0.05 μg/g)

(CFW)

[表8] アメリカ小麦の銘柄別需給

(百万トン)

|       |         | 供給       |       |                 | 需要    |       |                 |       |       |          |
|-------|---------|----------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|----------|
|       |         | 期初<br>在庫 | 生産    | 計 <sup>1)</sup> | 国内消費  |       |                 | 輸出    | 計     | 期末<br>在庫 |
|       |         |          |       |                 | 食用    | 飼料用   | 計 <sup>2)</sup> |       |       |          |
| 全小麦   | 2012/13 | 20.22    | 61.67 | 85.21           | 25.72 | 10.45 | 38.13           | 27.54 | 65.70 | 19.54    |
|       | 2013/14 | 19.54    | 57.97 | 82.08           | 25.85 | 6.07  | 34.02           | 32.01 | 66.02 | 16.06    |
|       | 2014/15 | 16.06    | 55.25 | 75.63           | 26.13 | 4.22  | 32.41           | 25.17 | 57.59 | 18.04    |
| HRW   | 2012/13 | 8.63     | 27.22 | 36.33           | 10.89 | 4.82  | 16.60           | 10.40 | 27.00 | 9.33     |
|       | 2013/14 | 9.33     | 20.25 | 30.10           | 9.96  | 0.65  | 11.54           | 12.14 | 23.70 | 6.40     |
|       | 2014/15 | 6.40     | 19.84 | 26.78           | 10.07 | 1.09  | 12.06           | 9.66  | 21.72 | 5.06     |
| HRS   | 2012/13 | 4.11     | 13.74 | 19.02           | 6.21  | 1.66  | 8.22            | 6.34  | 14.53 | 4.49     |
|       | 2013/14 | 4.49     | 13.34 | 19.95           | 7.24  | 0.90  | 8.65            | 6.70  | 15.35 | 4.60     |
|       | 2014/15 | 4.60     | 14.40 | 20.77           | 7.35  | 0.14  | 7.97            | 7.08  | 15.05 | 5.72     |
| SRW   | 2012/13 | 5.03     | 11.43 | 16.96           | 4.14  | 3.65  | 8.30            | 5.28  | 13.58 | 3.37     |
|       | 2013/14 | 3.37     | 15.38 | 19.32           | 4.22  | 3.86  | 8.52            | 7.70  | 16.22 | 3.10     |
|       | 2014/15 | 3.10     | 12.68 | 16.38           | 4.22  | 2.59  | 7.24            | 3.81  | 11.05 | 5.33     |
| White | 2012/13 | 1.74     | 7.05  | 8.98            | 2.31  | 0.05  | 2.50            | 4.76  | 7.27  | 1.71     |
|       | 2013/14 | 1.71     | 7.29  | 9.23            | 2.31  | 0.76  | 3.21            | 4.65  | 7.87  | 1.36     |
|       | 2014/15 | 1.36     | 6.67  | 8.25            | 2.31  | 0.41  | 2.88            | 4.08  | 6.97  | 1.28     |
| Durum | 2012/13 | 0.68     | 2.26  | 3.92            | 2.18  | 0.30  | 2.53            | 0.79  | 3.29  | 0.63     |
|       | 2013/14 | 0.63     | 1.69  | 3.51            | 2.12  | -0.11 | 2.10            | 0.84  | 2.91  | 0.60     |
|       | 2014/15 | 0.60     | 1.66  | 3.46            | 2.18  | -     | 2.26            | 0.54  | 2.80  | 0.65     |

(2014年8月21日現在) 年度は6~5月、1) 輸入を含む、2) 種子用を含む

(USDA)

[表9] アメリカ小麦の生産者平均手取り価格

(ドル/ブッシェル)

|       | 2014/15 | 2013/14 | 2012/13 | 2011/12 | 2010/11 | 2009/10 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 6月    | 6.49    | 7.37    | 6.70    | 7.41    | 4.16    | 5.72    |
| 7月    | 6.10    | 6.95    | 7.89    | 7.10    | 4.49    | 5.17    |
| 8月    |         | 6.88    | 8.04    | 7.59    | 5.44    | 4.85    |
| 9月    |         | 6.80    | 8.27    | 7.54    | 5.79    | 4.48    |
| 10月   |         | 6.94    | 8.38    | 7.27    | 5.88    | 4.47    |
| 11月   |         | 6.85    | 8.47    | 7.30    | 6.10    | 4.79    |
| 12月   |         | 6.73    | 8.30    | 7.20    | 6.44    | 4.87    |
| 1月    |         | 6.65    | 8.12    | 7.05    | 6.69    | 4.90    |
| 2月    |         | 6.50    | 7.97    | 7.10    | 7.42    | 4.73    |
| 3月    |         | 6.74    | 7.79    | 7.20    | 7.55    | 4.70    |
| 4月    |         | 6.82    | 7.71    | 7.11    | 8.01    | 4.41    |
| 5月    |         | 7.08    | 7.68    | 6.67    | 8.16    | 4.34    |
| 年度平均* |         | 6.87    | 7.77    | 7.24    | 5.70    |         |

\*販売量加重平均

(USDA)

[表10] ドイツの製粉工場数と穀物挽砕量

|             |                 | 2012/13   | 2011/12   |
|-------------|-----------------|-----------|-----------|
| 工場数         | 製粉工場(デュラム工場を除く) | 218       | 252       |
|             | (うち、旧西ドイツ地区)    | 189       | 212       |
|             | (うち、旧東ドイツ地区)    | 29        | 40        |
|             | デュラム小麦製粉工場      | 10        | 8         |
| 挽砕量<br>(トン) | パン用穀物           | 8,032,475 | 7,806,311 |
|             | (うち、普通小麦)       | 7,226,992 | 6,961,992 |
|             | (うち、ライ麦)        | 805,483   | 844,319   |
|             | 輸出用穀物           | 732,598   | 622,234   |
|             | デュラム小麦          | 415,469   | 405,688   |
|             | 全穀物             | 8,447,944 | 8,211,999 |

(MM)











(6月分)

| 年 月         | 区 分  | レート   |         |         | うどんおよびそうめん |         |           | その他のめん類 |       |            | 食パン、乾パン類 |       |           | ビスケット   |       |           | ふ す ま |       |    |
|-------------|------|-------|---------|---------|------------|---------|-----------|---------|-------|------------|----------|-------|-----------|---------|-------|-----------|-------|-------|----|
|             |      | 数量    | 前年増減率   | 金額      | 数量         | 前年増減率   | 金額        | 数量      | 前年増減率 | 金額         | 数量       | 前年増減率 | 金額        | 数量      | 前年増減率 | 金額        | 数量    | 前年増減率 | 金額 |
| 平成18年       | 116  | 1,681 | -7.8    | 433,966 | 22,984     | 4.9     | 7,355,196 | 10,058  | 5.9   | 30,461,143 | 24,480   | 2.3   | 8,445,272 | 89,037  | -11.4 | 1,462,153 |       |       |    |
| 19          | 118  | 1,775 | 5.6     | 425,814 | 22,960     | -0.1    | 7,582,286 | 8,065   | -19.8 | 2,715,392  | 23,105   | -5.6  | 9,038,272 | 95,269  | 7.0   | 2,033,963 |       |       |    |
| 20          | 104  | 883   | -50.3   | 281,946 | 23,119     | 0.7     | 7,594,585 | 5,562   | -31.0 | 1,977,817  | 17,998   | -22.1 | 8,023,832 | 117,781 | 23.6  | 3,100,764 |       |       |    |
| 21          | 93.5 | 688   | -22.0   | 155,524 | 24,340     | 5.3     | 6,815,396 | 5,619   | 1.0   | 1,741,201  | 16,506   | -8.3  | 6,706,094 | 110,350 | -6.3  | 1,986,586 |       |       |    |
| 22          | 88   | 484   | -29.6   | 131,503 | 23,950     | -1.6    | 5,802,780 | 8,314   | 48.0  | 2,717,998  | 19,360   | 17.3  | 7,141,796 | 94,562  | -14.3 | 1,764,462 |       |       |    |
| 23          | 80   | 340   | -29.8   | 101,075 | 25,717     | 7.4     | 6,360,916 | 7,750   | -6.8  | 2,141,934  | 22,128   | 14.3  | 8,016,545 | 99,433  | 5.2   | 1,928,846 |       |       |    |
| 24          | 80   | 219   | -35.4   | 57,394  | 24,186     | -6.0    | 6,161,467 | 9,821   | 26.3  | 2,765,461  | 21,977   | -0.7  | 8,597,913 | 88,194  | -11.3 | 1,790,710 |       |       |    |
| 25          | 97   | 253   | 15.1    | 89,774  | 22,901     | -5.3    | 6,906,566 | 6,633   | -1.9  | 3,082,802  | 17,987   | -18.2 | 8,561,982 | 113,573 | 28.8  | 3,177,431 |       |       |    |
| 26年1月       | 105  | 24    | 1,810.6 | 7,668   | 2,230      | 13.3    | 27,620    | 723     | 0.6   | 233,579    | 1,432    | -17.4 | 667,279   | 2,109   | 22.0  | 56,913    |       |       |    |
| 2           | 103  | 20    | 132.8   | 7,750   | 1,213      | -14.4   | 420,606   | 536     | -25.2 | 186,061    | 1,126    | -29.5 | 611,993   | 9,850   | -18.6 | 241,635   |       |       |    |
| 3           | 102  | 11    | -74.7   | 4,271   | 1,955      | 14.2    | 624,408   | 707     | -11.8 | 225,216    | 1,133    | -22.5 | 575,828   | 8,361   | 34.7  | 216,420   |       |       |    |
| 4           | 102  | 35    | 37.5    | 13,629  | 1,967      | -13.1   | 634,545   | 860     | -7.1  | 279,683    | 1,384    | -3.2  | 691,833   | 9,824   | -42.6 | 252,376   |       |       |    |
| 5           | 102  | 13    | 67.1    | 5,314   | 2,109      | -10.6   | 680,064   | 872     | 21.4  | 338,410    | 1,279    | -18.9 | 621,628   | 784     | -91.7 | 25,126    |       |       |    |
| 6           | 102  | 77    | 103.0   | 28,794  | 1,723      | -5.2    | 545,271   | 726     | 8.3   | 234,155    | 1,243    | 5.4   | 635,334   | 11,181  | 922.0 | 275,305   |       |       |    |
| 7           |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 8           |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 9           |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 10          |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 11          |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 12          |      |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| 26年1月～12月累計 |      | 180   | 46.5    | 67,426  | 11,205     | -2.9    | 3,632,514 | 4,232   | -7.0  | 1,379,191  | 7,597    | -15.5 | 3,803,895 | 42,109  | -9.6  | 1,067,775 |       |       |    |
| 米           | 国    |       |         |         | 47         | 8,274.6 | 7,704     | 1,484   | 10.7  | 373,064    | 766      | -8.1  | 439,018   |         |       |           |       |       |    |
| 英           | 国    |       |         |         |            |         |           | 19      | 134.5 | 5,852      | 353      | -8.1  | 335,208   | 111     | 58.6  | 18,363    |       |       |    |
| 中           | 国    |       |         |         | 8,149      | -0.6    | 2,685,051 | 383     | 35.7  | 145,704    | 1,028    | -21.5 | 332,887   |         |       |           |       |       |    |
| 仏           | 国    |       |         |         | 13         | 4.9     | 9,127     | 470     | -54.6 | 251,176    | 232      | 4     | 2,286     |         |       |           |       |       |    |
| 香           | 港    |       |         |         |            |         |           |         |       |            | 88       | 48.6  | 44,473    |         |       |           |       |       |    |
| イ           | ン    |       |         |         | 3          | -56.7   | 663       | 1       |       | 941        |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| ト           | ン    |       |         |         | 1,007      | -20.6   | 344,797   | 715     | 28.4  | 151,514    | 436      | -22.3 | 101,949   |         |       |           |       |       |    |
| ス           | キ    |       |         |         | 131        | 2.0     | 166,728   | 260     | 13.8  | 88,585     | 105      | 39.9  | 57,826    |         |       |           |       |       |    |
| タ           | イ    |       |         |         | 3          | 7.7     | 1,289     | 31      | -47.8 | 13,684     | 326      | 1.7   | 145,224   |         |       |           |       |       |    |
| カ           | ナ    |       |         |         | 7          | 502.7   | 2,224     | 337     | -14.5 | 114,067    | 182      | -58.4 | 106,509   |         |       |           |       |       |    |
| チ           | ン    |       |         |         |            |         |           | 6       | -77.3 | 2,098      | 8        | -83.0 | 5,460     |         |       |           |       |       |    |
| ナ           | マ    |       |         |         |            |         |           | 13      | -41.1 | 4,493      | 41       | -28.7 | 97,195    |         |       |           |       |       |    |
| ラ           | ン    |       |         |         | 20         | -13.5   | 10,660    | 0       | -44.5 | 337        | 67       | 32.9  | 36,991    |         |       |           |       |       |    |
| オ           | ス    |       |         |         | 136        | 113.3   | 55,946    | 15      | -41.0 | 19,465     | 417      | -28.6 | 288,114   |         |       |           |       |       |    |
| シ           | ン    |       |         |         | 1          | -9.7    | 592       | 30      | -89.7 | 10,288     | 52       | -26.8 | 48,316    |         |       |           |       |       |    |
| ン           | ガ    |       |         |         | 185        | -3.5    | 53,641    | 15      | -1.4  | 14,805     | 685      | -5.7  | 210,280   |         |       |           |       |       |    |
| グ           | オ    |       |         |         | 436        | 11.7    | 114,857   | 40      | -1.4  | 14,805     | 47       | 24.4  | 60,302    |         |       |           |       |       |    |
| ホ           | ウ    |       |         |         | 9          | 116.6   | 4,526     | 58      | -19.0 | 29,488     | 569      | -42.0 | 232,365   |         |       |           |       |       |    |
| ウ           | ン    |       |         |         |            |         |           | 2       | 100.0 | 3,588      | 224      | -39.3 | 56,887    |         |       |           |       |       |    |
| ベ           | ル    |       |         |         |            |         |           | 7       | 0.0   | 2,478      | 448      | -1.7  | 246,362   |         |       |           |       |       |    |
| ニ           | ュ    |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| ュ           | ウ    |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| ウ           | ン    |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| グ           | ラ    |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| ン           | ン    |       |         |         |            |         |           |         |       |            |          |       |           |         |       |           |       |       |    |
| ス           | イ    |       |         |         | 1,185      | -9.0    | 277,534   | 31      | -36.7 | 13,301     | 207      | -4.8  | 70,573    |         |       |           |       |       |    |
| イ           | ン    |       |         |         | 9          | -89.4   | 3,506     | 123     | -0.3  | 56,484     | 286      | 11.1  | 121,481   |         |       |           |       |       |    |
| そ           | の    |       |         |         |            |         |           | 209     | 0.5   | 77,779     | 342      | 109.7 | 152,462   |         |       |           |       |       |    |

(注) 財務省貿易統計(全国分)品別国別表(輸入)月次による。

小麦加工食品の輸入の推移(7月分)

(単位：トン、金額：千円)

| 区分<br>年月    | レート  | 小麦粉(ひき割、ミール、パレット) |       |         | 小麦グルテン |       |           | 小麦粉調製品  |       |            | ケーキミックス |       |         | マカロニ、スパゲッティ |       |            |         |
|-------------|------|-------------------|-------|---------|--------|-------|-----------|---------|-------|------------|---------|-------|---------|-------------|-------|------------|---------|
|             |      | 数量                | 前増減率  | 金額      | 数量     | 前増減率  | 金額        | 数量      | 前増減率  | 金額         | 数量      | 前増減率  | 金額      | 数量          | 前増減率  | 金額         |         |
| 平成18年       | 116  | 1,883             | -1.9  | 169,522 | 14,729 | -8.3  | 2,543,181 | 138,510 | -0.9  | 16,460,930 | 5,888   | -38.1 | 563,066 | 109,791     | 0.2   | 13,121,724 |         |
| 19          | 118  | 2,053             | 9.0   | 207,113 | 16,511 | 12.1  | 3,275,372 | 117,021 | -15.5 | 16,465,390 | 6,398   | 8.6   | 721,609 | 104,411     | -4.9  | 13,935,605 |         |
| 20          | 104  | 1,879             | -8.5  | 243,243 | 16,876 | 2.2   | 3,789,469 | 100,161 | -14.4 | 16,001,423 | 4,911   | -23.2 | 702,387 | 127,254     | 21.9  | 22,355,355 |         |
| 21          | 93.5 | 1,991             | 6.0   | 214,244 | 15,543 | -7.9  | 2,993,555 | 102,464 | 2.3   | 13,812,363 | 5,075   | 3.3   | 596,248 | 116,416     | -8.5  | 16,000,437 |         |
| 22          | 88   | 1,889             | -5.1  | 188,391 | 16,407 | 5.6   | 3,094,539 | 106,547 | 4.0   | 14,282,473 | 5,239   | 3.2   | 565,129 | 120,654     | 3.6   | 13,661,974 |         |
| 23          | 80   | 2,229             | 18.0  | 224,804 | 19,429 | 18.4  | 3,554,043 | 107,822 | 1.2   | 14,880,265 | 5,079   | -3.1  | 580,681 | 134,470     | 11.5  | 14,539,296 |         |
| 24          | 97   | 2,791             | 25.2  | 242,157 | 18,151 | -6.6  | 3,237,663 | 106,099 | -1.6  | 15,350,341 | 5,899   | 16.1  | 735,038 | 142,336     | 5.8   | 15,088,926 |         |
| 25          | 90   | 3,013             | 8.0   | 348,443 | 19,982 | 10.1  | 4,106,014 | 100,464 | -5.3  | 18,111,464 | 6,203   | 5.2   | 943,196 | 132,601     | -6.8  | 17,102,436 |         |
| 26年1月       | 105  | 199               | -25.5 | 21,327  | 1,795  | 18.3  | 400,342   | 9,112   | 5.0   | 1,804,711  | 532     | -1.1  | 87,610  | 12,214      | 7.9   | 1,649,452  |         |
| 2           | 103  | 248               | 52.1  | 31,520  | 1,275  | 0.5   | 297,882   | 7,691   | 5.4   | 1,321,455  | 458     | -16.4 | 70,110  | 10,781      | 1.1   | 1,403,472  |         |
| 3           | 102  | 119               | -99.3 | 17,465  | 1,209  | -21.4 | 263,659   | 8,709   | -0.3  | 1,706,106  | 413     | -18.7 | 64,652  | 11,052      | 21.6  | 1,430,602  |         |
| 4           | 102  | 231               | 126.5 | 29,439  | 2,177  | 27.5  | 450,684   | 8,563   | 6.8   | 1,116,599  | 484     | -16.6 | 81,425  | 11,972      | 1.6   | 1,589,459  |         |
| 5           | 102  | 348               | 18.8  | 38,049  | 2,131  | 5.1   | 474,805   | 8,050   | -14.5 | 1,646,117  | 702     | 25.4  | 107,985 | 12,346      | -4.0  | 1,619,421  |         |
| 6           | 102  | 157               | -6.0  | 20,878  | 1,412  | -12.5 | 310,144   | 7,475   | 7.6   | 1,431,141  | 382     | -5.7  | 61,425  | 11,088      | 14.7  | 1,381,800  |         |
| 7           | 102  | 196               | -31.9 | 21,455  | 1,995  | -1.8  | 432,568   | 7,215   | -13.4 | 1,427,157  | 565     | 37.7  | 81,969  | 11,911      | -1.3  | 1,526,770  |         |
| 8           |      |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 9           |      |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 10          |      |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 11          |      |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 12          |      |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 26年1月～12月累計 |      | 1,499             | 1.6   | 181,179 | 11,994 | 2.5   | 2,630,084 | 56,938  | -2.8  | 10,950,786 | 3,535   | 0.1   | 555,176 | 81,364      | 5.3   | 10,600,976 |         |
| 米           | 国    | 36                | -18.2 | 7,815   | 482    | -22.4 | 143,382   | 3,556   | -3.4  | 821,271    | 2,500   | 37.7  | 436,823 | 13,687      | 12.6  | 1,938,986  |         |
| 英           | 国    |                   |       |         |        |       |           | 418     | 29.8  | 71,407     |         |       |         |             |       |            |         |
| 中           | 国    |                   |       |         | 4      | -98.1 | 752       | 6,035   | -9.1  | 1,509,082  |         |       |         |             |       |            |         |
| 仏           | 国    | 515               | 3.2   | 72,699  | 1,384  | 30.2  | 229,102   | 3,009   | 20.8  | 1,489,840  |         |       |         | 0           | -84.8 | 621        |         |
| イ           | ン    | 2                 | -66.7 | 209     |        |       |           | 882     | -7.5  | 70,774     |         |       |         |             |       |            |         |
| ス           | ラ    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ト           | ス    |                   |       |         | 1,639  | 7.1   | 292,491   | 23,464  | -6.5  | 2,202,734  | 1,000   | -1.4  | 104,620 | 18,946      | 13.5  | 1,737,770  |         |
| タ           | ン    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| カ           | 国    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| 独           | 国    |                   |       |         | 667    | -45.8 | 120,362   | 727     | 7.0   | 298,432    |         |       |         | 29          | -17.1 | 9,553      |         |
| オ           | ス    | 24                | 41.2  | 4,282   | 2,064  | 35.7  | 591,674   | 1,430   | 0.8   | 203,598    | 5       |       | 3,970   | 0           |       | 362        |         |
| ス           | ウ    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| テ           | ラ    |                   |       |         |        |       |           | 42      | 50.9  | 21,299     | 12      | 68.6  | 2,086   | 16          | 15.6  | 3,174      |         |
| ン           | ス    |                   |       |         |        |       |           | 207     | -2.1  | 105,805    |         |       |         |             |       |            |         |
| ス           | イ    |                   |       |         |        |       |           | 412     | 77.3  | 254,577    | 1       | -49.0 | 325     | 5           | 28.9  | 1,509      |         |
| オ           | ス    |                   |       |         |        |       |           | 11,747  | 8.2   | 2,052,850  |         |       |         |             |       |            |         |
| シ           | ン    |                   |       |         |        |       |           | 1,834   | -37.3 | 416,530    | 14      | 12.5  | 5,757   |             |       |            |         |
| ン           | ガ    | 26                | -3.7  | 3,721   | 5,755  | 5.5   | 1,252,321 | 1,834   | -8.8  | 210,609    |         |       |         |             |       |            |         |
| ス           | ボ    |                   |       |         |        |       |           | 428     | 459.8 | 25,179     |         |       |         |             |       |            |         |
| オ           | ール   |                   |       |         |        |       |           | 104     | 3.7   | 720,213    |         |       |         |             |       |            |         |
| ス           | ラ    |                   |       |         |        |       |           | 1,673   | 3.7   | 720,213    |         |       |         |             |       |            |         |
| 台           | リア   |                   |       |         |        |       |           | 53      | -87.2 | 34,518     |         |       |         |             |       |            |         |
| 湾           | ア    |                   |       |         |        |       |           | 178     | 0.5   | 78,320     |         |       |         |             |       |            |         |
| ベ           | ン    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ネ           | ギ    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| パ           | ン    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| キ           | ド    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ア           | ラ    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ベ           | ン    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ル           | チ    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ン           | ン    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            |         |
| ア           | ン    | 757               | -8.2  | 82,042  | 31     | 74.4  | 13,406    | 9       | 24.8  | 5,649      |         |       |         | 25          |       | 2,432      |         |
| ス           | ン    | 139               | 139.7 | 10,411  | 9      | 24.8  | 5,649     | 9       | 22.8  | 42,831     | 3       | -64.2 | 1,595   | 44,224      | 3.4   | 6,497,072  |         |
| 伊           | 国    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            | 407,798 |
| ソ           | の    |                   |       |         |        |       |           |         |       |            |         |       |         |             |       |            | 606     |

(次頁につづく)



(7月分)

| 区<br>分<br>年<br>月 | レ<br>ー<br>ト                     | うどんおよびそうめん |                       |         | その他のめん類 |                       |           | 食パン、乾パン類 |                       |           | ビスケット  |                       |           | ふ<br>す<br>ま |                       |           |
|------------------|---------------------------------|------------|-----------------------|---------|---------|-----------------------|-----------|----------|-----------------------|-----------|--------|-----------------------|-----------|-------------|-----------------------|-----------|
|                  |                                 | 数<br>量     | 前<br>年<br>増<br>減<br>率 | 金<br>額  | 数<br>量  | 前<br>年<br>増<br>減<br>率 | 金<br>額    | 数<br>量   | 前<br>年<br>増<br>減<br>率 | 金<br>額    | 数<br>量 | 前<br>年<br>増<br>減<br>率 | 金<br>額    | 数<br>量      | 前<br>年<br>増<br>減<br>率 | 金<br>額    |
| 平成18年            | 116                             | 1,681      | -7.8                  | 433,966 | 22,984  | 4.9                   | 7,355,196 | 10,058   | 5.9                   | 3,046,143 | 24,480 | 2.3                   | 8,445,272 | 89,037      | -11.4                 | 1,462,153 |
| 19               | 118                             | 1,775      | 5.6                   | 425,814 | 22,960  | -0.1                  | 7,582,286 | 8,065    | -19.8                 | 2,715,392 | 23,105 | -5.6                  | 9,038,272 | 95,269      | 7.0                   | 2,033,963 |
| 20               | 104                             | 883        | -50.3                 | 281,946 | 23,119  | 0.7                   | 7,594,585 | 5,562    | -31.0                 | 1,977,817 | 17,998 | -22.1                 | 8,023,832 | 117,781     | 23.6                  | 3,100,764 |
| 21               | 93.5                            | 688        | -22.0                 | 155,524 | 24,340  | 5.3                   | 6,815,396 | 5,619    | 1.0                   | 1,741,201 | 16,506 | -8.3                  | 6,706,094 | 110,350     | -6.3                  | 1,986,586 |
| 22               | 88                              | 484        | -29.6                 | 131,503 | 23,950  | -1.6                  | 5,802,780 | 8,314    | 48.0                  | 2,147,998 | 19,360 | 17.3                  | 7,141,796 | 94,562      | -14.3                 | 1,764,462 |
| 23               | 80                              | 340        | -29.8                 | 101,075 | 25,717  | 7.4                   | 6,360,916 | 7,750    | -6.8                  | 2,141,934 | 22,128 | 14.3                  | 8,016,545 | 99,433      | 5.2                   | 1,928,846 |
| 24               | 80                              | 219        | -33.4                 | 57,394  | 24,186  | -6.0                  | 6,161,467 | 9,821    | 26.3                  | 2,765,461 | 21,977 | -0.7                  | 8,597,913 | 88,194      | -11.3                 | 1,790,710 |
| 25               | 97                              | 253        | 15.1                  | 89,774  | 22,901  | -5.3                  | 6,906,566 | 6,633    | -1.9                  | 3,082,802 | 17,987 | -18.2                 | 8,561,982 | 113,573     | 28.8                  | 3,177,431 |
| 26年1月            | 105                             | 24         | 1,810.6               | 7,668   | 2,230   | 13.3                  | 727,620   | 723      | 0.6                   | 233,579   | 1,432  | -17.4                 | 667,279   | 2,109       | 227.0                 | 56,913    |
| 2                | 103                             | 20         | 132.8                 | 7,750   | 1,213   | -14.4                 | 620,606   | 536      | -25.2                 | 186,061   | 1,126  | -29.5                 | 611,993   | 9,850       | -18.6                 | 241,635   |
| 3                | 102                             | 11         | -74.7                 | 4,271   | 1,955   | 14.2                  | 624,408   | 707      | -11.8                 | 225,216   | 1,133  | -22.5                 | 575,828   | 8,361       | 34.7                  | 216,420   |
| 4                | 102                             | 35         | 37.5                  | 13,629  | 1,967   | -13.1                 | 634,545   | 860      | -7.1                  | 279,683   | 1,384  | -3.2                  | 691,833   | 9,824       | -42.6                 | 252,376   |
| 5                | 102                             | 13         | 67.1                  | 5,314   | 2,109   | -10.6                 | 680,064   | 872      | 21.4                  | 338,410   | 1,279  | -18.9                 | 621,628   | 784         | -91.7                 | 25,126    |
| 6                | 102                             | 77         | 103.0                 | 28,794  | 1,723   | -5.2                  | 545,271   | 726      | 8.3                   | 234,155   | 1,243  | 5.4                   | 635,334   | 11,181      | 922.0                 | 275,305   |
| 7                | 102                             | 46         | 1.6                   | 16,549  | 2,001   | -7.2                  | 618,558   | 823      | 10.6                  | 267,502   | 1,367  | 3.7                   | 703,734   | 9,883       | -47.1                 | 262,807   |
| 8                |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| 9                |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| 10               |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| 11               |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| 12               |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| 26年1月～12月累計      |                                 | 226        | 34.4                  | 83,975  | 13,206  | -3.6                  | 4,251,072 | 5,056    | -4.5                  | 1,646,693 | 8,964  | -13.0                 | 4,507,629 | 51,992      | -20.3                 | 1,330,582 |
| 米                | 国                               |            |                       |         | 47      | 8,274.6               | 7,704     | 1,761    | 11.4                  | 442,538   | 922    | 1.5                   | 516,834   |             |                       |           |
| 英                | 国                               |            |                       |         |         |                       |           | 27       | 233.5                 | 7,975     | 460    | 15.2                  | 430,321   | 121         | 24.7                  | 19,996    |
| 中                | 国                               | 61         | -35.4                 | 15,704  | 9,537   | -1.2                  | 3,119,451 | 463      |                       | 181,026   | 1,253  | -17.6                 | 408,392   |             |                       |           |
| 仏                | 国                               |            |                       |         | 17      | 32.5                  | 11,466    | 540      | -8.2                  | 286,811   | 275    | 47.4                  | 279,551   |             |                       |           |
| 香                | 港                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 6      | -85.0                 | 3,466     |             |                       |           |
| イ                | ン<br>ド<br>ネ<br>シ<br>ア           |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 104    | 5.7                   | 51,858    |             |                       |           |
| ト                | ル<br>キ<br>ー                     |            |                       |         | 3       | -56.7                 | 663       | 1        |                       | 941       | 1      |                       | 228       |             |                       |           |
| ス                | ウ<br>ェ<br>ー<br>ド                |            |                       |         | 1,186   | -22.6                 | 403,298   | 859      | 39.8                  | 182,430   | 645    | -6.9                  | 321,758   |             |                       |           |
| タ                | イ<br>ラ<br>ン<br>カ<br>ン           |            |                       |         | 176     | 21.7                  | 143,512   | 303      | 9.9                   | 105,371   | 524    | -16.7                 | 121,786   |             |                       |           |
| 独                | 国                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 115    | 632.9                 | 65,176    |             |                       |           |
| カ                | ナ<br>ダ                          |            |                       |         | 3       | 7.7                   | 1,289     | 41       | -61.0                 | 17,897    | 348    | 361.9                 | 155,665   |             |                       |           |
| チ                | ン                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 210    | -53.3                 | 124,821   |             |                       |           |
| ナ                | ン                               |            |                       |         | 7       | 502.7                 | 2,224     | 391      | -19.3                 | 131,955   | 71     | 24.6                  | 17,403    |             |                       |           |
| マ                | ニ<br>ー                          |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 43     | -28.7                 | 104,218   |             |                       |           |
| ク                | ス                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 79     | 40.2                  | 41,916    |             |                       |           |
| ル                | ス                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 506    | 27.3                  | 342,151   |             |                       |           |
| ア                | ン                               |            |                       |         | 24      | 3.5                   | 11,772    | 15       | -51.7                 | 19,465    | 67     | -15.3                 | 62,853    |             |                       |           |
| シ                | ン                               |            |                       |         | 0       | -16.9                 | 207       | 77       | 148.2                 | 108,320   | 77     | 148.2                 | 108,320   |             |                       |           |
| ン                | ガ<br>ボ<br>ー<br>ル                | 164        | 124.5                 | 67,679  | 230     | -2.9                  | 66,831    | 52       | -81.8                 | 16,281    | 750    | -12.5                 | 231,241   |             |                       |           |
| オ                | ース<br>ト<br>ラ<br>リ<br>ア          | 1          | -9.7                  | 592     | 553     | 20.3                  | 143,298   | 46       | -3.0                  | 16,900    | 48     | 2,484.0               | 61,894    |             |                       |           |
| ホ                | ン                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 65     | -19.9                 | 282,707   |             |                       |           |
| ウ                | ン                               |            |                       |         | 17      | 333.4                 | 8,817     | 2        | 0.0                   | 3,588     | 270    | -40.5                 | 68,762    |             |                       |           |
| ベ                | ン                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 7      | 0.0                   | 2,478     |             |                       |           |
| ニ                | ュ<br>ー<br>ジ<br>ー<br>ラ<br>ン<br>ド |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 39     | -29.8                 | 17,010    |             |                       |           |
| マ                | レ<br>ー<br>シ<br>ア                |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 157    | 5.4                   | 73,742    |             |                       |           |
| フ                | ィ<br>リ<br>ピ<br>ン                |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 332    | 0.7                   | 144,520   |             |                       |           |
| イ                | ン                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           | 424    | 2.3                   | 199,615   |             |                       |           |
| ア                | ル<br>ゼ<br>ン<br>チ<br>ン           |            |                       |         | 1,390   | -13.5                 | 324,896   | 157      | 5.4                   | 73,742    | 332    | 0.7                   | 144,520   |             |                       |           |
| ス                | ベ<br>イ<br>ン                     |            |                       |         | 16      | 36.8                  | 5,644     | 262      | 0.3                   | 98,232    | 424    | 2.3                   | 199,615   |             |                       |           |
| 伊                | 国                               |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |
| そ<br>の<br>他      |                                 |            |                       |         |         |                       |           |          |                       |           |        |                       |           |             |                       |           |

(注) 財務省貿易統計(全国分>品別国別表>輸入>月次)による。

国際価格の推移(8月・9月分)

(単位：トン当たりドル、( )内はブッシェル当たりドル)

| 品名                          | 年                                      | 1月            | 2月            | 3月             | 4月            | 5月            | 6月            | 7月            | 8月            | 9月            | 10月           | 11月           | 12月           |               |               |
|-----------------------------|----------------------------------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 小麦<br>(シカゴ・SRW小麦No.2, 期近もの) | 2006                                   | (3.29)<br>121 | (3.52)<br>129 | (3.62)<br>133  | (3.50)<br>129 | (4.00)<br>147 | (3.62)<br>133 | (3.66)<br>134 | (3.77)<br>138 | (3.93)<br>144 | (5.43)<br>199 | (4.82)<br>177 | (4.94)<br>182 |               |               |
|                             | 2007                                   | (4.64)<br>170 | (4.53)<br>167 | (4.61)<br>169  | (4.88)<br>179 | (4.97)<br>183 | (6.07)<br>223 | (6.02)<br>221 | (6.97)<br>256 | (8.46)<br>311 | (8.53)<br>350 | (9.53)<br>350 | (7.78)<br>282 | (8.55)<br>314 |               |
|                             | 2008                                   | (9.32)<br>342 | (9.43)<br>378 | (10.93)<br>426 | (8.96)<br>329 | (7.76)<br>284 | (8.77)<br>322 | (8.11)<br>298 | (8.25)<br>303 | (7.27)<br>267 | (7.27)<br>204 | (5.56)<br>204 | (5.34)<br>196 | (5.20)<br>191 |               |
|                             | 2009                                   | (5.69)<br>209 | (5.36)<br>197 | (5.44)<br>200  | (5.22)<br>192 | (5.78)<br>212 | (5.75)<br>211 | (5.35)<br>196 | (5.35)<br>196 | (4.82)<br>177 | (4.71)<br>173 | (5.05)<br>186 | (5.39)<br>198 | (5.37)<br>197 |               |
|                             | 2010                                   | (5.10)<br>187 | (4.87)<br>179 | (4.79)<br>176  | (4.91)<br>180 | (4.72)<br>173 | (4.52)<br>166 | (5.96)<br>219 | (5.96)<br>219 | (7.03)<br>258 | (7.27)<br>267 | (7.05)<br>259 | (6.73)<br>247 | (7.65)<br>281 |               |
|                             | 2011                                   | (7.73)<br>284 | (8.40)<br>309 | (6.68)<br>245  | (7.44)<br>273 | (7.36)<br>271 | (6.73)<br>247 | (6.95)<br>255 | (6.95)<br>255 | (7.13)<br>262 | (6.96)<br>256 | (6.23)<br>229 | (6.33)<br>232 | (5.79)<br>213 |               |
|                             | 2012                                   | (6.02)<br>221 | (6.26)<br>221 | (6.65)<br>244  | (6.24)<br>229 | (6.09)<br>224 | (6.10)<br>224 | (8.85)<br>325 | (8.85)<br>325 | (8.47)<br>311 | (8.78)<br>323 | (8.48)<br>312 | (8.46)<br>311 | (8.01)<br>294 |               |
|                             | 2013                                   | (7.83)<br>288 | (7.42)<br>273 | (7.23)<br>266  | (6.94)<br>255 | (6.88)<br>253 | (6.81)<br>250 | (6.70)<br>246 | (6.70)<br>246 | (6.38)<br>234 | (6.41)<br>236 | (6.86)<br>252 | (6.45)<br>237 | (6.18)<br>227 |               |
|                             | 2014                                   | (5.68)<br>209 | (5.99)<br>220 | (6.90)<br>254  | (7.02)<br>258 | (6.78)<br>249 | (5.86)<br>215 | (5.38)<br>198 | (5.38)<br>198 | (5.51)<br>203 | (5.01)<br>184 |               |               |               |               |
|                             | とうもろこし<br>(シカゴ、イエロー・<br>コーンNo.2, 期近もの) | 2006          | (2.13)<br>84  | (2.23)<br>88   | (2.24)<br>88  | (2.37)<br>93  | (2.45)<br>97  | (2.38)<br>94  | (2.44)<br>96  | (2.30)<br>91  | (2.42)<br>95  | (3.03)<br>119 | (3.56)<br>140 | (3.70)<br>146 |               |
|                             |                                        | 2007          | (3.91)<br>154 | (4.11)<br>162  | (4.02)<br>158 | (3.62)<br>142 | (3.70)<br>146 | (3.81)<br>150 | (3.26)<br>128 | (3.26)<br>128 | (3.31)<br>130 | (3.51)<br>138 | (3.69)<br>145 | (3.69)<br>145 | (3.86)<br>152 |
|                             |                                        | 2008          | (5.08)<br>200 | (5.01)<br>203  | (5.56)<br>215 | (6.06)<br>239 | (5.91)<br>236 | (7.33)<br>288 | (6.47)<br>255 | (6.47)<br>255 | (5.30)<br>209 | (5.62)<br>221 | (3.88)<br>153 | (3.86)<br>152 | (3.75)<br>148 |
| 2009                        |                                        | (3.65)<br>144 | (3.63)<br>143 | (3.92)<br>154  | (3.94)<br>155 | (4.17)<br>164 | (4.06)<br>160 | (3.30)<br>130 | (3.30)<br>130 | (3.19)<br>126 | (3.47)<br>136 | (3.73)<br>147 | (3.91)<br>154 | (4.08)<br>160 |               |
| 2010                        |                                        | (3.72)<br>146 | (3.62)<br>142 | (3.63)<br>143  | (3.64)<br>143 | (3.63)<br>143 | (3.54)<br>139 | (3.92)<br>154 | (3.92)<br>154 | (4.12)<br>162 | (4.95)<br>195 | (5.63)<br>222 | (5.56)<br>219 | (5.84)<br>230 |               |
| 2011                        |                                        | (6.49)<br>255 | (6.91)<br>272 | (6.36)<br>250  | (7.42)<br>292 | (6.97)<br>275 | (7.02)<br>276 | (7.01)<br>276 | (7.01)<br>276 | (7.07)<br>278 | (7.01)<br>276 | (6.40)<br>252 | (6.46)<br>254 | (5.79)<br>228 |               |
| 2012                        |                                        | (6.00)<br>236 | (6.27)<br>247 | (6.69)<br>263  | (6.29)<br>248 | (5.97)<br>235 | (5.80)<br>228 | (7.77)<br>306 | (7.77)<br>306 | (7.94)<br>313 | (7.48)<br>294 | (7.37)<br>290 | (7.21)<br>284 | (7.19)<br>283 |               |
| 2013                        |                                        | (7.31)<br>288 | (6.99)<br>275 | (7.17)<br>282  | (6.47)<br>255 | (6.42)<br>253 | (6.55)<br>258 | (5.36)<br>211 | (5.36)<br>211 | (4.82)<br>190 | (4.57)<br>180 | (4.44)<br>175 | (4.22)<br>166 | (4.21)<br>166 |               |
| 2014                        |                                        | (4.26)<br>168 | (4.45)<br>175 | (4.72)<br>186  | (5.04)<br>198 | (4.84)<br>191 | (4.47)<br>176 | (3.74)<br>147 | (3.74)<br>147 | (3.66)<br>144 | (3.43)<br>135 |               |               |               |               |

(注) 1. 小麦は、シカゴ相場による月央の終値である(2014年8月分は8月15日、9月分は9月15日)。  
2. とうもろこしはシカゴ相場による月平均価格である。

輸入食糧小麦の入札結果(港湾諸経費を除く)の概要

(単位：トン、円/トン)

| 入札月および積月 |     | 平成26年3月入札分<br>(積月：5月積み、6月到着) |                       |                                 | 平成26年4月入札分<br>(積月：6月積み、7月到着) |     |         | 平成26年5月入札分<br>(積月：7月積み、8月到着) |                                 |         |     |         |                       |                                 |
|----------|-----|------------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------------------|-----|---------|------------------------------|---------------------------------|---------|-----|---------|-----------------------|---------------------------------|
| 産地国      | 銘柄  | 数量                           | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別 | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) | 産地国                          | 銘柄  | 数量      | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別        | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) | 産地国     | 銘柄  | 数量      | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別 | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) |
| アメリカ     | WW  | 52,886                       | 34,383                | 37,134                          | アメリカ                         | WW  | 47,856  | 35,080                       | 37,886                          | アメリカ    | WW  | 55,930  | 33,363                | 36,032                          |
|          | SH  | 59,425                       | 37,034                | 39,997                          |                              | SH  | 58,750  | 37,435                       | 40,430                          |         | SH  | 76,040  | 37,660                | 40,673                          |
| オーストラリア  | ASW | 54,815                       | 39,208                | 42,345                          | オーストラリア                      | ASW | 61,830  | 37,920                       | 40,954                          | オーストラリア | ASW | 66,120  | 37,858                | 40,887                          |
| 計        |     | 167,126                      | 36,908                | 39,861                          | 計                            |     | 168,436 | 36,944                       | 39,900                          | 計       |     | 198,090 | 36,513                | 39,434                          |
|          |     |                              |                       | (積月：6月積み、7月到着)                  |                              |     |         |                              | (積月：7月積み、8月到着)                  |         |     |         |                       | (積月：8月積み、9月到着)                  |
| アメリカ     | DNS | 89,078                       | 38,557                | 41,642                          | アメリカ                         | DNS | 74,969  | 38,482                       | 41,561                          | アメリカ    | DNS | 48,118  | 38,056                | 41,100                          |
|          |     |                              |                       | (積月：7月積み、8月到着)                  |                              |     |         |                              | (積月：8月積み、9月到着)                  |         |     |         |                       | (積月：9月積み、10月到着)                 |
| カナダ      | 1CW | 101,184                      | 39,362                | 42,511                          | カナダ                          | 1CW | 121,363 | 37,825                       | 40,851                          | カナダ     | 1CW | 47,437  | 37,202                | 40,178                          |

| 入札月および積月 |     | 平成26年6月入札分<br>(積月：8月積み、9月到着) |                       |                                 | 平成26年7月入札分<br>(積月：9月積み、10月到着) |     |         | 平成26年8月入札分<br>(積月：10月積み、11月到着) |                                 |         |     |         |                       |                                 |
|----------|-----|------------------------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----|---------|--------------------------------|---------------------------------|---------|-----|---------|-----------------------|---------------------------------|
| 産地国      | 銘柄  | 数量                           | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別 | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) | 産地国                           | 銘柄  | 数量      | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別          | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) | 産地国     | 銘柄  | 数量      | 落札価格<br>(加重平均)<br>※税別 | [参考値]<br>※左の税<br>込み価格<br>(税率8%) |
| アメリカ     | WW  | 78,533                       | 32,539                | 35,142                          | アメリカ                          | WW  | 53,549  | 31,656                         | 34,188                          | アメリカ    | WW  | 52,945  | 34,797                | 37,581                          |
|          | SH  | 76,305                       | 35,220                | 38,038                          |                               | SH  | 63,595  | 33,417                         | 36,090                          |         | SH  | 68,280  | 34,046                | 36,770                          |
|          | DNS | 23,720                       | 36,581                | 39,507                          |                               | DNS | 94,919  | 35,635                         | 38,486                          |         | DNS | 89,196  | 37,975                | 41,013                          |
| 小計       |     | 178,558                      | 34,222                | 36,960                          | 小計                            |     | 212,063 | 33,965                         | 36,682                          | 小計      |     | 210,421 | 35,900                | 38,772                          |
| オーストラリア  | ASW | 96,005                       | 35,648                | 38,500                          | オーストラリア                       | ASW | 57,645  | 32,539                         | 35,142                          | カナダ     | 1CW | 26,657  | 33,287                | 35,950                          |
|          | 小計  | 96,005                       | 35,648                | 38,500                          | 小計                            |     | 57,645  | 32,539                         | 35,142                          | 小計      |     | 26,657  | 33,287                | 35,950                          |
| 計        |     | 274,563                      | 34,720                | 37,498                          | 計                             |     | 269,708 | 33,660                         | 36,353                          | オーストラリア | ASW | 64,025  | 33,429                | 36,103                          |
|          |     |                              |                       | (積月：9月積み、10月到着)                 |                               |     |         |                                | (積月：10月積み、11月到着)                |         |     |         |                       | (積月：10月積み、11月到着)                |
| カナダ      | 1CW | 48,229                       | 35,479                | 38,317                          | カナダ                           | 1CW | 46,890  | 33,150                         | 35,802                          | 計       |     | 301,103 | 35,144                | 37,956                          |

(注) 上表の詳細は、農林水産省ホームページ「申請・お問い合わせ」を参照し、次に「調達・入札」の「調達・入札」の「調達情報」を参照し、「契約情報の公表」を参照し、「食料安定供給特別会計」を参照し「アトレス」[http://www.maff.go.jp/supply/kouhyou/kyokaku/kyokaku.html]、「米管理動定・麦管理動定・業務動定」の「一般競争入札・指名競争入札(物品役務等)」を参照し「輸入小麦に該当する箇所をご覧ください。」  
(資料：農林水産省生産局農産部貿易業務課)

プレスリリース

平成26年8月5日  
農 林 水 産 省

## 平成25年度食料自給率等について(抜粋)

平成25年度の食料自給率及びその前提となる食料需給表について公表します。

### 1 食料自給率

- カロリーベース 39% (前年度と同率)
- 生産額ベース 65% (前年度※より2ポイント減少)

※平成24年度の生産額ベース食料自給率について、昨年公表した概算値においては68%であったが、今回公表の確定値において67%となった。

### 2 主な品目の食料自給率に対する影響

#### (1) カロリーベース食料自給率の主な変動要因

- 米について、消費税引き上げ前の駆け込み需要等により、国産主食用米の需要量が微増
- 小麦について、国内生産シェアが約7割を占める北海道において、単収が平年並みであったものの、作柄の良かった前年度に比べ低下したことから、国内生産量が減少
- 大豆について、天候不順による登熟期の生育不良等により単収が低下し、国内生産量が減少

#### (2) 生産額ベース食料自給率の主な変動要因

- 各品目を通じて、円安の影響等により、輸入単価が上昇
- 野菜について、国内生産額がほぼ横ばいであったものの、輸入野菜の大きな部分を占める中国産たまねぎの不作等により、輸入単価が上昇し、輸入額が増加
- 果実について、りんごが春先の低温等により開花が遅れて小玉傾向となり、国内生産量が減少したこと等から、国内生産額が減少

### カロリーベース食料自給率(平成25年度)における各品目の寄与度

| 品目 | 国産熱量                | 供給熱量                | 寄与度      | 備考                          |
|----|---------------------|---------------------|----------|-----------------------------|
| 米  | 540kcal<br>(+6kcal) | 555kcal<br>(+6kcal) | +0.2ポイント | 1人1年当たり消費量<br>56.3kg→56.9kg |
| 小麦 | 39kcal<br>(▲3kcal)  | 330kcal<br>(▲2kcal) | ▲0.1ポイント | 国内生産量(前年比)<br>▲5.4%         |
| 大豆 | 17kcal<br>(▲3kcal)  | 72kcal<br>(+1kcal)  | ▲0.1ポイント | 国内生産量(前年比)<br>▲15.3%        |
| 野菜 | 56kcal<br>(±0kcal)  | 73kcal<br>(▲1kcal)  | 0.0ポイント  |                             |
| 果実 | 22kcal<br>(▲1kcal)  | 64kcal<br>(▲2kcal)  | 0.0ポイント  |                             |



| 品目  | 国産熱量                | 供給熱量                  | 寄与度     | 備考                                             |
|-----|---------------------|-----------------------|---------|------------------------------------------------|
| 畜産物 | 65kcal<br>(+1kcal)  | 400kcal<br>(±0kcal)   | 0.0ポイント |                                                |
| 魚介類 | 63kcal<br>(▲4kcal)  | 97kcal<br>(▲8kcal)    | 0.0ポイント |                                                |
| 砂糖類 | 57kcal<br>(+2kcal)  | 200kcal<br>(+2kcal)   | 0.0ポイント |                                                |
| 油脂類 | 11kcal<br>(±0kcal)  | 344kcal<br>(+1kcal)   | 0.0ポイント |                                                |
| その他 | 70kcal<br>(▲2kcal)  | 289kcal<br>(▲2kcal)   | 0.0ポイント |                                                |
| 合計  | 939kcal<br>(▲2kcal) | 2,424kcal<br>(▲6kcal) | 0.0ポイント | ※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。<br>※( )内は対前年増減である。 |

生産額ベース食料自給率(平成25年度)における各品目の寄与度

| 品目  | 食料の国内生産額                | 食料の国内消費仕向額               | 寄与度      | 備考                                             |
|-----|-------------------------|--------------------------|----------|------------------------------------------------|
| 米   | 1兆8,974億円<br>(▲904億円)   | 1兆9,223億円<br>(▲867億円)    | ▲0.2ポイント |                                                |
| 小麦  | 340億円<br>(▲23億円)        | 2,766億円<br>(+275億円)      | ▲0.1ポイント |                                                |
| 大豆  | 236億円<br>(+23億円)        | 607億円<br>(+54億円)         | 0.0ポイント  |                                                |
| 野菜  | 2兆3,355億円<br>(▲68億円)    | 3兆1,500億円<br>(+1,360億円)  | ▲0.6ポイント | 輸入単価(前年比)<br>+28.3%                            |
| 果実  | 7,382億円<br>(▲1,345億円)   | 1兆1,280億円<br>(▲962億円)    | ▲0.5ポイント | 国内生産量(前年比)<br>▲1.7%                            |
| 畜産物 | 2兆3,954億円<br>(+1,974億円) | 4兆1,782億円<br>(+3,684億円)  | ▲0.3ポイント |                                                |
| 魚介類 | 1兆2,180億円<br>(▲120億円)   | 2兆4,215億円<br>(▲35億円)     | ▲0.1ポイント |                                                |
| 砂糖類 | 1,528億円<br>(+47億円)      | 3,181億円<br>(+70億円)       | 0.0ポイント  |                                                |
| 油脂類 | 1,688億円<br>(▲254億円)     | 5,011億円<br>(+189億円)      | ▲0.3ポイント |                                                |
| その他 | 8,930億円<br>(▲56億円)      | 1兆1,633億円<br>(+119億円)    | ▲0.1ポイント |                                                |
| 合計  | 9兆8,567億円<br>(▲726億円)   | 15兆1,200億円<br>(+3,887億円) | ▲2.2ポイント | ※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。<br>※( )内は対前年増減である。 |



(参考2)

○国民1人・1日当たり供給熱量・栄養素の前年度比較

| 類別・品目別 | 供給熱量(kcal) |        |      |       | たんぱく質(g) |      |      |       | 脂質(g) |      |      |        |
|--------|------------|--------|------|-------|----------|------|------|-------|-------|------|------|--------|
|        | 24年度       | 25年度   | 増減量  | 増減率   | 24年度     | 25年度 | 増減量  | 増減率   | 24年度  | 25年度 | 増減量  | 増減率    |
| 穀類     | 894.5      | 899.5  | 5.0  | 0.6%  | 19.7     | 19.7 | 0.0  | 0.3%  | 3.4   | 3.4  | 0.0  | 0.3%   |
| 米      | 548.7      | 555.0  | 6.3  | 1.1%  | 9.4      | 9.5  | 0.1  | 1.1%  | 1.4   | 1.4  | 0.0  | 1.1%   |
| 小麦     | 332.2      | 329.8  | ▲2.4 | ▲0.7% | 9.9      | 9.9  | 0.0  | ▲0.7% | 1.9   | 1.9  | 0.0  | ▲0.7%  |
| いも類    | 48.9       | 47.9   | ▲1.0 | ▲2.0% | 0.9      | 0.8  | ▲0.1 | ▲3.1% | 0.1   | 0.1  | 0.0  | ▲1.8%  |
| かんしょ   | 14.8       | 15.3   | 0.5  | 3.0%  | 0.1      | 0.1  | 0.0  | 3.0%  | 0.0   | 0.0  | 0.0  | 3.0%   |
| ばれいしょ  | 34.0       | 32.6   | ▲1.4 | ▲4.3% | 0.7      | 0.7  | 0.0  | ▲4.3% | 0.0   | 0.0  | 0.0  | ▲4.3%  |
| でんぷん   | 157.8      | 157.4  | ▲0.4 | ▲0.2% | 0.0      | 0.0  | 0.0  | ▲0.2% | 0.3   | 0.3  | 0.0  | ▲1.1%  |
| 豆類     | 94.3       | 94.7   | 0.4  | 0.5%  | 6.8      | 6.9  | 0.1  | 0.6%  | 4.4   | 4.4  | 0.0  | 0.2%   |
| 大豆     | 71.1       | 71.6   | 0.5  | 0.8%  | 5.6      | 5.6  | 0.0  | 0.8%  | 3.4   | 3.5  | 0.1  | 0.8%   |
| 野菜     | 74.4       | 73.2   | ▲1.2 | ▲1.6% | 3.1      | 3.1  | 0.0  | ▲1.9% | 0.5   | 0.5  | 0.0  | ▲2.0%  |
| 果実     | 66.0       | 63.6   | ▲2.4 | ▲3.6% | 0.9      | 0.9  | 0.0  | ▲1.6% | 1.1   | 1.1  | 0.0  | 2.2%   |
| みかん    | 5.0        | 5.3    | 0.3  | 6.1%  | 0.1      | 0.1  | 0.0  | 6.1%  | 0.0   | 0.0  | 0.0  | 6.1%   |
| りんご    | 12.9       | 12.0   | ▲0.9 | ▲7.0% | 0.0      | 0.0  | 0.0  | ▲7.0% | 0.0   | 0.0  | 0.0  | ▲7.0%  |
| 肉類     | 174.5      | 174.9  | 0.4  | 0.2%  | 15.1     | 15.1 | 0.0  | 0.1%  | 11.8  | 11.8 | 0.0  | 0.3%   |
| 牛肉     | 45.8       | 46.4   | 0.6  | 1.2%  | 2.7      | 2.8  | 0.1  | 1.2%  | 3.6   | 3.7  | 0.1  | 1.2%   |
| 豚肉     | 74.1       | 74.0   | ▲0.1 | ▲0.2% | 5.9      | 5.9  | 0.0  | ▲0.2% | 5.2   | 5.2  | 0.0  | ▲0.2%  |
| 鶏肉     | 53.6       | 53.5   | ▲0.1 | ▲0.3% | 6.4      | 6.3  | ▲0.1 | ▲0.3% | 2.9   | 2.9  | 0.0  | ▲0.3%  |
| 鶏卵     | 68.9       | 69.6   | 0.7  | 1.0%  | 5.6      | 5.7  | 0.1  | 1.0%  | 4.7   | 4.7  | 0.0  | 1.0%   |
| 牛乳・乳製品 | 156.9      | 156.0  | ▲0.9 | ▲0.6% | 7.8      | 7.8  | 0.0  | ▲0.6% | 8.6   | 8.5  | ▲0.1 | ▲0.6%  |
| 魚介類    | 105.6      | 97.3   | ▲8.3 | ▲7.9% | 15.7     | 14.6 | ▲1.1 | ▲7.0% | 4.1   | 3.7  | ▲0.4 | ▲9.5%  |
| 海藻類    | 4.3        | 3.9    | ▲0.4 | ▲7.4% | 0.7      | 0.7  | 0.0  | ▲7.0% | 0.1   | 0.1  | 0.0  | ▲7.4%  |
| 砂糖類    | 197.6      | 199.6  | 2.0  | 1.0%  | 0.0      | 0.0  | 0.0  | ▲7.3% | 0.0   | 0.0  | 0.0  | 0.0%   |
| 油脂類    | 343.2      | 344.2  | 1.0  | 0.3%  | 0.0      | 0.0  | 0.0  | 9.9%  | 37.2  | 37.3 | 0.1  | 0.3%   |
| 植物油脂   | 321.8      | 322.1  | 0.3  | 0.1%  | 0.0      | 0.0  | 0.0  | 0.0%  | 34.9  | 35.0 | 0.1  | 0.1%   |
| 動物油脂   | 21.4       | 22.1   | 0.7  | 3.0%  | 0.0      | 0.0  | 0.0  | 9.9%  | 2.3   | 2.3  | 0.0  | 3.0%   |
| みそ     | 18.0       | 17.6   | ▲0.4 | ▲2.1% | 1.2      | 1.1  | ▲0.1 | ▲2.1% | 0.6   | 0.6  | 0.0  | ▲2.1%  |
| しょうゆ   | 12.0       | 12.0   | 0.0  | 0.4%  | 1.3      | 1.3  | 0.0  | 0.4%  | 0.0   | 0.0  | 0.0  | 0.0%   |
| その他食料  | 13.6       | 12.6   | ▲1.0 | ▲7.6% | 0.9      | 0.9  | 0.0  | ▲2.6% | 0.6   | 0.5  | ▲0.1 | ▲17.0% |
| きのこ類   | 1.8        | 1.8    | 0.0  | ▲1.0% | 0.3      | 0.3  | 0.0  | ▲1.1% | 0.0   | 0.0  | 0.0  | ▲1.1%  |
| 合計     | 2430.5     | 2424.1 | ▲6.4 | ▲0.3% | 79.8     | 78.6 | ▲1.2 | ▲1.5% | 77.3  | 77.0 | ▲0.3 | ▲0.4%  |





(参考5)

○飼料需給表

(単位：TDN千トン、%)

|        | 需要量<br>A | 供給量   |                 |        |                   | 自給率                      |                           |                            |
|--------|----------|-------|-----------------|--------|-------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|
|        |          | 粗飼料   |                 | 濃厚飼料   |                   | 純国内産<br>飼料自給率<br>(C+E)/A | 純国内産<br>粗飼料<br>自給率<br>C/B | 純国内産<br>濃厚飼料<br>自給率<br>E/D |
|        |          | B     | うち<br>国内供給<br>C | D      | うち純国<br>内産原料<br>E |                          |                           |                            |
| 昭和40   | 13,359   | 4,519 | 4,519           | 8,839  | 2,771             | 55                       | 100                       | 31                         |
| 50     | 19,867   | 4,793 | 4,793           | 15,074 | 2,060             | 34                       | 100                       | 14                         |
| 60     | 27,596   | 5,708 | 5,278           | 21,888 | 2,310             | 27                       | 92                        | 11                         |
| 平成 7   | 27,098   | 5,912 | 4,733           | 21,186 | 2,239             | 26                       | 80                        | 11                         |
| 17     | 25,164   | 5,485 | 4,197           | 19,678 | 2,214             | 25                       | 77                        | 11                         |
| 18     | 25,249   | 5,500 | 4,229           | 19,749 | 1,967             | 25                       | 77                        | 10                         |
| 19     | 25,316   | 5,546 | 4,305           | 19,770 | 2,120             | 25                       | 78                        | 11                         |
| 20     | 24,930   | 5,536 | 4,356           | 19,393 | 2,090             | 26                       | 79                        | 11                         |
| 21     | 25,640   | 5,393 | 4,188           | 20,247 | 2,155             | 25                       | 78                        | 11                         |
| 22     | 25,204   | 5,369 | 4,164           | 19,835 | 2,122             | 25                       | 78                        | 11                         |
| 23     | 24,753   | 5,268 | 4,080           | 19,485 | 2,358             | 26                       | 77                        | 12                         |
| 24     | 24,172   | 5,225 | 3,980           | 18,946 | 2,206             | 26                       | 76                        | 12                         |
| 25(概算) | 23,799   | 5,024 | 3,880           | 18,776 | 2,282             | 26                       | 77                        | 12                         |

(資料)生産局畜産部畜産振興課

(注1)TDN(可消化養分総量)とは、エネルギー含量を示す単位であり、飼料の実量とは異なる。

(注2)濃厚飼料の「うち純国内産原料」とは、国内産に由来する濃厚飼料(国内産飼料用小麦・大麦等)であり、輸入食料原料から発生した副産物(輸入大豆から搾油した後発生する大豆油かす等)を除いたものである。

(注3)昭和59年度までの輸入は、全て濃厚飼料とみなしている。

## —「ソフト & ハード」(読者の欄)への投稿のお願い—

読者の皆様、当振興会の広報誌「製粉振興」の内容を、より親しみのもてるものにするために、次のような内容の投稿をお待ちしていますので、記事をお寄せ下さい。

また、この広報誌の内容の充実を図っていきたいと考えていますので、ご意見等がございましたらお寄せ下さい。

- ・テーマは、小麦や小麦粉製品についての随想、紹介等と考えていますが、小麦と関係のない趣味などの話でも結構です
- ・投稿者名は実名でも筆名でも結構です
- ・長さは1,200字程度(1頁)とします
- ・掲載分には薄謝を進呈します



「コナちゃん」

(マスコットの小麦粉の精)

## ★ 編集後記

- この夏は局地的な豪雨による土砂災害等が全国で多発し、多くの方々が被災されました。あらためまして、被災され命を落とされた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。
- 先月6日に当会の理事会、26日に同評議員会が開催され、新法人となって初めての第48事業年度決算(25年7月～26年6月)等(「業務日誌」欄参照)をご承認いただきました。当日は暑さが厳しかったり湿度が高かったりで、評議員、理事、監事の皆様には大変お忙しい中、また暑さが身にこたえる中をご出席いただきありがとうございます。
- 若い頃は夏が過ぎると何かと思い出しくなる出来事がありました。近頃はめっきり思い出せることも少なくなりましたが、今夏の我が家における野菜の生育・収穫を振り返ってみました。毎年、連休中に夏野菜の苗をホームセンターで買ってきて庭で育てています。併せて虫よけによいと言われている濃い黄色のマリーゴールドを觀賞もかねて植えています。トマトは連休後の低温で植えたばかりの頃は生育が遅かったのですが、その後の夏の猛暑でミニトマトも大玉もたわわに実り近所の人にも褒められるほど良く出来ました。長ナスは明るい紫の花びらと黄色のおしべが鮮やかなコントラストをなす、きれいな花がコンスタントに咲いて実も生り皮も硬くならずこれまた上出来でした。キュウリは花は咲くのですが実を結ばない場合も多く、一部うどんこ病にも罹り10本程度の収穫に終わりました。トウガラシは小さな白い花を咲かせた後、緑の実がまっすぐ空に向かって伸び、収穫後には赤トウガラシとなりました。それから、緑のカーテンとなるよう窓の下のプランターに植えたゴーヤは十分涼しげでカーテンとなってくれました。実をそのままにしすぎて黄色くなって食べ頃を逃したものもありましたが手もかからず良く出来てくれました。
- そして、これら野菜を収穫し下ごしらえの後、ミートソースをベースに豪快にスパゲティーに絡めて美味しくいただきました。フレッシュなトマト、ナス、キュウリ、激辛赤トウガラシ、ゴーヤそれから小麦粉ありがとう。
- 当会が入っている製粉会館のB1に外国の港町にある酒場を思わせるような(外国の酒場に行ったことは無いですが)ゆったりしてくつろげる空間のお店があります。近くの会社が貸切で利用したりもしているようです。もちろん小麦粉料理やお酒も豊富です。一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

製粉振興 9月号 (No.572)

発行／平成26年9月20日

編集発行人／日永田 和隆

発行所／一般財団法人 製粉振興会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15番6号  
製粉会館2階

Tel. (03) 3666-2712 (代表)

<http://www.seifun.or.jp>

Fax.(03) 3667-1883

E-mail:seifunshin@mri.biglobe.ne.jp

禁無断転載